

## 【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長 殿
【提出日】	2020年1月31日提出
【発行者名】	大和証券投資信託委託株式会社 (2020年4月1日より、大和アセットマネジメント株式会社(予定))
【代表者の役職氏名】	取締役社長 松下 浩一
【本店の所在の場所】	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
【事務連絡者氏名】	西脇 保宏 連絡場所 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
【電話番号】	03-5555-3431
【届出の対象とした募集内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】	りそな ダイナミック・アロケーション・ファンド
【届出の対象とした募集内国投資信託受益証券の金額】	10兆円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当ありません。

## 第一部 【証券情報】

### (1) 【ファンドの名称】

りそな ダイナミック・アロケーション・ファンド（愛称：攻守のチカラ）

### (2) 【内国投資信託受益証券の形態等】

追加型証券投資信託（契約型）の受益権です。

信用格付業者から提供され、もしくは閲覧に供された信用格付はありません。また、提供され、もしくは閲覧に供される予定の信用格付もありません。

ファンドの受益権は、社債、株式等の振替に関する法律（以下「社振法」といいます。）の規定の適用を受け、受益権の帰属は、後述の「(11) 振替機関に関する事項」に記載の振替機関および当該振替機関の下位の口座管理機関（社振法第2条に規定する「口座管理機関」をいい、振替機関を含め、以下「振替機関等」といいます。）の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります（以下、振替口座簿に記載または記録されることにより定まる受益権を「振替受益権」といいます。）。委託会社は、やむを得ない事情等がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。また、振替受益権には無記名式や記名式の形態はありません。

なお、受益者は、委託会社がやむを得ない事情等により受益証券を発行する場合を除き、無記名式受益証券から記名式受益証券への変更の請求、記名式受益証券から無記名式受益証券への変更の請求、受益証券の再発行の請求を行なわないものとします。

### (3) 【発行(売出)価額の総額】

10兆円を上限とします。

### (4) 【発行(売出)価格】

1万口当たり取得申込受付日の翌営業日の基準価額とします。

基準価額は、販売会社または委託会社に問い合わせることにより知ることができます。また、委託会社のホームページでご覧になることもできます。

- ・お電話によるお問合わせ先（委託会社）  
電話番号（コールセンター） 0120-106212  
（営業日の9:00～17:00）
- ・委託会社のホームページ  
アドレス <https://www.daiwa-am.co.jp/>

### (5) 【申込手数料】

販売会社におけるお買付時の申込手数料の料率の上限は、2.2%（税抜2.0%）となっています。具体的な手数料の料率等については、販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。

- ・お電話によるお問合わせ先（委託会社）  
電話番号（コールセンター） 0120-106212  
（営業日の9:00～17:00）

申込手数料には、消費税および地方消費税（以下「消費税等」といいます。）が課されます。

「分配金再投資コース」の収益分配金の再投資の際には、申込手数料はかかりません。

(6) 【申込単位】

販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。

- ・お電話によるお問合わせ先（委託会社）  
電話番号（コールセンター） 0120-106212  
（営業日の9:00～17:00）

(7) 【申込期間】

2020年2月1日から2020年7月31日まで（継続申込期間）  
（終了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。）

(8) 【申込取扱場所】

委託会社にお問合わせ下さい。また、委託会社のホームページでご覧になることもできます。

- ・お電話によるお問合わせ先（委託会社）  
電話番号（コールセンター） 0120-106212  
（営業日の9:00～17:00）
- ・委託会社のホームページ  
アドレス <https://www.daiwa-am.co.jp/>

(9) 【払込期日】

受益権の取得申込者は、販売会社が定める期日（くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。）までに、取得申込代金（取得申込金額、申込手数料および申込手数料に対する消費税等に相当する金額の合計額をいいます。以下同じ。）を販売会社において支払うものとします。

販売会社は、各取得申込受付日における取得申込金額の総額に相当する金額を、追加信託が行なわれる日に、委託会社の指定する口座を経由して、受託会社の指定するファンド口座に払込みます。

(10) 【払込取扱場所】

受益権の取得申込者は、取得申込代金を、申込取扱場所において支払うものとします。申込取扱場所については、前(8)をご参照下さい。

(11) 【振替機関に関する事項】

振替機関は下記のとおりです。  
株式会社 証券保管振替機構

(12) 【その他】

受益権の取得申込者は、申込取扱場所において取引口座を開設のうえ、取得の申込みを行なうものとします。

ニューヨーク証券取引所、ロンドン証券取引所、ニューヨークの銀行またはロンドンの銀行のいずれかの休業日と同じ日付の日を申込受付日とする受益権の取得および換金の申込みの受け付けは行ないません。

申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。

委託会社の各営業日（ ）の午後3時までに受け付けた取得および換金の申込み（当該申込みにかかる販売会社所定の事務手続きが完了したものを）、当日の受付分として取扱います。この時刻を過ぎで行なわれる申込みは、翌営業日（ ）の取扱いとなります。

（ ）前 の申込受付中止日を除きます。

金融商品取引所（金融商品取引法第2条第16項に規定する金融商品取引所および金融商品取引法第2条第8項第3号ロに規定する外国金融商品市場をいい、単に「取引所」ということがあります。以下同じ。）等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情（投資対象国における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更および規制の導入、自然災害、クーデター、重大な政治体制の変更、戦争等）による市場の閉鎖または流動性の極端な減少ならびに資金の受渡しに関する障害等）が発生し、委託会社が追加設定を制限する措置をとった場合には、販売会社は、取得申込みの受け付けを中止することができるほか、すでに受け付けた取得申込みを取消することができるものとします。

当ファンドには、収益分配金を税金を差引いた後無手数料で自動的に再投資する「分配金再投資コース」と、収益の分配が行なわれるごとに収益分配金を受益者に支払う「分配金支払いコース」があります。取扱い可能なコースについては、販売会社にお問合わせ下さい。なお、コース名は、販売会社により異なる場合があります。

「分配金再投資コース」を利用する場合、取得申込者は、販売会社と別に定める積立投資約款にしたがい契約を締結します。なお、上記の契約または規定について、別の名称で同様の権利義務関係を規定する契約または規定が用いられることがあり、この場合上記の契約または規定は、当該別の名称に読替えるものとします（以下同じ。）。

取得申込金額に利息は付きません。

振替受益権について

ファンドの受益権は、社振法の規定の適用を受け、上記「(11) 振替機関に関する事項」に記載の振替機関の振替業にかかる業務規程等の規則にしたがって取扱われるものとします。

ファンドの分配金、償還金、一部解約金は、社振法および上記「(11) 振替機関に関する事項」に記載の振替機関の業務規程その他の規則にしたがって支払われます。

（参考）

投資信託振替制度とは、

ファンドの受益権の発生、消滅、移転をコンピュータシステムにて管理します。

・ファンドの設定、解約、償還等がコンピュータシステム上の帳簿（「振替口座簿」といいます。）への記載・記録によって行なわれますので、受益証券は発行されません。

## 第二部 【ファンド情報】

### 第1 【ファンドの状況】

#### 1 【ファンドの性格】

##### (1) 【ファンドの目的及び基本的性格】

当ファンドは、内外の債券、株式および不動産投資信託証券（リート）に投資を行ない、市場の局面判断および投資対象のリスク水準等によって投資対象の配分比率を調整することで、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。一般社団法人投資信託協会による商品分類・属性区分は、次のとおりです。

商品分類	単位型投信・追加型投信	追加型投信
	投資対象地域	内外
	投資対象資産(収益の源泉)	資産複合
属性区分	投資対象資産	その他資産（投資信託証券（資産複合 資産配分変更型（株式、債券、不動産投信）））
	決算頻度	年1回
	投資対象地域	グローバル（含む日本）
	投資形態	ファミリーファンド
	為替ヘッジ	為替ヘッジあり（部分ヘッジ）

属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

##### (注1) 商品分類の定義

- ・「追加型投信」...一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行なわれ従来の信託財産とともに運用されるファンド
- ・「内外」...目論見書または投資信託約款（以下「目論見書等」といいます。）において、国内および海外の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるもの
- ・「資産複合」...目論見書等において、株式、債券、不動産投信（リート）およびその他資産のうち複数の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるもの

##### (注2) 属性区分の定義

- ・「その他資産」...組入れている資産
- ・「資産複合 資産配分変更型」...目論見書等において、複数資産を投資対象とし、組入比率については、機動的な変更を行なう旨の記載があるものもしくは固定的とする旨の記載がないもの
- ・「年1回」...目論見書等において、年1回決算する旨の記載があるもの
- ・「グローバル」...目論見書等において、組入資産による投資収益が世界の資産を源泉とする旨の記載があるもの

- ・「ファミリーファンド」...目論見書等において、親投資信託(ファンド・オブ・ファンズにのみ投資されるものを除きます。)を投資対象として投資するもの
- ・「為替ヘッジあり」...目論見書等において、為替のフルヘッジまたは一部の資産に為替のヘッジを行なう旨の記載があるもの

## 商品分類表

単位型投信・追加型投信	投資対象地域	投資対象資産(収益の源泉)
単位型投信	国内	株式
追加型投信	海外	債券
	内外	不動産投信
		その他資産 ( )
		資産複合

(注) 当ファンドが該当する商品分類を網掛け表示しています。

## 属性区分表

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
株式	年1回	グローバル (含む日本)		
一般 大型株 中小型株	年2回	日本	ファミリー ファンド	あり (部分ヘッジ)
債券	年4回	北米		
一般 公債 社債 その他債券 クレジット属性 ( )	年6回 (隔月)	欧州		
不動産投信	年12回 (毎月)	アジア		
その他資産 (投資信託証券(資産複合) 資産配分変更型(株式、 債券、不動産投信))	日々	オセアニア	ファンド・オブ・ ファンズ	なし
資産複合 ( )	その他 ( )	中南米		
資産配分固定型 資産配分変更型		アフリカ		
		中近東 (中東)		
		エマージング		

(注) 当ファンドが該当する属性区分を網掛け表示しています。

商品分類・属性区分の定義について、くわしくは、一般社団法人投資信託協会のホームページ(アドレス <http://www.toushin.or.jp/>)をご参照下さい。

### < 信託金の限度額 >

- ・委託会社は、受託会社と合意のうえ、2,000億円を限度として信託金を追加することができます。
- ・委託会社は、受託会社と合意のうえ、限度額を変更することができます。

### < ファンドの特色 >

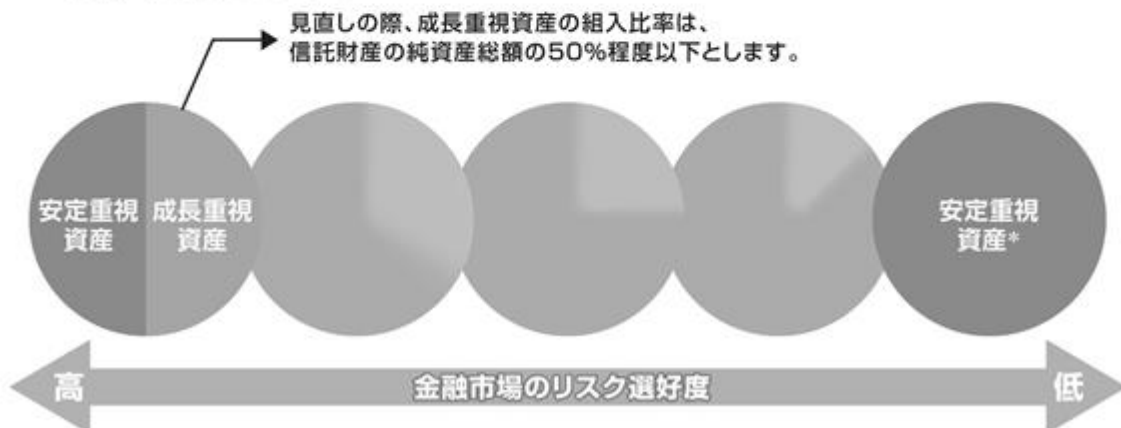
# 1 8つの資産クラスの配分比率を調整することで分散投資を行ないます。

- 投資対象を相対的に価格変動リスクが小さいと考えられる資産(安定重視資産)と相対的に価格変動リスクが大きいと考えられる資産(成長重視資産)に区分します。



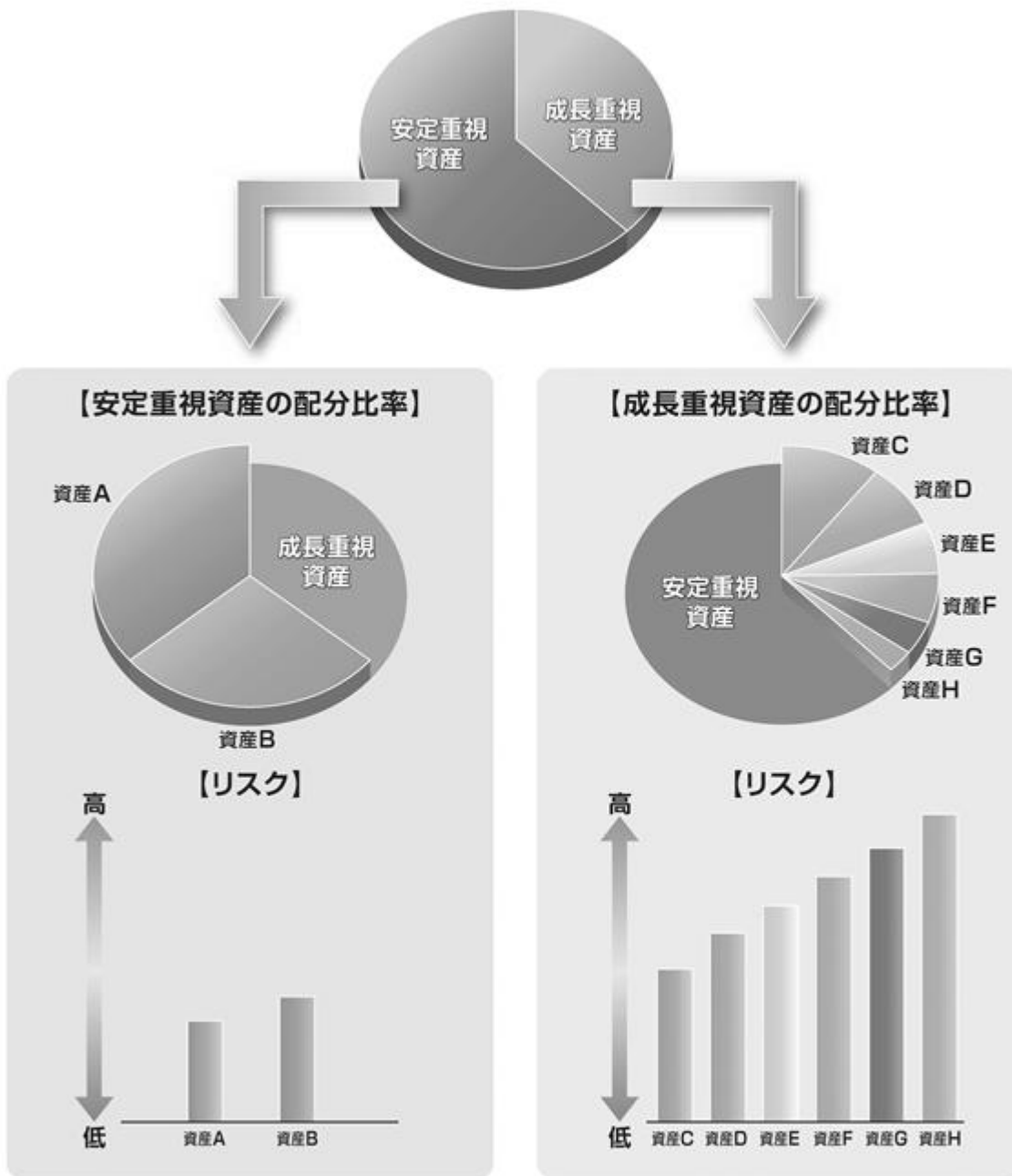
※各資産クラスへの投資にあたっては、各市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。  
※先進国国債・株式・リートの資産クラスには、日本の国債・株式・リートを含みません。

- 安定重視資産および成長重視資産の組入比率を、市場の局面判断に基づいて定期的に見直します。



\*市場環境によっては、信託財産の全部または一部を、わが国の短期債、コマーシャルペーパー等による運用に一時的に切り替える場合があります。

安定重視資産内および成長重視資産内での配分比率は、投資対象のリスク水準等を勘案して決定し、定期的に見直します。



●リスクの低い資産クラスの配分比率を高くする一方、リスクの高い資産クラスの配分比率を低くするよう調整します。

※上図は当ファンドの資産配分について分かりやすく説明するためのイメージであり、各資産クラスの配分比率およびリスクの大きさ等を正確に表すものではありません。  
 また、実際上記配分比率での運用を行なうことや、当ファンドの将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。



## 2

## 資産配分比率についてりそなアセットマネジメント株式会社の助言を受けます。

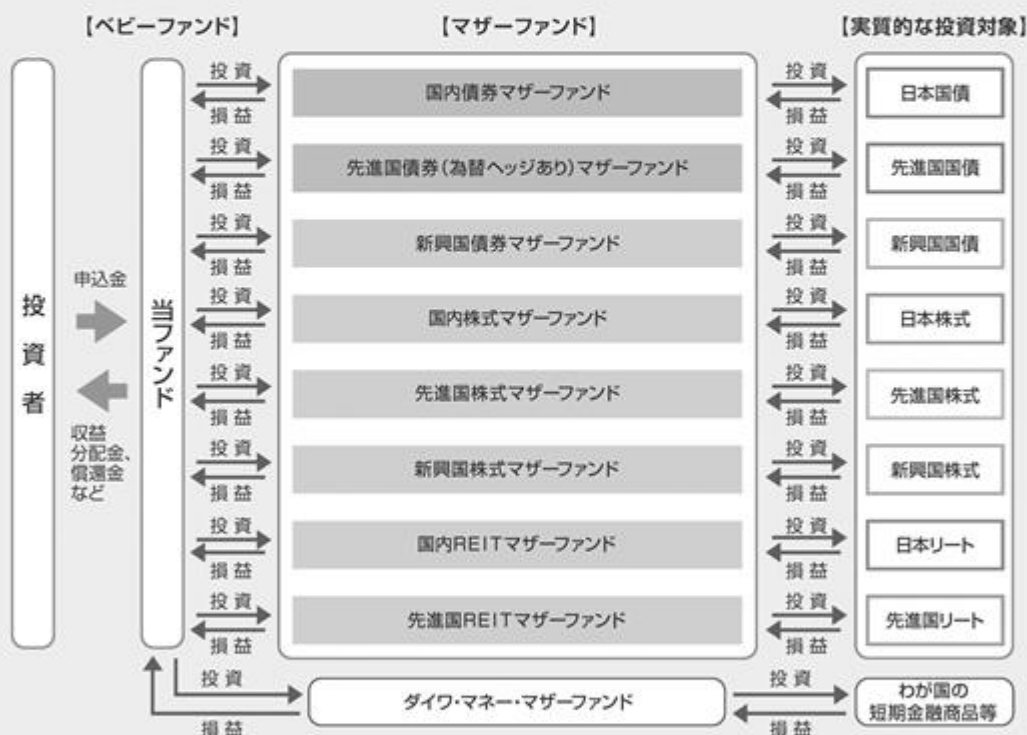
成長重視資産と安定重視資産の配分比率および各投資対象資産クラスの配分比率等の助言を受けます。

りそなアセットマネジメント株式会社は、金融商品取引法その他関連する法令等を遵守して、ファンドの資産配分に関して投資助言を行いません。

### ファンドの仕組み

#### ●当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行いません。

ファミリーファンド方式とは、投資者のみなさまからお預かりした資金をまとめてベビーファンド(当ファンド)とし、その資金をマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。



※マザーファンドについて、くわしくは、「マザーファンドの概要」をご参照下さい。

- ・マザーファンドの受益証券の組入比率の合計は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。
- ・マザーファンドにおいて、債券先物取引、株価指数先物取引またはリート指数先物取引を利用することがあります。

大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、ファンドの特色1.および2.の運用が行なわれないことがあります。

## [マザーファンドの概要]

マザーファンド	主要投資対象	主な投資態度
国内債券マザーファンド	国内の国債	国内の国債市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。
先進国債券(為替ヘッジあり)マザーファンド	先進国の国家機関が発行する債券	先進国の債券市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。為替変動リスクを低減するため、外貨建資産については為替ヘッジを行ないます。
新興国債券マザーファンド	新興国の国家機関が発行する債券	新興国の債券市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。 <sup>(※1)</sup>
国内株式マザーファンド	国内株式、国内株式を対象とした株価指数先物取引 <sup>(※2)</sup>	国内の株式市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。
先進国株式マザーファンド	先進国株式、先進国株式を対象とした株価指数先物取引 <sup>(※2)</sup> および先進国株式の指数を対象指数としたETF	先進国の株式市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。
新興国株式マザーファンド	新興国株式、新興国株式を対象とした株価指数先物取引 <sup>(※2)</sup> および新興国株式の指数を対象指数としたETF	新興国の株式市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。
国内REITマザーファンド	国内のリート、国内のリートを対象としたリート指数先物取引 <sup>(※2)</sup>	国内のリート市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。
先進国REITマザーファンド	先進国のリート、先進国のリート指数を対象指数としたETF <sup>(※3)</sup> 、先進国のリートを対象としたリート指数先物取引 <sup>(※2)</sup>	先進国のリート市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。
ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。

(注) 上記「先進国」には、日本を含みません。

(※1) 流動性を確保するため、新興国の国家機関が発行する米ドル建て以外の債券、米国の国家機関および国際機関が発行する債券にも投資する場合があります。

(※2) 先物取引を利用する場合、国内の債券に投資することがあります。

(※3) 一部日本のリートを含む指数を対象指数としたETFに投資する場合があります。

## 分配方針

毎年5月8日(休業日の場合翌営業日)に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

## 〈分配方針〉

- ① 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。
- ② 原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

## (2) 【ファンドの沿革】

2013年10月21日 信託契約締結、当初自己設定、運用開始

## (3) 【ファンドの仕組み】

受益者	お申込者
	収益分配金(注)、償還金など お申込金( 3 )

お取扱窓口	販売会社	<p>受益権の募集・販売の取扱い等に関する委託会社との契約（ 1 ）に基づき、次の業務を行ないません。</p> <p>受益権の募集の取扱い 一部解約請求に関する事務 収益分配金、償還金、一部解約金の支払いに関する事務 など</p>
1	収益分配金、償還金など お申込金（ 3 ）	
委託会社	大和証券投資信託委託株式会社	<p>当ファンドにかかる証券投資信託契約（以下「信託契約」といいます。）（ 2 ）の委託者であり、次の業務を行ないます。</p> <p>受益権の募集・発行 信託財産の運用指図 信託財産の計算 運用報告書の作成 など</p>
運用指図	2 損益 信託金（ 3 ）	
受託会社	<p>三井住友信託銀行株式会社</p> <p>再信託受託会社： 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社</p>	<p>信託契約（ 2 ）の受託者であり、次の業務を行ないます。なお、信託事務の一部につき日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社に委託することができます。また、外国における資産の保管は、その業務を行なうに十分な能力を有すると認められる外国の金融機関が行なう場合があります。</p> <p>委託会社の指図に基づく信託財産の管理・処分 信託財産の計算 など</p>
損益 投資		
投資対象	内外の債券、株式およびリート（不動産投資信託） （ファミリーファンド方式で運用を行ないます。）	

(注)「分配金再投資コース」の場合、収益分配金は自動的に再投資されます。

- 1：受益権の募集の取扱い、一部解約請求に関する事務、収益分配金、償還金、一部解約金の支払いに関する事務の内容等が規定されています。
- 2：「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づいて、あらかじめ監督官庁に届け出られた信託約款の内容に基づき締結されます。証券投資信託の運営に関する事項（運用方針、委託会社および受託会社の業務、受益者の権利、信託報酬、信託期間等）が規定されています。
- 3：販売会社は、各取得申込受付日における取得申込金額の総額に相当する金額を、追加信託が行なわれる日に、委託会社の指定する口座を経由して、受託会社の指定するファンド口座に払込みます。

委託会社および受託会社は、それぞれの業務に対する報酬を信託財産から収受します。また、販売会社には、委託会社から業務に対する代行手数料が支払われます。

< 委託会社の概況（2019年11月末日現在） >

・ 資本金の額 151億7,427万2,500円

・ 沿革

- 1959年12月12日 設立登記
- 1960年 2月17日 「証券投資信託法」に基づく証券投資信託の委託会社の免許取得
- 1960年 4月 1日 営業開始
- 1985年11月 8日 投資助言・情報提供業務に関する兼業承認を受ける。
- 1995年 5月31日 「有価証券に係る投資顧問業の規制等に関する法律」に基づき投資顧問業の登録を受ける。
- 1995年 9月14日 「有価証券に係る投資顧問業の規制等に関する法律」に基づく投資一任契約にかかる業務の認可を受ける。
- 2007年 9月30日 「金融商品取引法」の施行に伴い、同法第29条の登録を受けたものとみなされる。  
(金融商品取引業者登録番号：関東財務局長（金商）第352号）

・ 大株主の状況

名 称	住 所	所有 株式数	比率
株式会社大和証券グループ本社	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号	株 2,608,525	% 100.00

## 2 【投資方針】

### (1) 【投資方針】

#### 主要投資対象

次の各マザーファンド（以下総称して「マザーファンド」といいます。）の受益証券を主要投資対象とします。

1. 国内債券マザーファンドの受益証券
2. 先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンドの受益証券
3. 新興国債券マザーファンドの受益証券
4. 国内株式マザーファンドの受益証券
5. 先進国株式マザーファンドの受益証券
6. 新興国株式マザーファンドの受益証券
7. 国内REITマザーファンドの受益証券
8. 先進国REITマザーファンドの受益証券
9. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券

#### 投資態度

イ. 主として、マザーファンドの受益証券を通じて、内外の債券、株式および不動産投資信託証券（リート）に投資を行ない、市場の局面判断および投資対象のリスク水準等によって投資対象の配分比率を調整することで、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。

ロ. 投資対象の配分比率の調整にあたっては、以下の方針を基本とします。

1. 投資対象を相対的に価格変動リスクが小さいと考えられる資産（以下「安定重視資産」といいます。）と相対的に価格変動リスクが大きいと考えられる資産（以下「成長重視資産」といいます。）に区分します。

安定重視資産とは日本国債、先進国国債(為替ヘッジあり)をいいます。

成長重視資産とは新興国国債、日本株式、先進国株式、新興国株式、日本リート、先進国リートをいいます。

2. 安定重視資産および成長重視資産の組入比率を、市場の局面判断に基づいて定期的に見直します。

3. 前2.の見直しの際、成長重視資産にかかるマザーファンドの受益証券(上記の3.~8.)の組入比率の合計は、信託財産の純資産総額の50%程度以下とします。

4. 安定重視資産内および成長重視資産内での配分比率は、投資対象のリスク水準等を勘案して決定し、定期的に見直します。

八. 市場環境によっては、信託財産の全部または一部を、ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券を通じてわが国の短期債、コマーシャル・ペーパー等による運用に一時的に切り替える場合があります。

ニ. 上記イ.~八.について、りそなアセットマネジメント株式会社の助言を受けます。

ホ. マザーファンドの受益証券の組入比率の合計は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

ヘ. 先進国債券(為替ヘッジあり)マザーファンドでは、保有する外貨建資産について、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。新興国債券マザーファンド、先進国株式マザーファンド、新興国株式マザーファンドおよび先進国REITマザーファンドでは、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。

ト. 当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

## (2) 【投資対象】

当ファンドにおいて投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

1. 次に掲げる特定資産(投資信託及び投資法人に関する法律施行令第3条に掲げるものをいいます。以下同じ。)

イ. 有価証券

ロ. デリバティブ取引にかかる権利(金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、後掲(5)、および に定めるものに限りません。)

ハ. 約束手形

ニ. 金銭債権のうち、投資信託及び投資法人に関する法律施行規則第22条第1項第6号に掲げるもの

2. 次に掲げる特定資産以外の資産

イ. 為替手形

委託会社は、信託金を、主として、大和証券投資信託委託株式会社を委託者とし三井住友信託銀行株式会社を受託者として締結された次の1. から9. までに掲げる親投資信託(以下総称して「マザーファンド」といいます。 )の受益証券、ならびに次の10. から30. までに掲げる有価証券(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。 )に投資することを指図することができます。

1. 国内債券マザーファンドの受益証券

2. 先進国債券(為替ヘッジあり)マザーファンドの受益証券

3. 新興国債券マザーファンドの受益証券

4. 国内株式マザーファンドの受益証券
5. 先進国株式マザーファンドの受益証券
6. 新興国株式マザーファンドの受益証券
7. 国内REITマザーファンドの受益証券
8. 先進国REITマザーファンドの受益証券
9. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
10. 株券または新株引受権証書
11. 国債証券
12. 地方債証券
13. 特別の法律により法人の発行する債券
14. 社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券（以下「分離型新株引受権付社債券」といいます。）の新株引受権証券を除きます。）
15. 特定目的会社にかかる特定社債券（金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。）
16. 特別の法律により設立された法人の発行する出資証券（金融商品取引法第2条第1項第6号で定めるものをいいます。）
17. 協同組織金融機関にかかる優先出資証券（金融商品取引法第2条第1項第7号で定めるものをいいます。）
18. 特定目的会社にかかる優先出資証券または新優先出資引受権を表示する証券（金融商品取引法第2条第1項第8号で定めるものをいいます。）
19. コマーシャル・ペーパー
20. 新株引受権証券（分離型新株引受権付社債券の新株引受権証券を含みます。以下同じ。）および新株予約権証券
21. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前10. から前20. までの証券または証書の性質を有するもの
22. 投資信託または外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。）
23. 投資証券、投資法人債券または外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）
24. 外国貸付債権信託受益証券（金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。）
25. オプションを表示する証券または証書（金融商品取引法第2条第1項第19号で定めるものをいい、有価証券にかかるものに限ります。）
26. 預託証書（金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。）
27. 外国法人が発行する譲渡性預金証書
28. 受益証券発行信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定めるものをいいます。）
29. 抵当証券（金融商品取引法第2条第1項第16号で定めるものをいいます。）
30. 外国の者に対する権利で、貸付債権信託受益権であって前28. の有価証券に表示されるべき権利の性質を有するもの

なお、前10. の証券または証書ならびに前21. および前26. の証券または証書のうち前10. の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、前11. から前15. までの証券ならびに前23. の証券のうち投資法人債券ならびに前21. および前26. の証券または証書のうち前11. から前15. ま

での証券の性質を有するものを以下「公社債」といい、前22.の証券および前23.の証券（投資法人債券を除きます。）を以下「投資信託証券」といいます。

委託会社は、信託金を、前に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することを指図することができます。

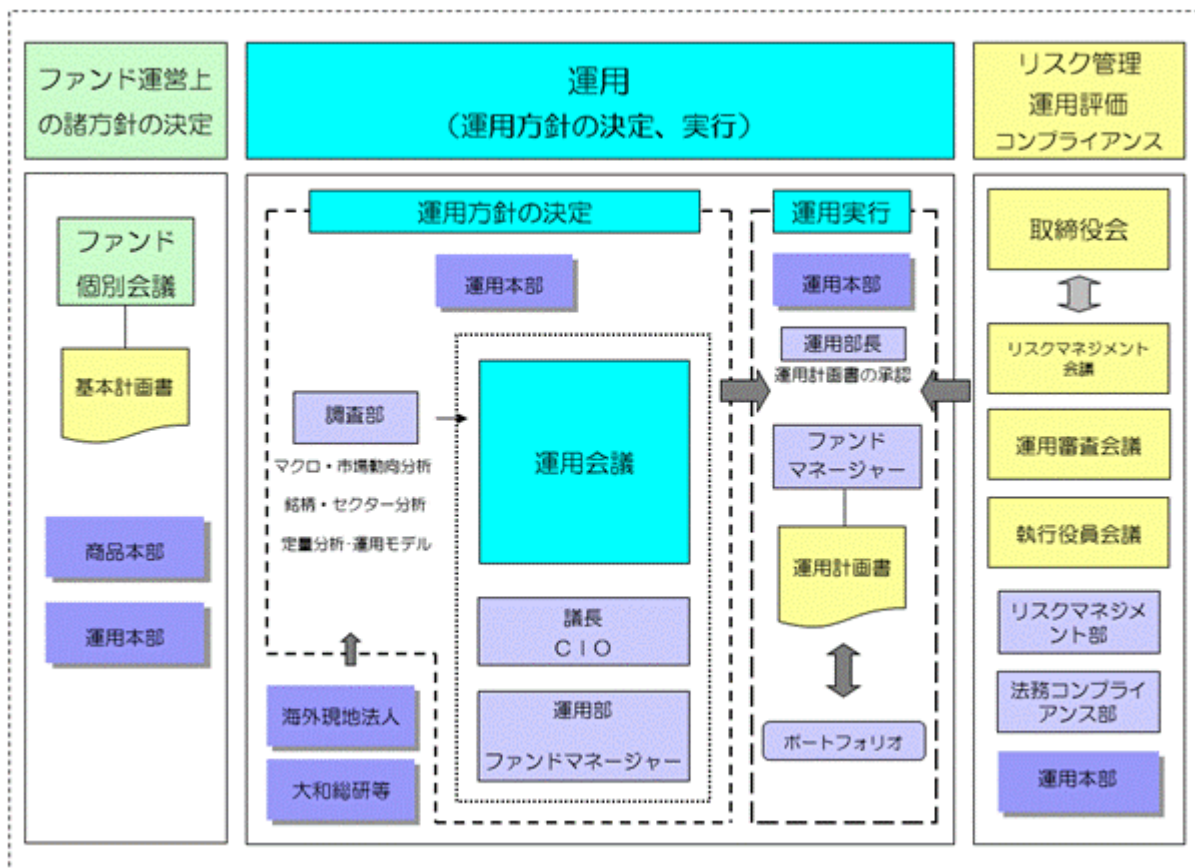
1. 預金
2. 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）
3. コール・ローン
4. 手形割引市場において売買される手形
5. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの
6. 外国の者に対する権利で前5.の権利の性質を有するもの

前の規定にかかわらず、当ファンドの設定、解約、償還、投資環境の変動等への対応等、委託会社が運用上必要と認めるときには、委託会社は、信託金を、前に掲げる金融商品により運用することを指図することができます。

### (3) 【運用体制】

#### 運用体制

ファンドの運用体制は、以下のとおりとなっています。



#### 運用方針の決定にかかる過程

運用方針は次の過程を経て決定しております。

#### イ．基本計画書の策定

ファンド運営上の諸方針を記載した基本計画書を経営会議の分科会であるファンド個別会議において審議・決定します。

ロ．基本的な運用方針の決定

CIOが議長となり、原則として月1回運用会議を開催し、基本的な運用方針を決定します。

ハ．運用計画書の作成・承認

ファンドマネージャーは、基本計画書に定められた各ファンドの諸方針と運用会議で決定された基本的な運用方針にしたがって運用計画書を作成します。運用部長は、ファンドマネージャーから提示を受けた運用計画書について、基本計画書および運用会議の決定事項との整合性等を確認し、承認します。

職務権限

ファンド運用の意思決定機能を担う運用本部において、各職位の主たる職務権限は、社内規則によって、次のように定められています。

イ．CIO (Chief Investment Officer) (1名)

運用最高責任者として、次の職務を遂行します。

- ・ファンド運用に関する組織運営
- ・ファンドマネージャーの任命・変更
- ・運用会議の議長として、基本的な運用方針の決定
- ・各ファンドの分配政策の決定
- ・代表取締役に対する随時的確な状況報告
- ・その他ファンドの運用に関する重要事項の決定

ロ．Deputy-CIO (0~5名程度)

CIOを補佐し、その指揮を受け、職務を遂行します。

ハ．インベストメント・オフィサー (0~5名程度)

CIOおよびDeputy-CIOを補佐し、その指揮を受け、職務を遂行します。

ニ．運用部長 (各運用部に1名)

ファンドマネージャーが策定する運用計画を承認します。

ホ．ファンドマネージャー

ファンドの運用計画を策定して、これに沿ってポートフォリオを構築します。

運用審査会議、リスクマネジメント会議および執行役員会議

次のとおり各会議体において必要な報告・審議等を行なっています。これら会議体の事務局となる内部管理関連部門の人員は30~40名程度です。

イ．運用審査会議

経営会議の分科会として、ファンドの運用実績の状況についての報告を行ない、必要事項を審議・決定します。

ロ．リスクマネジメント会議

経営会議の分科会として、ファンドの運用リスクの状況・運用リスク管理等の状況についての報告を行ない、必要事項を審議・決定します。

ハ．執行役員会議

経営会議の分科会として、法令等の遵守状況についての報告を行ない、必要事項を審議・決定します。



#### 受託会社に対する管理体制

受託会社に対しては、日々の純資産照合、月次の勘定残高照合などを行なっています。また、受託会社より内部統制の整備および運用状況の報告書を受け取っています。

上記の運用体制は2019年11月末日現在のものであり、変更となる場合があります。

#### (4) 【分配方針】

毎計算期末に、次の方針に基づいて分配します。

分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。

原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

留保益は、前(1)に基づいて運用します。

#### (5) 【投資制限】

マザーファンドの受益証券（信託約款）

マザーファンドの受益証券への投資割合には、制限を設けません。

株式（信託約款）

株式への実質投資割合には、制限を設けません。

新株引受権証券等（信託約款）

イ．委託会社は、信託財産に属する新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、取得時において信託財産の純資産総額の100分の20を超えることとなる投資の指図をしません。

ロ．前イ．において信託財産に属するとみなした額とは、信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額に、マザーファンドの信託財産の純資産総額に占める新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。

投資信託証券（信託約款）

イ．委託会社は、信託財産に属する投資信託証券（マザーファンドの受益証券および金融商品取引所に上場等され、かつ当該取引所において常時売却可能（市場急変等により一時的に流動性が低下している場合を除きます。）な投資信託証券（以下「上場投資信託証券」といいます。）を除きます。）の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、信託財産の純資産総額の100分の5を超えることとなる投資の指図をしません。

ロ．前イ．において信託財産に属するとみなした額とは、信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額に、マザーファンドの信託財産の純資産総額に占める投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。

投資する株式等の範囲（信託約款）

イ．委託会社が投資することを指図する株式、新株引受権証券および新株予約権証券は、金融商品取引所に上場されている株式の発行会社の発行するもの、金融商品取引所に準ずる市場において取引

されている株式の発行会社の発行するものとします。ただし、株主割当または社債権者割当により取得する株式、新株引受権証券および新株予約権証券については、この限りではありません。

ロ．前イ．の規定にかかわらず、上場予定または登録予定の株式、新株引受権証券および新株予約権証券で目論見書等において上場または登録されることが確認できるものについては、委託会社が投資することを指図することができるものとします。

同一銘柄の新株引受権証券等（信託約款）

イ．委託会社は、信託財産に属する同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する当該新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、信託財産の純資産総額の100分の5を超えることとなる投資の指図をしません。

ロ．前イ．において信託財産に属するとみなした額とは、信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額に、マザーファンドの信託財産の純資産総額に占める当該新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。

信用取引（信託約款）

イ．委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信用取引により株券を売り付けることの指図をすることができます。なお、当該売付けの決済については、株券の引渡しまたは買戻しにより行なうことの指図をすることができます。

ロ．前イ．の信用取引の指図は、次の1.から6.までに掲げる有価証券の発行会社の発行する株券について行なうことができるものとし、かつ次の1.から6.までに掲げる株券数の合計数を超えないものとします。

1. 信託財産に属する株券および新株引受権証券の権利行使により取得する株券
2. 株式分割により取得する株券
3. 有償増資により取得する株券
4. 売出しにより取得する株券
5. 信託財産に属する転換社債の転換請求および新株予約権（新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下、会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）の新株予約権に限ります。）の行使により取得可能な株券
6. 信託財産に属する新株引受権証券および新株引受権付社債券の新株引受権の行使、または信託財産に属する新株予約権証券および新株予約権付社債券の新株予約権（前5.に定めるものを除きます。）の行使により取得可能な株券

先物取引等（信託約款）

イ．委託会社は、わが国の金融商品取引所における有価証券先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。）、有価証券指数等先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。）および有価証券オプション取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。）ならびに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を次の範囲で行なうことの指図をすることができます。なお、選択権取引は、オプション取引に含めるものとします（以下同じ。）。

1. 先物取引の売建ておよびコール・オプションの売付けの指図は、建玉の合計額が、組入有価証券の時価総額の範囲内とします。

2. 先物取引の買建ておよびプット・オプションの売付けの指図は、建玉の合計額が、有価証券の組入可能額(組入有価証券を差し引いた額)に信託財産が限月までに受取る組入公社債、組入外国貸付債権信託受益証券、組入貸付債権信託受益権、組入抵当証券および組入指定金銭信託の受益証券の利払金および償還金を加えた額を限度とし、かつ信託財産が限月までに受取る組入有価証券にかかる利払金および償還金等ならびに前(2)の1.から4.までに掲げる金融商品で運用している額(以下「金融商品運用額等」といいます。)の範囲内とします。

3. コール・オプションおよびプット・オプションの買付けの指図は、全オプション取引にかかる支払いプレミアム額の合計額が取引時点の信託財産の純資産総額の5%を上回らない範囲内とします。

ロ. 委託会社は、わが国の金融商品取引所における通貨にかかる先物取引ならびに外国の金融商品取引所における通貨にかかる先物取引およびオプション取引を次の範囲で行なうことの指図をすることができます。

1. 先物取引の売建ておよびコール・オプションの売付けの指図は、建玉の合計額が、為替の売予約と合わせて、保有外貨建資産の時価総額の範囲内とします。

2. 先物取引の買建ておよびプット・オプションの売付けの指図は、建玉の合計額が、為替の買予約と合わせて、外貨建有価証券の買付代金等実需の範囲内とします。

3. コール・オプションおよびプット・オプションの買付けの指図は、支払いプレミアム額の合計額が取引時点の保有外貨建資産の時価総額の5%を上回らない範囲内とし、かつ全オプション取引にかかる支払いプレミアム額の合計額が取引時点の信託財産の純資産総額の5%を上回らない範囲内とします。

ハ. 委託会社は、わが国の金融商品取引所における金利にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の金融商品取引所における金利にかかるこれらの取引と類似の取引を次の範囲で行なうことの指図をすることができます。

1. 先物取引の売建ておよびコール・オプションの売付けの指図は、建玉の合計額が、保有金利商品(信託財産が1年以内に受取る組入有価証券の利払金および償還金等ならびに前(2)の1.から4.までに掲げる金融商品で運用されているものをいいます。以下同じ。)の時価総額の範囲内とします。

2. 先物取引の買建ておよびプット・オプションの売付けの指図は、建玉の合計額が、信託財産が限月までに受取る組入有価証券にかかる利払金および償還金等ならびに金融商品運用額等の範囲内とします。ただし、保有金利商品が外貨建てで、信託財産の外貨建資産組入可能額(約款上の組入可能額から保有外貨建資産の時価総額を差し引いた額。以下同じ。)に信託財産が限月までに受取る外貨建組入公社債および組入外国貸付債権信託受益証券ならびに外貨建組入貸付債権信託受益権の利払金および償還金を加えた額が当該金融商品運用額等の額より少ない場合には外貨建資産組入可能額に信託財産が限月までに受取る外貨建組入有価証券にかかる利払金および償還金等を加えた額を限度とします。

3. コール・オプションおよびプット・オプションの買付けの指図は、支払いプレミアム額の合計額が取引時点の保有金利商品の時価総額の5%を上回らない範囲内とし、かつ全オプション取引にかかる支払いプレミアム額の合計額が取引時点の信託財産の純資産総額の5%を上回らない範囲内とします。

スワップ取引(信託約款)

- イ．委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、異なった通貨、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（以下「スワップ取引」といいます。）を行なうことの指図をすることができます。
- ロ．スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- ハ．スワップ取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額とマザーファンドの信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額（以下本八．において「スワップ取引の想定元本の合計額」といいます。）が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記純資産総額が減少して、スワップ取引の想定元本の合計額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当するスワップ取引の一部の解約を指図するものとします。
- ニ．前八．においてマザーファンドの信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額のうち信託財産に属するとみなした額とは、マザーファンドの信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。
- ホ．スワップ取引の評価は、市場実勢金利等をもとに算出した価額で行なうものとします。
- ヘ．委託会社は、スワップ取引を行なうにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行なうものとします。
- 金利先渡取引および為替先渡取引（信託約款）
- イ．委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、金利先渡取引および為替先渡取引を行なうことの指図をすることができます。
- ロ．金利先渡取引および為替先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- ハ．金利先渡取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかる金利先渡取引の想定元本の総額とマザーファンドの信託財産にかかる金利先渡取引の想定元本の総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額（以下本八．において「金利先渡取引の想定元本の合計額」といいます。）が、信託財産にかかる保有金利商品の時価総額とマザーファンドの信託財産にかかる保有金利商品の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額（以下本八．において「保有金利商品の時価総額の合計額」といいます。）を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記保有金利商品の時価総額の合計額が減少して、金利先渡取引の想定元本の合計額が保有金利商品の時価総額の合計額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当する金利先渡取引の一部の解約を指図するものとします。
- ニ．前八．においてマザーファンドの信託財産にかかる金利先渡取引の想定元本の総額のうち信託財産に属するとみなした額とは、マザーファンドの信託財産にかかる金利先渡取引の想定元本の総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。また、マザーファンドの信託財産にかかる保有金利商品の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額とは、マザーファンドの信託財産にかかる保有金利商品の時価総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。

ホ．為替先渡取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかる為替先渡取引の想定元本の総額とマザーファンドの信託財産にかかる為替先渡取引の想定元本の総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額（以下本ホ．において「為替先渡取引の想定元本の合計額」といいます。）が、信託財産にかかる保有外貨建資産の時価総額とマザーファンドの信託財産にかかる保有外貨建資産の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額（以下本ホ．において「保有外貨建資産の時価総額の合計額」といいます。）を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記保有外貨建資産の時価総額の合計額が減少して、為替先渡取引の想定元本の合計額が保有外貨建資産の時価総額の合計額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当する為替先渡取引の一部の解約を指図するものとします。

ヘ．前ホ．においてマザーファンドの信託財産にかかる為替先渡取引の想定元本の総額のうち信託財産に属するとみなした額とは、マザーファンドの信託財産にかかる為替先渡取引の想定元本の総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。また、マザーファンドの信託財産にかかる保有外貨建資産の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額とは、マザーファンドの信託財産にかかる保有外貨建資産の時価総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。

ト．金利先渡取引および為替先渡取引の評価は、市場実勢金利等をもとに算出した価額で行なうものとします。

チ．委託会社は、金利先渡取引および為替先渡取引を行なうにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行なうものとします。

#### デリバティブ取引等（信託約款）

委託会社は、デリバティブ取引等について、一般社団法人投資信託協会規則に定める合理的な方法により算出した額が、信託財産の純資産総額を超えることとなる投資の指図をしません。

#### 同一銘柄の転換社債等（信託約款）

イ．委託会社は、信託財産に属する同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する当該転換社債および転換社債型新株予約権付社債の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません。

ロ．前イ．において信託財産に属するとみなした額とは、信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額に、マザーファンドの信託財産の純資産総額に占める当該転換社債および転換社債型新株予約権付社債の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。

#### 有価証券の貸付け（信託約款）

イ．委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産に属する株式、公社債および投資信託証券を次の範囲内で貸付けることの指図をすることができます。

1. 株式の貸付けは、貸付時点において、貸付株式の時価合計額が、信託財産で保有する株式の時価合計額を超えないものとします。
2. 公社債の貸付けは、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、信託財産で保有する公社債の額面金額の合計額を超えないものとします。
3. 投資信託証券の貸付けは、貸付時点において、貸付投資信託証券の時価合計額が、信託財産で保有する投資信託証券の時価合計額を超えないものとします。

ロ．前イ．に定める限度額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当する契約の一部の解約を指図するものとします。

ハ．委託会社は、有価証券の貸付けにあたって必要と認めるときは、担保の受入れの指図を行なうものとします。

外貨建資産（信託約款）

外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。

特別の場合の外貨建有価証券への投資制限（信託約款）

外貨建有価証券への投資については、わが国の国際収支上の理由等により特に必要と認められる場合には、制約されることがあります。

外国為替予約取引（信託約款）

イ．委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、外国為替の売買の予約取引の指図をすることができます。

ロ．前イ．の予約取引の指図は、信託財産にかかる為替の買予約とマザーファンドの信託財産にかかる為替の買予約のうち信託財産に属するとみなした額との合計額と、信託財産にかかる為替の売予約とマザーファンドの信託財産にかかる為替の売予約のうち信託財産に属するとみなした額との合計額との差額につき円換算した額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。ただし、信託財産に属する外貨建資産の為替変動リスクを回避するためにする当該予約取引の指図については、この限りではありません。

ハ．前ロ．においてマザーファンドの信託財産にかかる為替の買予約のうち信託財産に属するとみなした額とは、マザーファンドの信託財産にかかる為替の買予約の総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。また、マザーファンドの信託財産にかかる為替の売予約のうち信託財産に属するとみなした額とは、マザーファンドの信託財産にかかる為替の売予約の総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。

ニ．前ロ．の限度額を超えることとなった場合には、委託会社は所定の期間内に、その超える額に相当する為替予約の一部を解消するための外国為替の売買の予約取引の指図をするものとします。

信用リスク集中回避（信託約款）

一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ100分の10、合計で100分の20を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託会社は、一般社団法人投資信託協会規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行なうこととします。

資金の借入れ（信託約款）

イ．委託会社は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性に資するため、一部解約に伴う支払資金の手当て（一部解約に伴う支払資金の手当てのために借入れた資金の返済を含みます。）を目的として、または再投資にかかる収益分配金の支払資金の手当てを目的として、資金借入れ（コール市場を通じる場合を含みます。）の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行なわないものとします。

ロ．一部解約に伴う支払資金の手当てにかかる借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から、信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間、または解約代金の入金日までの間、もしくは償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とし、資金借入額は当該有価証券等の売却代金、解約代金および償還金の合計額を限度とします。ただし、資金借入額は、借入指図を行なう日における信託財産の純資産総額の10%を超えないこととします。

- ハ．収益分配金の再投資にかかる借入期間は、信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとし、資金借入額は収益分配金の再投資額を限度とします。
- 二．借入金の利息は信託財産中から支弁します。

## <参考> マザーファンドの概要

### 1. 国内債券マザーファンド

#### (1) 投資方針

##### 主要投資対象

国内の国債を主要投資対象とします。

##### 投資態度

- イ．主として、国内の国債に投資し、国内の国債市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。
- ロ．運用の効率化を図るため、債券先物取引を利用することがあります。このため、債券の組入総額および債券先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。
- ハ．当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

#### (2) 投資対象

当ファンドにおいて投資の対象とする資産（本邦通貨表示のものに限ります。）の種類は、次に掲げるものとします。

1. 次に掲げる特定資産（投資信託及び投資法人に関する法律施行令第3条に掲げるものをいいます。以下同じ。）

イ．有価証券

ロ．デリバティブ取引にかかる権利（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、後掲(3)、および に定めるものに限ります。）

ハ．約束手形

二．金銭債権のうち、投資信託及び投資法人に関する法律施行規則第22条第1項第6号に掲げるもの

2. 次に掲げる特定資産以外の資産

イ．為替手形

委託会社は、信託金を、主として次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図することができます。

1. 転換社債の転換、新株予約権（新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下、会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）の新株予約権に限ります。）の行使、社債権者割当または株主割当により取得した株券または新株引受権証書

2. 国債証券

3. 地方債証券

4. 特別の法律により法人の発行する債券
5. 社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券の新株引受権証券を除きます。）
6. 特定目的会社にかかる特定社債券（金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。）
7. コマーシャル・ペーパー
8. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前1.から前7.までの証券または証書の性質を有するもの
9. 投資信託または外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。）
10. 投資証券、投資法人債券または外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）
11. 外国貸付債権信託受益証券（金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。）
12. オプションを表示する証券または証書（金融商品取引法第2条第1項第19号で定めるものをいい、有価証券にかかるものに限りします。）
13. 預託証書（金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。）
14. 外国法人が発行する譲渡性預金証書
15. 受益証券発行信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定めるものをいいます。）
16. 抵当証券（金融商品取引法第2条第1項第16号で定めるものをいいます。）
17. 外国の者に対する権利で、貸付債権信託受益権であって前15.の有価証券に表示されるべき権利の性質を有するもの

なお、前1.の証券または証書ならびに前8.および前13.の証券または証書のうち前1.の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、前2.から前6.までの証券ならびに前10.の証券のうち投資法人債券ならびに前8.および前13.の証券または証書のうち前2.から前6.までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といい、前9.の証券および前10.の証券（投資法人債券を除きます。）を以下「投資信託証券」といいます。

委託会社は、信託金を、前 に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することを指図することができます。

1. 預金
2. 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）
3. コール・ローン
4. 手形割引市場において売買される手形
5. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの
6. 外国の者に対する権利で前5.の権利の性質を有するもの

### (3) 主な投資制限

#### 株式

株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権（転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限りします。）の行使等により取得したものに限りします。

株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

#### 投資信託証券



投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

同一銘柄の転換社債等

同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

外貨建資産

外貨建資産への投資は、行ないません。

先物取引等

イ．委託会社は、わが国の金融商品取引所における有価証券先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。）、有価証券指数等先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。）および有価証券オプション取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。）ならびに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行なうことの指図をすることができます。なお、選択権取引は、オプション取引に含めるものとします（以下同じ。）。

ロ．委託会社は、わが国の金融商品取引所における金利にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の金融商品取引所における金利にかかるこれらの取引と類似の取引を行なうことの指図をすることができます。

スワップ取引

イ．委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（以下「スワップ取引」といいます。）を行なうことの指図をすることができます。

ロ．スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。

ハ．スワップ取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記純資産総額が減少して、スワップ取引の想定元本の総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当するスワップ取引の一部の解約を指図するものとします。

ニ．スワップ取引の評価は、市場実勢金利をもとに算出した価額で行なうものとします。

ホ．委託会社は、スワップ取引を行なうにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行なうものとします。

金利先渡取引

イ．委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、金利先渡取引を行なうことの指図をすることができます。

ロ．金利先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。

ハ．金利先渡取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかる金利先渡取引の想定元本の総額が、保有金利商品（信託財産が1年以内に受取る組入有価証券の利払金および償還金等ならびに前(2)の1.から4.までに掲げる金融商品で運用されているものをいいます。以下同じ。）の時価総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記保有金利商品の時価総額が減

少して、金利先渡取引の想定元本の総額が保有金利商品の時価総額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当する金利先渡取引の一部の解約を指図するものとします。

ニ．金利先渡取引の評価は、市場実勢金利をもとに算出した価額で行なうものとします。

ホ．委託会社は、金利先渡取引を行なうにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めたときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行なうものとします。

## 2. 先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

### (1) 投資方針

#### 主要投資対象

先進国（日本を除きます。以下同じ。）の国家機関が発行する債券を主要投資対象とします。

#### 投資態度

イ．主として、先進国の国家機関が発行する先進国通貨建ての債券に投資し、先進国の債券市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。

ロ．運用の効率化を図るため、先進国の債券先物取引を利用することがあります。このため、債券の組入総額および債券先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。

ハ．為替変動リスクを低減するため、外貨建資産については為替ヘッジを行ないます。

ニ．当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

### (2) 投資対象

当ファンドにおいて投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

1. 次に掲げる特定資産（投資信託及び投資法人に関する法律施行令第3条に掲げるものをいいます。以下同じ。）

イ．有価証券

ロ．デリバティブ取引にかかる権利（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、後掲(3)、および に定めるものに限ります。）

ハ．約束手形

ニ．金銭債権のうち、投資信託及び投資法人に関する法律施行規則第22条第1項第6号に掲げるもの

2. 次に掲げる特定資産以外の資産

イ．為替手形

委託会社は、信託金を、主として次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図することができます。

1. 転換社債の転換、新株予約権（新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下、会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）の新株予約権に限ります。）の行使、社債権者割当または株主割当により取得した外国通貨表示の株券または新株引受権証書

2. 国債証券

3. 地方債証券
4. 特別の法律により法人の発行する債券
5. 社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券の新株引受権証券を除きます。）
6. 特定目的会社にかかる特定社債券（金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。）
7. コマーシャル・ペーパー
8. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前1.から前7.までの証券または証書の性質を有するもの
9. 投資信託または外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。）
10. 投資証券、投資法人債券または外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）
11. 外国貸付債権信託受益証券（金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。）
12. オプションを表示する証券または証書（金融商品取引法第2条第1項第19号で定めるものをいい、有価証券にかかるものに限ります。）
13. 預託証書（金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。）
14. 外国法人が発行する譲渡性預金証書
15. 受益証券発行信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定めるものをいいます。）
16. 抵当証券（金融商品取引法第2条第1項第16号で定めるものをいいます。）
17. 外国の者に対する権利で、貸付債権信託受益権であって前15.の有価証券に表示されるべき権利の性質を有するもの

なお、前1.の証券または証書ならびに前8.および前13.の証券または証書のうち前1.の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、前2.から前6.までの証券ならびに前10.の証券のうち投資法人債券ならびに前8.および前13.の証券または証書のうち前2.から前6.までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といい、前9.の証券および前10.の証券（投資法人債券を除きます。）を以下「投資信託証券」といいます。

委託会社は、信託金を、前 に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することを指図することができます。

1. 預金
2. 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）
3. コール・ローン
4. 手形割引市場において売買される手形
5. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの
6. 外国の者に対する権利で前5.の権利の性質を有するもの

### (3) 主な投資制限

#### 株式

株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権（転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限ります。）の行使等により取得したものに限り、

株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

#### 投資信託証券

投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

同一銘柄の転換社債等

同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

外貨建資産

外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

先物取引等

イ. 委託会社は、わが国の金融商品取引所における有価証券先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。)、有価証券指数等先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。)および有価証券オプション取引(金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。)ならびに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行なうことの指図をすることができます。なお、選択権取引は、オプション取引に含めるものとします(以下同じ。)

ロ. 委託会社は、わが国の金融商品取引所における通貨にかかる先物取引ならびに外国の金融商品取引所における通貨にかかる先物取引およびオプション取引を行なうことの指図をすることができます。

ハ. 委託会社は、わが国の金融商品取引所における金利にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の金融商品取引所における金利にかかるこれらの取引と類似の取引を行なうことの指図をすることができます。

スワップ取引

イ. 委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、異なった通貨、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引(以下「スワップ取引」といいます。)を行なうことの指図をすることができます。

ロ. スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。

ハ. スワップ取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記純資産総額が減少して、スワップ取引の想定元本の総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当するスワップ取引の一部の解約を指図するものとします。

ニ. スワップ取引の評価は、市場実勢金利等をもとに算出した価額で行なうものとします。

ホ. 委託会社は、スワップ取引を行なうにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行なうものとします。

金利先渡取引および為替先渡取引

イ. 委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、金利先渡取引および為替先渡取引を行なうことの指図をすることができます。

ロ. 金利先渡取引および為替先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。

- ハ．金利先渡取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかる金利先渡取引の想定元本の総額が、保有金利商品（信託財産が1年以内に受取る組入有価証券の利払金および償還金等ならびに前(2)の1.から4.までに掲げる金融商品で運用されているものをいいます。以下同じ。）の時価総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記保有金利商品の時価総額が減少して、金利先渡取引の想定元本の総額が保有金利商品の時価総額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当する金利先渡取引の一部の解約を指図するものとします。
- ニ．為替先渡取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかる為替先渡取引の想定元本の総額が、保有外貨建資産の時価総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記保有外貨建資産の時価総額が減少して、為替先渡取引の想定元本の総額が保有外貨建資産の時価総額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当する為替先渡取引の一部の解約を指図するものとします。
- ホ．金利先渡取引および為替先渡取引の評価は、市場実勢金利等をもとに算出した価額で行なうものとします。
- ヘ．委託会社は、金利先渡取引および為替先渡取引を行なうにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行なうものとします。

### 3. 新興国債券マザーファンド

#### (1) 投資方針

##### 主要投資対象

新興国の国家機関が発行する債券を主要投資対象とします。

##### 投資態度

イ．主として、新興国の国家機関が発行する米ドル建ての債券に投資し、新興国の債券市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。

新興国の国家機関が発行する米ドル建て以外の債券、米国の国家機関および国際機関が発行する債券にも投資する場合があります。米ドル建て以外の債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的に米ドル建てとなるように為替取引を行ないます。

ロ．運用の効率化を図るため、債券先物取引を利用することがあります。このため、債券の組入総額および債券先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。

ハ．為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。

ニ．当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

#### (2) 投資対象

当ファンドにおいて投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

1. 次に掲げる特定資産（投資信託及び投資法人に関する法律施行令第3条に掲げるものをいいます。以下同じ。）

イ．有価証券

ロ．デリバティブ取引にかかる権利（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、後掲(3)、および に定めるものに限ります。）

## 八．約束手形

二．金銭債権のうち、投資信託及び投資法人に関する法律施行規則第22条第1項第6号に掲げるもの

## 2．次に掲げる特定資産以外の資産

## イ．為替手形

委託会社は、信託金を、主として次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図することができます。

1. 転換社債の転換、新株予約権（新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下、会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）の新株予約権に限ります。）の行使、社債権者割当または株主割当により取得した外国通貨表示の株券または新株引受権証券

2. 国債証券

3. 地方債証券

4. 特別の法律により法人の発行する債券

5. 社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券の新株引受権証券を除きます。）

6. 特定目的会社にかかる特定社債券（金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。）

7. コマーシャル・ペーパー

8. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前1.から前7.までの証券または証書の性質を有するもの

9. 投資信託または外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。）

10. 投資証券、投資法人債券または外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）

11. 外国貸付債権信託受益証券（金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。）

12. オプションを表示する証券または証書（金融商品取引法第2条第1項第19号で定めるものをいい、有価証券にかかるものに限りします。）

13. 預託証書（金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。）

14. 外国法人が発行する譲渡性預金証書

15. 受益証券発行信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定めるものをいいます。）

16. 抵当証券（金融商品取引法第2条第1項第16号で定めるものをいいます。）

17. 外国の者に対する権利で、貸付債権信託受益権であって前15.の有価証券に表示されるべき権利の性質を有するもの

なお、前1.の証券または証書ならびに前8.および前13.の証券または証書のうち前1.の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、前2.から前6.までの証券ならびに前10.の証券のうち投資法人債券ならびに前8.および前13.の証券または証書のうち前2.から前6.までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といい、前9.の証券および前10.の証券（投資法人債券を除きます。）を以下「投資信託証券」といいます。

委託会社は、信託金を、前に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することを指図することができます。

1. 預金
2. 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）
3. コール・ローン
4. 手形割引市場において売買される手形
5. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの
6. 外国の者に対する権利で前5.の権利の性質を有するもの

### (3) 主な投資制限

#### 株式

株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権（転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限ります。）の行使等により取得したものに限り、

株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

#### 投資信託証券

投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

#### 同一銘柄の転換社債等

同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

#### 外貨建資産

外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

#### 先物取引等

イ. 委託会社は、わが国の金融商品取引所における有価証券先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。）、有価証券指数等先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。）および有価証券オプション取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。）ならびに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行なうことの指図をすることができます。なお、選択権取引は、オプション取引に含めるものとします（以下同じ。）。

ロ. 委託会社は、わが国の金融商品取引所における通貨にかかる先物取引ならびに外国の金融商品取引所における通貨にかかる先物取引およびオプション取引を行なうことの指図をすることができます。

ハ. 委託会社は、わが国の金融商品取引所における金利にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の金融商品取引所における金利にかかるこれらの取引と類似の取引を行なうことの指図をすることができます。

#### スワップ取引

イ. 委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、異なった通貨、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（以下「スワップ取引」といいます。）を行なうことの指図をすることができます。

ロ. スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。

ハ．スワップ取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記純資産総額が減少して、スワップ取引の想定元本の総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当するスワップ取引の一部の解約を指図するものとします。

ニ．スワップ取引の評価は、市場実勢金利等をもとに算出した価額で行なうものとします。

ホ．委託会社は、スワップ取引を行なうにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めたときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行なうものとします。

金利先渡取引および為替先渡取引

イ．委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、金利先渡取引および為替先渡取引を行なうことの指図をすることができます。

ロ．金利先渡取引および為替先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。

ハ．金利先渡取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかる金利先渡取引の想定元本の総額が、保有金利商品（信託財産が1年以内に受取る組入有価証券の利払金および償還金等ならびに前(2)の1.から4.までに掲げる金融商品で運用されているものをいいます。以下同じ。）の時価総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記保有金利商品の時価総額が減少して、金利先渡取引の想定元本の総額が保有金利商品の時価総額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当する金利先渡取引の一部の解約を指図するものとします。

ニ．為替先渡取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかる為替先渡取引の想定元本の総額が、保有外貨建資産の時価総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記保有外貨建資産の時価総額が減少して、為替先渡取引の想定元本の総額が保有外貨建資産の時価総額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当する為替先渡取引の一部の解約を指図するものとします。

ホ．金利先渡取引および為替先渡取引の評価は、市場実勢金利等をもとに算出した価額で行なうものとします。

ヘ．委託会社は、金利先渡取引および為替先渡取引を行なうにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めたときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行なうものとします。

直物為替先渡取引

イ．委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、直物為替先渡取引を行なうことの指図をすることができます。

ロ．直物為替先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。

ハ．直物為替先渡取引の評価は、市場実勢金利等をもとに算出した価額で行なうものとします。

ニ．委託会社は、直物為替先渡取引を行なうにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めたときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行なうものとします。

#### 4．国内株式マザーファンド

##### (1) 投資方針



## 主要投資対象

次の有価証券および先物取引を主要投資対象とします。

イ．国内の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。）

ロ．国内株式を対象とした株価指数先物取引

ハ．国内の債券

### 投資態度

- 1．主として、国内株式、国内株式を対象とした株価指数先物取引および国内の債券に投資し、国内の株式市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。
- 2．追加設定、解約の申込がある場合には、信託財産の純資産総額に設定予定額を加え解約予定額を控除した額を上限に株価指数先物取引の買建てを行なうことがあります。このため、株式の組入総額と株価指数先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。
- 3．当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

## (2) 投資対象

当ファンドにおいて投資の対象とする資産（本邦通貨表示のものに限ります。）の種類は、次に掲げるものとします。

1．次に掲げる特定資産（投資信託及び投資法人に関する法律施行令第3条に掲げるものをいいます。以下同じ。）

イ．有価証券

ロ．デリバティブ取引にかかる権利（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、後掲(3)、および に定めるものに限ります。）

ハ．約束手形

ニ．金銭債権のうち、投資信託及び投資法人に関する法律施行規則第22条第1項第6号に掲げるもの

2．次に掲げる特定資産以外の資産

イ．為替手形

委託会社は、信託金を、主として次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図することができます。

1．株券または新株引受権証書

2．国債証券

3．地方債証券

4．特別の法律により法人の発行する債券

5．社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券（以下「分離型新株引受権付社債券」といいます。）の新株引受権証券を除きます。）

6．特定目的会社にかかる特定社債券（金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。）

7．特別の法律により設立された法人の発行する出資証券（金融商品取引法第2条第1項第6号で定めるものをいいます。）

8．協同組織金融機関にかかる優先出資証券（金融商品取引法第2条第1項第7号で定めるものをいいます。）

9. 特定目的会社にかかる優先出資証券または新優先出資引受権を表示する証券(金融商品取引法第2条第1項第8号で定めるものをいいます。)
10. コマーシャル・ペーパー
11. 新株引受権証券(分離型新株引受権付社債券の新株引受権証券を含みます。以下同じ。 )および新株予約権証券
12. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前1.から前11.までの証券または証書の性質を有するもの
13. 投資信託または外国投資信託の受益証券(金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。)
14. 投資証券、投資法人債券または外国投資証券(金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。)
15. 外国貸付債権信託受益証券(金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。)
16. オプションを表示する証券または証書(金融商品取引法第2条第1項第19号で定めるものをいい、有価証券にかかるものに限ります。)
17. 預託証書(金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。)
18. 外国法人が発行する譲渡性預金証書
19. 受益証券発行信託の受益証券(金融商品取引法第2条第1項第14号で定めるものをいいます。)
20. 抵当証券(金融商品取引法第2条第1項第16号で定めるものをいいます。)
21. 外国の者に対する権利で、貸付債権信託受益権であって前19.の有価証券に表示されるべき権利の性質を有するもの

なお、前1.の証券または証書ならびに前12.および前17.の証券または証書のうち前1.の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、前2.から前6.までの証券ならびに前14.の証券のうち投資法人債券ならびに前12.および前17.の証券または証書のうち前2.から前6.までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といい、前13.の証券および前14.の証券(投資法人債券を除きます。 )を以下「投資信託証券」といいます。

委託会社は、信託金を、前 に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。 )により運用することを指図することができます。

1. 預金
2. 指定金銭信託(金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。 )
3. コール・ローン
4. 手形割引市場において売買される手形
5. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの
6. 外国の者に対する権利で前5.の権利の性質を有するもの

### (3) 主な投資制限

#### 株式

株式への投資割合には、制限を設けません。

#### 新株引受権証券等

新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の20%以下とします。

#### 投資信託証券

投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

同一銘柄の新株引受権証券等

同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

同一銘柄の転換社債等

同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

外貨建資産

外貨建資産への投資は、行ないません。

先物取引等

イ. 委託会社は、わが国の金融商品取引所における有価証券先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。)、有価証券指数等先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。)および有価証券オプション取引(金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。)ならびに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行なうことの指図をすることができます。なお、選択権取引は、オプション取引に含めるものとします(以下同じ。)

ロ. 委託会社は、わが国の金融商品取引所における金利にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の金融商品取引所における金利にかかるこれらの取引と類似の取引を行なうことの指図をすることができます。

スワップ取引

イ. 委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引(以下「スワップ取引」といいます。)を行なうことの指図をすることができます。

ロ. スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。

ハ. スワップ取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記純資産総額が減少して、スワップ取引の想定元本の総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当するスワップ取引の一部の解約を指図するものとします。

ニ. スワップ取引の評価は、市場実勢金利をもとに算出した価額で行なうものとします。

ホ. 委託会社は、スワップ取引を行なうにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行なうものとします。

金利先渡取引

イ. 委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、金利先渡取引を行なうことの指図をすることができます。

ロ. 金利先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。

ハ．金利先渡取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかる金利先渡取引の想定元本の総額が、保有金利商品（信託財産が1年以内に受取る組入有価証券の利払金および償還金等ならびに前(2)の1.から4.までに掲げる金融商品で運用されているものをいいます。以下同じ。）の時価総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記保有金利商品の時価総額が減少して、金利先渡取引の想定元本の総額が保有金利商品の時価総額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当する金利先渡取引の一部の解約を指図するものとします。

ニ．金利先渡取引の評価は、市場実勢金利をもとに算出した価額で行なうものとします。

ホ．委託会社は、金利先渡取引を行なうにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行なうものとします。

## 5. 先進国株式マザーファンド

### (1) 投資方針

#### 主要投資対象

次の有価証券および先物取引を主要投資対象とします。

イ．先進国（日本を除きます。以下同じ。）の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（DR（預託証券）を含みます。また、上場予定および店頭登録予定を含みます。）

ロ．先進国株式を対象とした株価指数先物取引

ハ．先進国株式の指数を対象指数としたETF（上場投資信託証券）

ニ．国内の債券

#### 投資態度

イ．主として、先進国株式、先進国株式を対象とした株価指数先物取引、先進国株式の指数を対象指数としたETFおよび国内の債券に投資し、先進国の株式市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。

ロ．運用の効率化を図るため、先進国株式を対象とした株価指数先物取引を利用することがあります。このため、先進国株式および先進国株式の指数を対象指数としたETFの組入総額ならびに先進国株式を対象とした株価指数先物取引の買建玉の時価総額を合計した額から、先進国株式を対象とした株価指数先物取引の売建玉の時価総額を控除した額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。

ハ．運用の効率化を図るため、為替予約取引を行なう場合があります。

ニ．当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

### (2) 投資対象

当ファンドにおいて投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

1．次に掲げる特定資産（投資信託及び投資法人に関する法律施行令第3条に掲げるものをいいます。以下同じ。）

イ．有価証券

ロ．デリバティブ取引にかかる権利（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、後掲(3)、および に定めるものに限ります。）

ハ．約束手形

ニ．金銭債権のうち、投資信託及び投資法人に関する法律施行規則第22条第1項第6号に掲げるもの

## 2. 次に掲げる特定資産以外の資産

## イ. 為替手形

委託会社は、信託金を、主として次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図することができます。

1. 株券または新株引受権証券
2. 国債証券
3. 地方債証券
4. 特別の法律により法人の発行する債券
5. 社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券（以下「分離型新株引受権付社債券」といいます。）の新株引受権証券を除きます。）
6. 特定目的会社にかかる特定社債券（金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。）
7. 特別の法律により設立された法人の発行する出資証券（金融商品取引法第2条第1項第6号で定めるものをいいます。）
8. 協同組織金融機関にかかる優先出資証券（金融商品取引法第2条第1項第7号で定めるものをいいます。）
9. 特定目的会社にかかる優先出資証券または新優先出資引受権を表示する証券（金融商品取引法第2条第1項第8号で定めるものをいいます。）
10. コマーシャル・ペーパー
11. 新株引受権証券（分離型新株引受権付社債券の新株引受権証券を含みます。以下同じ。）および新株予約権証券
12. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前1.から前11.までの証券または証書の性質を有するもの
13. 投資信託または外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。）
14. 投資証券、投資法人債券または外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）
15. 外国貸付債権信託受益証券（金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。）
16. オプションを表示する証券または証書（金融商品取引法第2条第1項第19号で定めるものをいい、有価証券にかかるものに限ります。）
17. 預託証書（金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。）
18. 外国法人が発行する譲渡性預金証書
19. 受益証券発行信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定めるものをいいます。）
20. 抵当証券（金融商品取引法第2条第1項第16号で定めるものをいいます。）
21. 外国の者に対する権利で、貸付債権信託受益権であって前19.の有価証券に表示されるべき権利の性質を有するもの

なお、前1.の証券または証書ならびに前12.および前17.の証券または証書のうち前1.の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、前2.から前6.までの証券ならびに前14.の証券のうち投資法人債券ならびに前12.および前17.の証券または証書のうち前2.から前6.までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といい、前13.の証券および前14.の証券（投資法人債券を除きます。）を以下「投資信託証券」といいます。

委託会社は、信託金を、前 に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することを指図することができます。

1. 預金
2. 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）
3. コール・ローン
4. 手形割引市場において売買される手形
5. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの
6. 外国の者に対する権利で前5.の権利の性質を有するもの

### (3) 主な投資制限

#### 株式

株式への投資割合には、制限を設けません。

#### 新株引受権証券等

新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の20%以下とします。

#### 投資信託証券

投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

#### 同一銘柄の新株引受権証券等

同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

#### 同一銘柄の転換社債等

同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

#### 外貨建資産

外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

#### 先物取引等

イ．委託会社は、わが国の金融商品取引所における有価証券先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。）、有価証券指数等先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。）および有価証券オプション取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。）ならびに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行なうことの指図をすることができます。なお、選択権取引は、オプション取引に含めるものとします（以下同じ。）。

ロ．委託会社は、わが国の金融商品取引所における通貨にかかる先物取引ならびに外国の金融商品取引所における通貨にかかる先物取引およびオプション取引を行なうことの指図をすることができます。

ハ．委託会社は、わが国の金融商品取引所における金利にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の金融商品取引所における金利にかかるこれらの取引と類似の取引を行なうことの指図をすることができます。

#### スワップ取引

- イ．委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、異なった通貨、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引(以下「スワップ取引」といいます。)を行なうことの指図をすることができます。
- ロ．スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- ハ．スワップ取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記純資産総額が減少して、スワップ取引の想定元本の総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当するスワップ取引の一部の解約を指図するものとします。
- ニ．スワップ取引の評価は、市場実勢金利等をもとに算出した価額で行なうものとします。
- ホ．委託会社は、スワップ取引を行なうにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行なうものとします。
- 金利先渡取引および為替先渡取引
- イ．委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、金利先渡取引および為替先渡取引を行なうことの指図をすることができます。
- ロ．金利先渡取引および為替先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- ハ．金利先渡取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかる金利先渡取引の想定元本の総額が、保有金利商品(信託財産が1年以内に受取る組入有価証券の利払金および償還金等ならびに前(2)の1.から4.までに掲げる金融商品で運用されているものをいいます。以下同じ。)の時価総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記保有金利商品の時価総額が減少して、金利先渡取引の想定元本の総額が保有金利商品の時価総額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当する金利先渡取引の一部の解約を指図するものとします。
- ニ．為替先渡取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかる為替先渡取引の想定元本の総額が、保有外貨建資産の時価総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記保有外貨建資産の時価総額が減少して、為替先渡取引の想定元本の総額が保有外貨建資産の時価総額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当する為替先渡取引の一部の解約を指図するものとします。
- ホ．金利先渡取引および為替先渡取引の評価は、市場実勢金利等をもとに算出した価額で行なうものとします。
- ヘ．委託会社は、金利先渡取引および為替先渡取引を行なうにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行なうものとします。

## 6. 新興国株式マザーファンド

### (1) 投資方針

主要投資対象

次の有価証券および先物取引を主要投資対象とします。

イ．新興国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（DR（預託証券）を含みます。また、上場予定および店頭登録予定を含みます。）

ロ．新興国株式を対象とした株価指数先物取引

ハ．新興国株式の指数を対象指数としたETF（上場投資信託証券）

二．国内の債券

投資態度

イ．主として、新興国株式、新興国株式を対象とした株価指数先物取引、新興国株式の指数を対象指数としたETFおよび国内の債券に投資し、新興国の株式市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。

ロ．運用の効率化を図るため、新興国株式を対象とした株価指数先物取引を利用することがあります。このため、新興国株式および新興国株式の指数を対象指数としたETFの組入総額ならびに新興国株式を対象とした株価指数先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。

ハ．為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。

二．当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

## (2) 投資対象

当ファンドにおいて投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

1. 次に掲げる特定資産（投資信託及び投資法人に関する法律施行令第3条に掲げるものをいいます。以下同じ。）

イ．有価証券

ロ．デリバティブ取引にかかる権利（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、後掲(3)、および に定めるものに限ります。）

ハ．約束手形

二．金銭債権のうち、投資信託及び投資法人に関する法律施行規則第22条第1項第6号に掲げるもの

2. 次に掲げる特定資産以外の資産

イ．為替手形

委託会社は、信託金を、主として次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図することができます。

1. 外国通貨表示の株券または新株引受権証券

2. 国債証券

3. 地方債証券

4. 特別の法律により法人の発行する債券

5. 社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券（以下「分離型新株引受権付社債券」といいます。）の新株引受権証券を除きます。）

6. 特定目的会社にかかる特定社債券（金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。）

7. 特別の法律により設立された法人の発行する出資証券（金融商品取引法第2条第1項第6号で定めるものをいいます。）

8. 協同組織金融機関にかかる優先出資証券（金融商品取引法第2条第1項第7号で定めるものをいいます。）



9. 特定目的会社にかかる優先出資証券または新優先出資引受権を表示する証券(金融商品取引法第2条第1項第8号で定めるものをいいます。)
10. コマーシャル・ペーパー
11. 外国通貨表示の新株引受権証券(分離型新株引受権付社債券の新株引受権証券を含みます。以下同じ。)
12. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前1.から前11.までの証券または証書の性質を有するもの
13. 投資信託または外国投資信託の受益証券(金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。)
14. 投資証券、投資法人債券または外国投資証券(金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。)
15. 外国貸付債権信託受益証券(金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。)
16. オプションを表示する証券または証書(金融商品取引法第2条第1項第19号で定めるものをいい、有価証券にかかるものに限ります。)
17. 預託証書(金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。)
18. 外国法人が発行する譲渡性預金証書
19. 受益証券発行信託の受益証券(金融商品取引法第2条第1項第14号で定めるものをいいます。)
20. 抵当証券(金融商品取引法第2条第1項第16号で定めるものをいいます。)
21. 外国の者に対する権利で、貸付債権信託受益権であって前19.の有価証券に表示されるべき権利の性質を有するもの

なお、前1.の証券または証書ならびに前12.および前17.の証券または証書のうち前1.の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、前2.から前6.までの証券ならびに前14.の証券のうち投資法人債券ならびに前12.および前17.の証券または証書のうち前2.から前6.までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といい、前13.の証券および前14.の証券(投資法人債券を除きます。)を以下「投資信託証券」といいます。

委託会社は、信託金を、前 に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。)により運用することを指図することができます。

1. 預金
2. 指定金銭信託(金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。)
3. コール・ローン
4. 手形割引市場において売買される手形
5. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの
6. 外国の者に対する権利で前5.の権利の性質を有するもの

### (3) 主な投資制限

#### 株式

株式への投資割合には、制限を設けません。

#### 新株引受権証券等

新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の20%以下とします。

#### 投資信託証券

投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

同一銘柄の新株引受権証券等

同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

同一銘柄の転換社債等

同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

外貨建資産

外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

先物取引等

イ. 委託会社は、わが国の金融商品取引所における有価証券先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。)、有価証券指数等先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。)および有価証券オプション取引(金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。)ならびに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行なうことの指図をすることができます。なお、選択権取引は、オプション取引に含めるものとします(以下同じ。)

ロ. 委託会社は、わが国の金融商品取引所における通貨にかかる先物取引ならびに外国の金融商品取引所における通貨にかかる先物取引およびオプション取引を行なうことの指図をすることができます。

ハ. 委託会社は、わが国の金融商品取引所における金利にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の金融商品取引所における金利にかかるこれらの取引と類似の取引を行なうことの指図をすることができます。

スワップ取引

イ. 委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、異なった通貨、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引(以下「スワップ取引」といいます。)を行なうことの指図をすることができます。

ロ. スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。

ハ. スワップ取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記純資産総額が減少して、スワップ取引の想定元本の総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当するスワップ取引の一部の解約を指図するものとします。

ニ. スワップ取引の評価は、市場実勢金利等をもとに算出した価額で行なうものとします。

ホ. 委託会社は、スワップ取引を行なうにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行なうものとします。

金利先渡取引および為替先渡取引

イ. 委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、金利先渡取引および為替先渡取引を行なうことの指図をすることができます。

ロ．金利先渡取引および為替先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。

ハ．金利先渡取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかる金利先渡取引の想定元本の総額が、保有金利商品（信託財産が1年以内に受取る組入有価証券の利払金および償還金等ならびに前(2)の1.から4.までに掲げる金融商品で運用されているものをいいます。以下同じ。）の時価総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記保有金利商品の時価総額が減少して、金利先渡取引の想定元本の総額が保有金利商品の時価総額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当する金利先渡取引の一部の解約を指図するものとします。

ニ．為替先渡取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかる為替先渡取引の想定元本の総額が、保有外貨建資産の時価総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記保有外貨建資産の時価総額が減少して、為替先渡取引の想定元本の総額が保有外貨建資産の時価総額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当する為替先渡取引の一部の解約を指図するものとします。

ホ．金利先渡取引および為替先渡取引の評価は、市場実勢金利等をもとに算出した価額で行なうものとします。

ヘ．委託会社は、金利先渡取引および為替先渡取引を行なうにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行なうものとします。

#### 直物為替先渡取引

イ．委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、直物為替先渡取引を行なうことの指図をすることができます。

ロ．直物為替先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。

ハ．直物為替先渡取引の評価は、市場実勢金利等をもとに算出した価額で行なうものとします。

ニ．委託会社は、直物為替先渡取引を行なうにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行なうものとします。

## 7. 国内REITマザーファンド

### (1) 投資方針

#### 主要投資対象

次の有価証券および先物取引を主要投資対象とします。

イ．国内の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券（以下総称して「リート」といいます。）

ロ．国内のリートを対象としたリート指数先物取引

ハ．国内の債券

#### 投資態度

イ．主として、国内のリート、国内のリートを対象としたリート指数先物取引および国内の債券に投資し、国内のリート市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。

ロ．運用の効率化を図るため、国内のリートを対象としたリート指数先物取引を利用することがあります。このため、リーートの組入総額およびリート指数先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。

ハ．当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

## (2) 投資対象

当ファンドにおいて投資の対象とする資産（本邦通貨表示のものに限ります。）の種類は、次に掲げるものとします。

1．次に掲げる特定資産（投資信託及び投資法人に関する法律施行令第3条に掲げるものをいいます。以下同じ。）

イ．有価証券

ロ．デリバティブ取引にかかる権利（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、後掲(3)、および に定めるものに限ります。）

ハ．約束手形

ニ．金銭債権のうち、投資信託及び投資法人に関する法律施行規則第22条第1項第6号に掲げるもの

2．次に掲げる特定資産以外の資産

イ．為替手形

委託会社は、信託金を、主として次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図することができます。

1．株券または新株引受権証券

2．国債証券

3．地方債証券

4．特別の法律により法人の発行する債券

5．社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券（以下「分離型新株引受権付社債券」といいます。）の新株引受権証券を除きます。）

6．特定目的会社にかかる特定社債券（金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。）

7．特別の法律により設立された法人の発行する出資証券（金融商品取引法第2条第1項第6号で定めるものをいいます。）

8．協同組織金融機関にかかる優先出資証券（金融商品取引法第2条第1項第7号で定めるものをいいます。）

9．特定目的会社にかかる優先出資証券または新優先出資引受権を表示する証券（金融商品取引法第2条第1項第8号で定めるものをいいます。）

10．コマーシャル・ペーパー

11．新株引受権証券（分離型新株引受権付社債券の新株引受権証券を含みます。以下同じ。）および新株予約権証券

12．外国または外国の者の発行する証券または証書で、前1.から前11.までの証券または証書の性質を有するもの

13．投資信託または外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。）

14. 投資証券、投資法人債券または外国投資証券(金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。)
15. 外国貸付債権信託受益証券(金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。)
16. オプションを表示する証券または証書(金融商品取引法第2条第1項第19号で定めるものをいい、有価証券にかかるものに限りまます。)
17. 預託証書(金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。)
18. 外国法人が発行する譲渡性預金証書
19. 受益証券発行信託の受益証券(金融商品取引法第2条第1項第14号で定めるものをいいます。)
20. 抵当証券(金融商品取引法第2条第1項第16号で定めるものをいいます。)
21. 外国の者に対する権利で、貸付債権信託受益権であって前19.の有価証券に表示されるべき権利の性質を有するもの

なお、前1.の証券または証書ならびに前12.および前17.の証券または証書のうち前1.の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、前2.から前6.までの証券ならびに前14.の証券のうち投資法人債券ならびに前12.および前17.の証券または証書のうち前2.から前6.までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といい、前13.の証券および前14.の証券(投資法人債券を除きます。)を以下「投資信託証券」といいます。

委託会社は、信託金を、前 に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。)により運用することを指図することができます。

1. 預金
2. 指定金銭信託(金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。)
3. コール・ローン
4. 手形割引市場において売買される手形
5. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの
6. 外国の者に対する権利で前5.の権利の性質を有するもの

### (3) 主な投資制限

#### 株式

株式への投資割合には、制限を設けません。

#### 外貨建資産

外貨建資産への直接投資は、行ないません。

#### 先物取引等

イ. 委託会社は、わが国の金融商品取引所における有価証券先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。)、有価証券指数等先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。 )および有価証券オプション取引(金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。 )ならびに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行なうことの指図をすることができます。なお、選択権取引は、オプション取引に含めるものとします(以下同じ。 )。

ロ. 委託会社は、わが国の金融商品取引所における金利にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の金融商品取引所における金利にかかるこれらの取引と類似の取引を行なうことの指図をすることができます。

#### スワップ取引

イ．委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引(以下「スワップ取引」といいます。)を行なうことの指図をすることができます。

ロ．スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。

ハ．スワップ取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記純資産総額が減少して、スワップ取引の想定元本の総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当するスワップ取引の一部の解約を指図するものとします。

ニ．スワップ取引の評価は、市場実勢金利をもとに算出した価額で行なうものとします。

ホ．委託会社は、スワップ取引を行なうにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行なうものとします。

#### 金利先渡取引

イ．委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、金利先渡取引を行なうことの指図をすることができます。

ロ．金利先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。

ハ．金利先渡取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかる金利先渡取引の想定元本の総額が、保有金利商品(信託財産が1年以内に受取る組入有価証券の利払金および償還金等ならびに前(2)の1.から4.までに掲げる金融商品で運用されているものをいいます。以下同じ。)の時価総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記保有金利商品の時価総額が減少して、金利先渡取引の想定元本の総額が保有金利商品の時価総額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当する金利先渡取引の一部の解約を指図するものとします。

ニ．金利先渡取引の評価は、市場実勢金利をもとに算出した価額で行なうものとします。

ホ．委託会社は、金利先渡取引を行なうにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行なうものとします。

## 8. 先進国REITマザーファンド

### (1) 投資方針

#### 主要投資対象

次の有価証券および先物取引を主要投資対象とします。

1. 先進国(日本を除きます。以下同じ。)の金融商品取引所上場(上場予定を含みます。以下同じ。)または店頭登録(登録予定を含みます。以下同じ。)の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券(以下総称して「リート」といいます。)
2. 先進国のリート指数を対象指数としたETF(上場投資信託証券)
3. 先進国のリートを対象としたリート指数先物取引
4. 国内の債券

## 投資態度

イ．主として、先進国のリート、先進国のリート指数を対象指数としたETF、先進国のリートを対象としたリート指数先物取引および残存期間の短いわが国の債券に投資し、先進国のリート市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。

一部日本のリートを含む指数を対象とするETFを組入れる場合があります。

ロ．運用の効率化を図るため、先進国のリートを対象としたリート指数先物取引を利用することがあります。このため、リートおよびETFの組入総額ならびにリート指数先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。

ハ．為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。

ニ．当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

## (2) 投資対象

当ファンドにおいて投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

1．次に掲げる特定資産（投資信託及び投資法人に関する法律施行令第3条に掲げるものをいいます。以下同じ。）

イ．有価証券

ロ．デリバティブ取引にかかる権利（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、後掲(3)、および に定めるものに限りません。）

ハ．約束手形

ニ．金銭債権のうち、投資信託及び投資法人に関する法律施行規則第22条第1項第6号に掲げるもの

2．次に掲げる特定資産以外の資産

イ．為替手形

委託会社は、信託金を、主として次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図することができます。

1．株券または新株引受権証券

2．国債証券

3．地方債証券

4．特別の法律により法人の発行する債券

5．社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券（以下「分離型新株引受権付社債券」といいます。）の新株引受権証券を除きます。）

6．特定目的会社にかかる特定社債券（金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。）

7．特別の法律により設立された法人の発行する出資証券（金融商品取引法第2条第1項第6号で定めるものをいいます。）

8．協同組織金融機関にかかる優先出資証券（金融商品取引法第2条第1項第7号で定めるものをいいます。）

9．特定目的会社にかかる優先出資証券または新優先出資引受権を表示する証券（金融商品取引法第2条第1項第8号で定めるものをいいます。）

10．コマーシャル・ペーパー

11．新株引受権証券（分離型新株引受権付社債券の新株引受権証券を含みます。以下同じ。）および新株予約権証券

12. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前1. から前11. までの証券または証書の性質を有するもの
13. 投資信託または外国投資信託の受益証券(金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。)
14. 投資証券、投資法人債券または外国投資証券(金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。)
15. 外国貸付債権信託受益証券(金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。)
16. オプションを表示する証券または証書(金融商品取引法第2条第1項第19号で定めるものをいい、有価証券にかかるものに限りません。)
17. 預託証書(金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。)
18. 外国法人が発行する譲渡性預金証書
19. 受益証券発行信託の受益証券(金融商品取引法第2条第1項第14号で定めるものをいいます。)
20. 抵当証券(金融商品取引法第2条第1項第16号で定めるものをいいます。)
21. 外国の者に対する権利で貸付債権信託受益権であって前19. の有価証券に表示されるべき権利の性質を有するもの

なお、前1. の証券または証書ならびに前12. および前17. の証券または証書のうち前1. の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、前2. から前6. までの証券ならびに前14. の証券のうち投資法人債券ならびに前12. および前17. の証券または証書のうち前2. から前6. までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といい、前13. の証券および前14. の証券(投資法人債券を除きます。 )を以下「投資信託証券」といいます。

委託会社は、信託金を、前 に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。 )により運用することを指図することができます。

1. 預金
2. 指定金銭信託(金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。 )
3. コール・ローン
4. 手形割引市場において売買される手形
5. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの
6. 外国の者に対する権利で前5. の権利の性質を有するもの

### (3) 主な投資制限

#### 株式

株式への投資割合には、制限を設けません。

#### 投資信託証券

投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。 )への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

#### 外貨建資産

外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

#### 先物取引等

イ. 委託会社は、わが国の金融商品取引所における有価証券先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。 )、有価証券指数等先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。 )および有価証券オプション取引(金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。 )ならびに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と



類似の取引を行なうことの指図をすることができます。なお、選択権取引は、オプション取引に含めるものとします(以下同じ。)

ロ．委託会社は、わが国の取引所における通貨にかかる先物取引ならびに外国の金融商品取引所における通貨にかかる先物取引およびオプション取引を行なうことの指図をすることができます。

ハ．委託会社は、わが国の取引所における金利にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の金融商品取引所における金利にかかるこれらの取引と類似の取引を行なうことの指図をすることができます。

#### スワップ取引

イ．委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、異なった通貨、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引(以下「スワップ取引」といいます。)を行なうことの指図をすることができます。

ロ．スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。

ハ．スワップ取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記純資産総額が減少して、スワップ取引の想定元本の総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当するスワップ取引の一部の解約を指図するものとします。

ニ．スワップ取引の評価は、市場実勢金利等をもとに算出した価額で行なうものとします。

ホ．委託会社は、スワップ取引を行なうにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行なうものとします。

#### 金利先渡取引および為替先渡取引

イ．委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、金利先渡取引および為替先渡取引を行なうことの指図をすることができます。

ロ．金利先渡取引および為替先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。

ハ．金利先渡取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかる金利先渡取引の想定元本の総額が、保有金利商品(信託財産が1年以内に受取る組入有価証券の利払金および償還金等ならびに前(2)の1.から4.までに掲げる金融商品で運用されているものをいいます。以下同じ。)の時価総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記保有金利商品の時価総額が減少して、金利先渡取引の想定元本の総額が保有金利商品の時価総額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当する金利先渡取引の一部の解約を指図するものとします。

ニ．為替先渡取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかる為替先渡取引の想定元本の総額が、保有外貨建資産の時価総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記保有外貨建資産の時価総額が減少して、為替先渡取引の想定元本の総額が保有外貨建資産の時価総額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当する為替先渡取引の一部の解約を指図するものとします。

ホ．金利先渡取引および為替先渡取引の評価は、市場実勢金利等をもとに算出した価額で行なうものとします。

へ。委託会社は、金利先渡取引および為替先渡取引を行なうにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行なうものとします。

## 9. ダイワ・マネー・マザーファンド

### (1) 投資方針

#### 主要投資対象

本邦通貨表示の公社債を主要投資対象とします。

#### 投資態度

イ。わが国の公社債を中心に安定運用を行ないます。

ロ。邦貨建資産の組入れにあたっては、取得時に第二位（A-2格相当）以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。

ハ。当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

### (2) 投資対象

当ファンドにおいて投資の対象とする資産（本邦通貨表示のものに限ります。）の種類は、次に掲げるものとします。

1. 次に掲げる特定資産（投資信託及び投資法人に関する法律施行令第3条に掲げるものをいいます。以下同じ。）

イ。有価証券

ロ。デリバティブ取引にかかる権利（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、後掲(3)、および に定めるものに限ります。）

ハ。約束手形

ニ。金銭債権のうち、投資信託及び投資法人に関する法律施行規則第22条第1項第6号に掲げるもの

2. 次に掲げる特定資産以外の資産

イ。為替手形

委託会社は、信託金を、次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図することができます。

1. 転換社債の転換、新株予約権（新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）の新株予約権に限ります。）の行使、社債権者割当または株主割当により取得した株券または新株引受権証券

2. 国債証券

3. 地方債証券

4. 特別の法律により法人の発行する債券

5. 社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券（以下「分離型新株引受権付社債券」といいます。）の新株引受権証券を除きます。）

6. 特定目的会社にかかる特定社債券（金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。）

7. コマーシャル・ペーパー
8. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前1.から前7.までの証券または証書の性質を有するもの
9. 投資法人債券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）
10. 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）
11. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に表示されるべきもの
12. 外国の者に対する権利で前11.の有価証券の性質を有するもの

なお、前1.の証券または証書、前8.の証券または証書のうち前1.の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、前2.から前6.までの証券および前8.の証券または証書のうち前2.から前6.までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といいます。

委託会社は、信託金を、前 に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することを指図することができます。

1. 預金
2. 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）
3. コール・ローン
4. 手形割引市場において売買される手形
5. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの
6. 外国の者に対する権利で前5.の権利の性質を有するもの

### (3) 主な投資制限

#### 株式

株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権（転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限ります。）の行使等により取得したものに限り、

株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。

#### 投資信託証券

投資信託証券への投資は、行ないません。

#### 同一銘柄の株式

同一銘柄の株式への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の10%以下とします。

#### 同一銘柄の転換社債等

同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

#### 外貨建資産

外貨建資産への投資は、行ないません。

#### 先物取引等

イ．委託会社は、信託財産が運用対象とする有価証券の価格変動リスクを回避するため、わが国の金融商品取引所における有価証券先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。）、有価証券指数等先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。）および有価証券オプション取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。）ならびに外国の取引所におけるこれらの取引と類似の取引を次の範囲で行なうことの指図を

することができます。なお、選択権取引は、オプション取引に含めるものとします（以下同じ。）。

1. 先物取引の売建ておよびコール・オプションの売付けの指図は、建玉の合計額が、ヘッジの対象とする有価証券（以下「ヘッジ対象有価証券」といいます。）の時価総額の範囲内とします。
2. 先物取引の買建ておよびプット・オプションの売付けの指図は、建玉の合計額が、ヘッジ対象有価証券の組入可能額（組入ヘッジ対象有価証券を差し引いた額）に信託財産が限月までに受取る組入公社債および組入貸付債権信託受益権の利払金および償還金を加えた額を限度とし、かつ信託財産が限月までに受取る組入有価証券にかかる利払金および償還金等ならびに前(2)の1.から4.までに掲げる金融商品で運用している額（以下「金融商品運用額等」といいます。）の範囲内とします。
3. コール・オプションおよびプット・オプションの買付けの指図は、全オプション取引にかかる支払いプレミアム額の合計額が取引時点の信託財産の純資産総額の5%を上回らない範囲内とします。

ロ．委託会社は、信託財産に属する資産の価格変動リスクを回避するため、わが国の取引所における金利にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の取引所における金利にかかるこれらの取引と類似の取引を次の範囲で行なうことの指図をすることができます。

1. 先物取引の売建ておよびコール・オプションの売付けの指図は、建玉の合計額が、ヘッジの対象とする金利商品（信託財産が1年以内に受取る組入有価証券の利払金および償還金等ならびに前(2)の1.から4.までに掲げる金融商品で運用されているものをいい、以下「ヘッジ対象金利商品」といいます。）の時価総額の範囲内とします。
2. 先物取引の買建ておよびプット・オプションの売付けの指図は、建玉の合計額が、信託財産が限月までに受取る組入有価証券にかかる利払金および償還金等ならびに金融商品運用額等の範囲内とします。
3. コール・オプションおよびプット・オプションの買付けの指図は、支払いプレミアム額の合計額が取引時点のヘッジ対象金利商品の時価総額の5%を上回らない範囲内とし、かつ全オプション取引にかかる支払いプレミアム額の合計額が取引時点の信託財産の純資産総額の5%を上回らない範囲内とします。

#### スワップ取引

イ．委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクを回避するため、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（以下「スワップ取引」といいます。）を行なうことの指図をすることができます。

ロ．スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。

ハ．スワップ取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記純資産総額が減少して、スワップ取引の想定元本の総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当するスワップ取引の一部の解約を指図するものとします。

ニ．スワップ取引の評価は、市場実勢金利をもとに算出した価額で行なうものとします。

ホ．委託会社は、スワップ取引を行なうにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行なうものとします。

### 金利先渡取引

- イ．委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクを回避するため、金利先渡取引を行なうことの指図をすることができます。
- ロ．金利先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- ハ．金利先渡取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかる金利先渡取引の想定元本の総額が、ヘッジ対象金利商品の時価総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記ヘッジ対象金利商品の時価総額が減少して、金利先渡取引の想定元本の総額がヘッジ対象金利商品の時価総額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当する金利先渡取引の一部の解約を指図するものとします。
- ニ．金利先渡取引の評価は、市場実勢金利をもとに算出した価額で行なうものとします。
- ホ．委託会社は、金利先渡取引を行なうにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行なうものとします。

## 3 【投資リスク】

### (1) 価額変動リスク

当ファンドは、株式、公社債、不動産投資信託証券など値動きのある証券（外国証券には為替リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。委託会社の指図に基づく行為により信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。

投資信託は預貯金とは異なります。

投資者のみなさまにおかれましては、当ファンドの内容・リスクを十分ご理解のうえお申込み下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

基準価額の主な変動要因については、次のとおりです。

#### 株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）

株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。株価は、短期的または長期的に大きく下落することがあります（発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。）。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

新興国の証券市場は、先進国の証券市場に比べ、一般に市場規模や取引量が小さく、流動性が低いことにより本来想定される投資価値とは乖離した価格水準で取引される場合もあるなど、価格の変動性が大きくなる傾向が考えられます。

#### 公社債の価格変動（価格変動リスク・信用リスク）

## 〈金利変動による価格変化のイメージ図〉



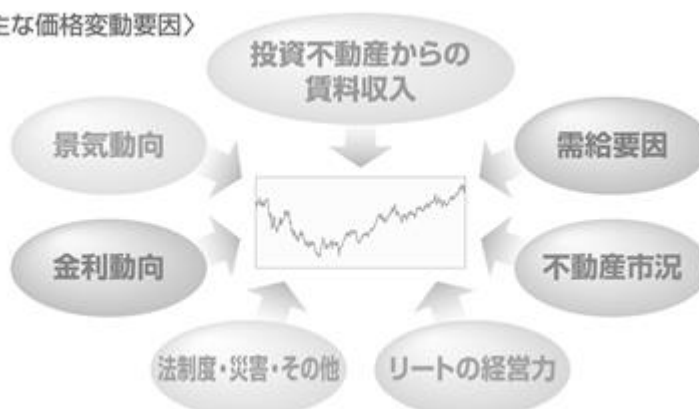
※上図はイメージ図であり、当ファンドの運用成果を表すものではありません。

公社債の価格は、一般に金利が低下した場合には上昇し、金利が上昇した場合には下落します（値動きの幅は、残存期間、発行体、公社債の種類等により異なります。）。また、公社債の価格は、発行体の信用状況によっても変動します。特に、発行体が財政難、経営不安等により、利息および償還金をあらかじめ決定された条件で支払うことができなくなった場合（債務不履行）、またはできなくなることが予想される場合には、大きく下落します（利息および償還金が支払われないこともあります。）。組入公社債の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

新興国の公社債は、先進国の公社債と比較して価格変動が大きく、債務不履行が生じるリスクがより高いものになると考えられます。組入公社債の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

## リート（不動産投資信託）への投資に伴うリスク

## 〈リートの主な価格変動要因〉



イ．リートは、株式と同様に金融商品取引所等で売買され、その価格は、不動産市況に対する見通しや市場における需給等、さまざまな要因で変動します。

- ・リートには資産規模が小さく、流動性が低いものもあります。このようなリートへの投資は、流動性の高い株式等に比べ、より制約を受けることが考えられます。
- ・金利の上昇局面においては、他の、より利回りの高い債券等との比較でリートに対する投資価値が相対的に低下し、価格が下落することも想定されます。

ロ．リーートの価格や配当は、リーートの収益や財務内容の変動の影響を受けます。

- ・リーートの収益は、所有する不動産から得られる賃料収入がその大半を占めます。したがって、賃料水準や入居率の低下等により賃料収入が減少した場合には、リーートの収益が悪化し、価格や配当が下落することが考えられます。
- ・リーートの資産価値は、所有する不動産の評価等により変動します。市況の悪化、不動産の老朽化等によってリーートの資産価値が低下した場合には、価格が下落することがあります。なお、実物資産である不動産には、人的災害、自然災害等に伴って大きな損害が発生する可能性もあり、このような場合、リーートの価格が大幅に下落することも想定されます。

- ・リートでは、投資資金を調達するために金融機関等から借入れを行なうことがあります。したがって、金利上昇局面において金利負担等が増加し、収益の悪化要因となることが考えられます。
  - ・法人形態のリートでは、経営陣の運営如何によっては収益や財務内容が著しく悪化する可能性があります。リートが倒産等に陥り、投資資金が回収できなくなることもありえます。
- ハ．リートに関する法制度（税制、会計制度等）が変更となった場合、リートの価格や配当に影響を与えることが想定されます。
- ・その他、不動産を取巻く規制（建築規制、環境規制等）に変更があった場合も、リートの価格や配当に影響を受けることが考えられます。
  - ・金融商品取引所が定める基準に抵触する等の理由から、リートが上場廃止になることもありえます。
- ニ．組入リートの市場価格が下落した場合、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

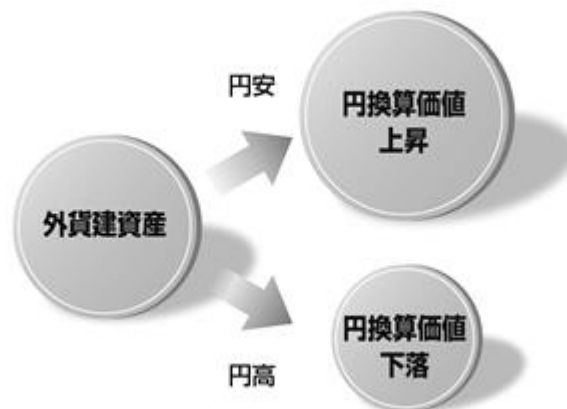
#### 有価証券（指数）先物取引の利用に伴うリスク

先物の価格は、対象証券または指数の値動き、先物市場の需給等を反映して変動します。先物を買建てている場合において、先物価格が上昇すれば収益が発生し、下落すれば損失が発生します（売建てている場合は逆の結果となります。）。ファンドで行なっている先物取引について損失が発生した場合、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

#### 外国証券への投資に伴うリスク

##### イ．為替リスク

〈為替変動のイメージ図〉



※上図はイメージ図であり、当ファンドの運用成果を表すものではありません。

外貨建資産の円換算価値は、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。為替レートは、各国の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給その他の要因により大幅に変動することがあります。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

特に、新興国の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。

先進国の債券については、為替ヘッジを行ないませんが、影響をすべて排除できるわけではありません。また、為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

## ロ．カントリー・リスク

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。新興国への投資には、先進国と比べて大きなカントリー・リスクが伴います。

新興国の経済状況は、先進国経済に比較して脆弱である可能性があります。そのため、当該国のインフレ、国際収支、外貨準備高等の悪化、また、政治不安や社会不安あるいは他国との外交関係の悪化などが市場に及ぼす影響は、先進国以上に大きいものになることが予想されます。さらに、政府当局による海外からの投資規制など数々の規制が緊急に導入されたり、あるいは政策の変更等により証券市場が著しい悪影響を被る可能性もあります。

新興国においては、先進国と比較して、証券の決済、保管等にかかる制度やインフラストラクチャーが未発達であったり、証券の売買を行なう当該国の仲介業者等の固有の事由等により、決済の遅延、不能等が発生する可能性も想定されます。そのような場合、ファンドの基準価額に悪影響が生じる可能性があります。

実質的な投資対象である証券が上場または取引されている新興国の税制は先進国と異なる面がある場合があります。また、税制が変更されたり、あるいは新たな税制が適用されることにより、基準価額が影響を受ける可能性があります。

### 当ファンドの戦略に関するリスク

当ファンドは、内外の債券、株式およびリートの配分比率等を調整することで、安定した収益の獲得や下落リスクの抑制をねらいますが、ファンドの基準価額の下落リスクを完全に回避できるものではなく、また一定の基準価額水準を保証するものではありません。

市場の予期せぬ値動き等により、当戦略が効果的に機能しない可能性があり、その場合、下落リスクを低減できない場合や市場の上昇に追従できない場合があります。

### その他

イ．解約申込みがあった場合には、解約資金を手当てするため組入証券を売却しなければならないことがあります。その際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。

ロ．ファンド資産をコール・ローン、譲渡性預金証書等の短期金融資産で運用する場合、債務不履行により損失が発生することがあります（信用リスク）。この場合、基準価額が下落する要因となります。

## (2) 換金性等が制限される場合

通常と異なる状況において、お買付け・ご換金に制限を設けることがあります。

金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情（投資対象国における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更および規制の導入、自然災害、クーデター、重大な政治体制の変更、戦争等）による市場の閉鎖または流動性の極端な減少ならびに資金の受渡しに関する障害等）が発生した場合には、お買付け、ご換金の申込みの受け付けを中止すること、すでに受け付けたお買付けの申込みを取消すことがあります。

ご換金の申込みの受け付けが中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行なった当日のご換金の申込みを撤回することができます。ただし、受益者がそのご換金の申込みを撤回しない場合に



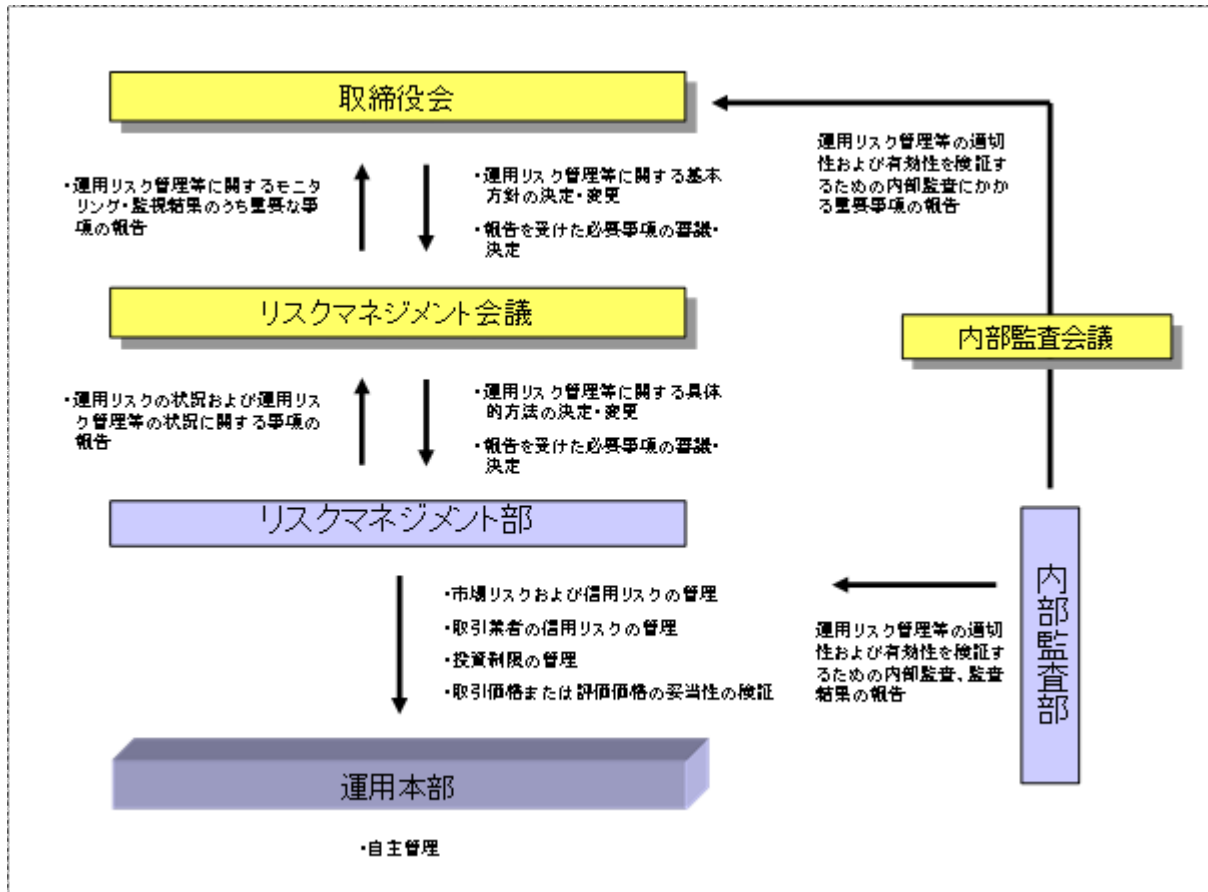
は、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日にご換金の申込みを受付けたものとして取扱います。

### (3) その他の留意点

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

### (4) リスク管理体制

運用リスク管理体制（ ）は、以下のとおりとなっています。



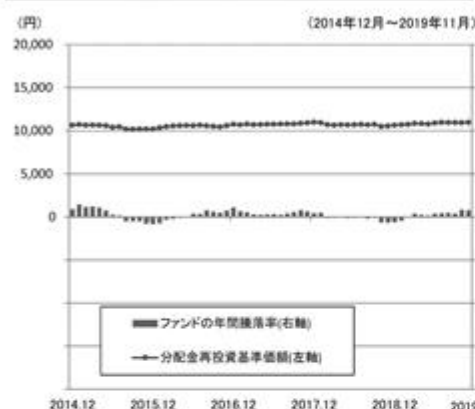
#### 流動性リスクに対する管理体制

当社では、運用リスクのうち、大量の解約・換金によって必要となる資金の確保のために合理的な条件での取引が困難となるリスク、および市場の混乱、取引所における休業、取引の停止等により市場において取引ができないまたは合理的な条件での取引が困難となるリスクを「流動性リスク」とし、当社の運用する信託財産における流動性リスクの防止および流動性リスク発生時における円滑な事務遂行を目的とした事前対策、ならびに流動性リスク発生時における対応策（コンティンジェンシー・プラン）を定めています。

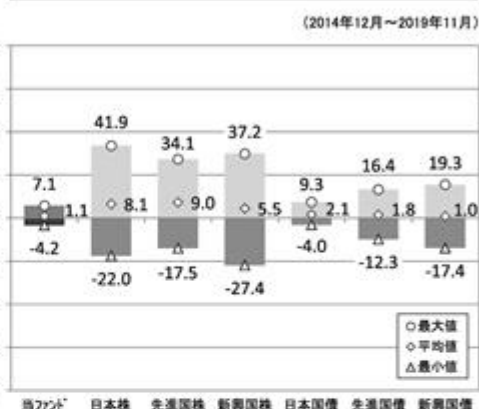
## 参考情報

◆下記のグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。右のグラフは過去5年間における年間騰落率(各月末における直近1年間の騰落率)の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。また左のグラフはファンドの過去5年間における年間騰落率の推移を表示しています。

ファンドの年間騰落率と分配金再投資基準価額の推移



他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

## ※資産クラスについて

日本株：東証株価指数(TOPIX)(配当込み)  
先進国株：MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)  
新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)  
日本国債：NOMURA-BPI国債  
先進国債：FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)  
新興国債：JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックスー エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド(円ベース)

## ※指数について

●TOPIXは東証が算出・公表し、指数値、商標など一切の権利は株式会社東京証券取引所が所有しています。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックスー エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

## 4 【手数料等及び税金】

## (1) 【申込手数料】

販売会社におけるお買付時の申込手数料の料率の上限は、2.2%（税抜2.0%）となっています。具体的な手数料の料率等については、販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。

## ・お電話によるお問合わせ先（委託会社）

電話番号（コールセンター） 0120-106212  
（営業日の9:00～17:00）

申込手数料には、消費税等が課されます。

「分配金再投資コース」の収益分配金の再投資の際には、申込手数料はかかりません。

申込手数料は、お買付時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

(2) 【換金(解約)手数料】

換金手数料

ありません。

信託財産留保額

ありません。

(3) 【信託報酬等】

信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に年率1.32%（税抜1.2%）を乗じて得た額とします。信託報酬は、毎日計上され、毎計算期間の最初の6か月終了日（6か月終了日が休業日の場合には、翌営業日とします。）および毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。

信託報酬にかかる消費税等に相当する金額を、信託報酬支弁のときに信託財産中から支弁します。

信託報酬にかかる委託会社、販売会社、受託会社への配分については、次のとおりです。

委託会社	販売会社	受託会社
年率0.58%（税抜）	年率0.58%（税抜）	年率0.04%（税抜）

上記の信託報酬の配分には、別途消費税率を乗じた額がかかります。

前 の販売会社への配分は、販売会社の行なう業務に対する代行手数料であり、委託会社が一旦信託財産から収受した後、販売会社に支払われます。

信託報酬を対価とする役務の内容は、配分先に応じて、それぞれ以下のとおりです。

委託会社：ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価

販売会社：運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価

受託会社：運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価

(4) 【その他の手数料等】

信託財産において資金借入れを行なった場合、当該借入金の利息は信託財産中より支弁します。

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息および信託財産にかかる監査報酬ならびに当該監査報酬にかかる消費税等に相当する金額は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。

信託財産に属する有価証券等に関連して発生した訴訟係争物たる権利その他の権利に基づいて益金が生じた場合、当該支払いに際して特別に必要となる費用（データ処理費用、郵送料等）は、受益者の負担とし、当該益金から支弁します。

信託財産で有価証券の売買を行なう際に発生する売買委託手数料、当該売買委託手数料にかかる消費税等に相当する金額、信託財産に属する資産を外国で保管する場合の費用は、信託財産中より支弁します。

（ ）「その他の手数料等」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場不動産投資信託は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

#### < マザーファンドより支弁する手数料等 >

各マザーファンドの投資対象等に応じて、信託財産に関する租税、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を支弁します。

#### (5) 【課税上の取扱い】

課税上は株式投資信託として取扱われます。

個人の投資者に対する課税

##### イ．収益分配金に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については、配当所得として課税され、20%（所得税15%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。ただし、2037年12月31日まで基準所得税額に2.1%の税率を乗じた復興特別所得税が課され、税率は20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）となります。

##### ロ．解約金および償還金に対する課税

一部解約時および償還時の差益（解約価額および償還価額から取得費用（申込手数料（税込）を含む）を控除した利益）については、譲渡所得とみなされ、20%（所得税15%および地方税5%）の税率により、申告分離課税が適用されます。ただし、2037年12月31日まで基準所得税額に2.1%の税率を乗じた復興特別所得税が課され、税率は20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）となります。

##### ハ．損益通算について

一部解約時および償還時の損失については、確定申告により、上場株式等（特定公社債、公募公社債投資信託を含みます。）の譲渡益および償還差益と相殺することができ、申告分離課税を選択した上場株式等の配当所得および利子所得との損益通算も可能となります。また、翌年以後3年間、上場株式等の譲渡益・償還差益および配当等・利子から繰越控除することができます。一部解約時および償還時の差益については、他の上場株式等の譲渡損および償還差損との相殺が可能となります。

なお、特定口座にかかる課税上の取扱いにつきましては、販売会社にお問合わせ下さい。

少額投資非課税制度「愛称：N I S A（ニーサ）」をご利用の場合

公募株式投資信託は、税法上、少額投資非課税制度「N I S A（ニーサ）」の適用対象です。満20歳以上の方を対象としたN I S Aをご利用の場合、毎年、年間120万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります（他の口座で生じた配当所得や譲渡所得との損益通算はできません。）。また、20歳未満の方を対象とした非課税制度「ジュニアN I S A」をご利用の場合、毎年、年間80万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託

などから生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります(他の口座で生じた配当所得や譲渡所得との損益通算はできません。 )。

ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方となります。当ファンドの非課税口座における取扱いは販売会社により異なる場合があります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。

#### 法人の投資者に対する課税

法人の投資者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに一部解約時および償還時の個別元本超過額については配当所得として課税され、15%(所得税15%)の税率で源泉徴収され法人の受取額となります。地方税の源泉徴収はありません。収益分配金のうち所得税法上課税対象となるのは普通分配金のみであり、元本払戻金(特別分配金)には課税されません。ただし、2037年12月31日まで基準所得税額に2.1%の税率を乗じた復興特別所得税が課され、税率は15.315%(所得税15%および復興特別所得税0.315%)となります。なお、益金不算入制度の適用はありません。

源泉徴収された税金は法人税額から控除されます。

#### <注1> 個別元本について

投資者ごとの信託時の受益権の価額等(申込手数料および当該申込手数料にかかる消費税等に相当する金額は含まれません。)が当該投資者の元本(個別元本)にあたります。

投資者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該投資者が追加信託を行なうつど当該投資者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。

ただし、個別元本は、複数支店で同一ファンドをお申込みの場合などにより把握方法が異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。

投資者が元本払戻金(特別分配金)を受取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の当該投資者の個別元本となります。

#### <注2> 収益分配金の課税について

追加型株式投資信託の収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」（投資者ごとの元本の一部払戻しに相当する部分）の区分があります。

投資者が収益分配金を受取る際、イ．当該収益分配金落ち後の基準価額が当該投資者の個別元本と同額の場合または当該投資者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、ロ．当該収益分配金落ち後の基準価額が当該投資者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、当該収益分配金から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が普通分配金となります。

- ( ) 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- ( ) 上記は、2019年11月末現在のもので、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。
- ( ) 課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## 5 【運用状況】

## (1) 【投資状況】（2019年11月29日現在）

## 投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
親投資信託受益証券	575,748,923	99.21
内 日本	575,748,923	99.21
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	4,555,931	0.79
純資産総額	580,304,854	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

## (2) 【投資資産】（2019年11月29日現在）

## 【投資有価証券の主要銘柄】

## イ．主要銘柄の明細

銘柄名	地域	種類	株数、口数 また は 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	投資 比率 (%)
1 国内債券マザーファンド	日本	親投資 信託受 益証券	176,514,514	1.1383 200,940,960	1.1357 200,467,533	34.55
2 先進国債券(為替ヘッジあり)マ ザーファンド	日本	親投資 信託受 益証券	102,108,123	1.1647 118,928,224	1.1797 120,456,952	20.76
3 先進国株式マザーファンド	日本	親投資 信託受 益証券	24,016,263	1.8864 45,304,579	1.9953 47,919,649	8.26
4 国内株式マザーファンド	日本	親投資 信託受 益証券	27,123,632	1.6120 43,725,722	1.7047 46,237,655	7.97
5 国内REITマザーファンド	日本	親投資 信託受 益証券	24,381,677	1.7797 43,394,260	1.8507 45,123,169	7.78
6 先進国REITマザーファンド	日本	親投資 信託受 益証券	23,501,071	1.7315 40,693,415	1.7943 42,167,971	7.27

7	新興国債券マザーファンド	日本	親投資 信託受 益証券	26,658,683	1.3788 36,757,935	1.4013 37,356,812	6.44
8	新興国株式マザーファンド	日本	親投資 信託受 益証券	27,061,745	1.2899 34,907,584	1.3310 36,019,182	6.21

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

#### ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
親投資信託受益証券	99.21%
合計	99.21%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

#### ハ．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

#### 【投資不動産物件】

該当事項はありません。

#### 【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

#### (3) 【運用実績】

##### 【純資産の推移】

	純資産総額 (分配落) (円)	純資産総額 (分配付) (円)	1口当たりの 純資産額 (分配落)(円)	1口当たりの 純資産額 (分配付)(円)
第1計算期間末 (2014年5月8日)	954,560,779	954,560,779	1.0114	1.0114
第2計算期間末 (2015年5月8日)	1,215,561,940	1,215,561,940	1.0555	1.0555
第3計算期間末 (2016年5月9日)	1,328,095,856	1,328,095,856	1.0574	1.0574
第4計算期間末 (2017年5月8日)	1,107,625,756	1,107,625,756	1.0774	1.0774
第5計算期間末 (2018年5月8日)	873,181,847	873,181,847	1.0719	1.0719
2018年11月末日	714,679,158	-	1.0557	-

12月末日	690,874,534	-	1.0654	-
2019年1月末日	694,117,110	-	1.0696	-
2月末日	690,430,399	-	1.0733	-
3月末日	677,683,509	-	1.0852	-
4月末日	653,690,205	-	1.0830	-
第6計算期間末 (2019年5月8日)	649,324,372	649,324,372	1.0764	1.0764
5月末日	644,510,709	-	1.0768	-
6月末日	649,512,656	-	1.0903	-
7月末日	643,841,040	-	1.0970	-
8月末日	638,672,297	-	1.0949	-
9月末日	633,152,024	-	1.0955	-
10月末日	597,730,991	-	1.0943	-
11月末日	580,304,854	-	1.0968	-

## 【分配の推移】

	1口当たり分配金(円)
第1計算期間	0.0000
第2計算期間	0.0000
第3計算期間	0.0000
第4計算期間	0.0000
第5計算期間	0.0000
第6計算期間	0.0000
2019年5月9日～ 2019年11月8日	-

## 【収益率の推移】

	収益率(%)
第1計算期間	1.1
第2計算期間	4.4
第3計算期間	0.2
第4計算期間	1.9
第5計算期間	0.5
第6計算期間	0.4
2019年5月9日～ 2019年11月8日	1.3

## (4) 【設定及び解約の実績】

	設定数量(口)	解約数量(口)



第1計算期間	964,865,153	22,041,973
第2計算期間	499,404,430	291,636,247
第3計算期間	268,468,009	164,082,921
第4計算期間	117,390,107	345,316,969
第5計算期間	32,275,756	245,704,179
第6計算期間	18,817,360	230,205,849
2019年5月9日～ 2019年11月8日	5,569,294	66,844,682

(注) 当初設定数量は1,000,000口です。

(参考) マザーファンド

国内債券マザーファンド

(1) 投資状況 (2019年11月29日現在)

投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
国債証券	4,696,693,790	98.81
内 日本	4,696,693,790	98.81
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	56,671,140	1.19
純資産総額	4,753,364,930	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(2) 投資資産 (2019年11月29日現在)

投資有価証券の主要銘柄

イ. 主要銘柄の明細

銘柄名	地域	種類	株数、口数 また は 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	利率(%) 償還期限 (年/月/日)	投資 比率 (%)
1 129 5年国債	日本	国債証券	200,000,000	100.62 201,259,710	100.51 201,028,000	0.100000 2021/09/20	4.23
2 401 2年国債	日本	国債証券	200,000,000	100.66 201,320,000	100.41 200,838,000	0.100000 2021/06/01	4.23
3 131 5年国債	日本	国債証券	172,000,000	100.76 173,307,200	100.66 173,148,960	0.100000 2022/03/20	3.64
4 139 5年国債	日本	国債証券	170,000,000	101.65 172,813,300	101.25 172,135,200	0.100000 2024/03/20	3.62

5	138 5年国債	日本	国債証券	130,000,000	101.28 131,664,000	101.18 131,537,900	0.100000 2023/12/20	2.77
6	137 5年国債	日本	国債証券	120,000,000	101.72 122,064,000	101.11 121,332,000	0.100000 2023/09/20	2.55
7	133 5年国債	日本	国債証券	110,000,000	101.25 111,375,000	100.90 110,991,100	0.100000 2022/09/20	2.34
8	341 10年国債	日本	国債証券	100,000,000	103.11 103,110,000	103.06 103,061,000	0.300000 2025/12/20	2.17
9	346 10年国債	日本	国債証券	100,000,000	101.96 101,964,500	102.22 102,221,000	0.100000 2027/03/20	2.15
10	398 2年国債	日本	国債証券	100,000,000	100.47 100,470,000	100.34 100,342,000	0.100000 2021/03/01	2.11
11	339 10年国債	日本	国債証券	90,000,000	104.45 94,005,000	103.36 93,029,400	0.400000 2025/06/20	1.96
12	344 10年国債	日本	国債証券	90,000,000	103.00 92,706,100	102.03 91,828,800	0.100000 2026/09/20	1.93
13	135 5年国債	日本	国債証券	90,000,000	101.07 90,968,000	101.01 90,910,800	0.100000 2023/03/20	1.91
14	343 10年国債	日本	国債証券	85,000,000	103.18 87,703,000	101.99 86,691,500	0.100000 2026/06/20	1.82
15	30 30年国債	日本	国債証券	60,000,000	137.23 82,340,400	138.75 83,254,200	2.300000 2039/03/20	1.75
16	132 5年国債	日本	国債証券	80,000,000	101.16 80,928,000	100.75 80,604,000	0.100000 2022/06/20	1.70
17	336 10年国債	日本	国債証券	74,000,000	103.79 76,807,750	103.57 76,641,800	0.500000 2024/12/20	1.61
18	340 10年国債	日本	国債証券	70,000,000	103.63 72,541,000	103.52 72,464,000	0.400000 2025/09/20	1.52
19	342 10年国債	日本	国債証券	70,000,000	101.83 71,281,000	101.91 71,338,400	0.100000 2026/03/20	1.50
20	154 20年国債	日本	国債証券	60,000,000	119.93 71,958,000	116.65 69,993,600	1.200000 2035/09/20	1.47
21	151 20年国債	日本	国債証券	60,000,000	118.16 70,896,420	116.30 69,784,800	1.200000 2034/12/20	1.47
22	166 20年国債	日本	国債証券	60,000,000	109.31 65,590,500	108.66 65,199,000	0.700000 2038/09/20	1.37
23	350 10年国債	日本	国債証券	60,000,000	103.70 62,220,000	102.27 61,362,600	0.100000 2028/03/20	1.29
24	353 10年国債	日本	国債証券	60,000,000	101.64 60,987,000	102.10 61,263,600	0.100000 2028/12/20	1.29

25	113	20年国債	日本	国債証券	50,000,000	122.23 61,115,000	121.53 60,766,000	2.100000 2029/09/20	1.28
26	147	20年国債	日本	国債証券	47,000,000	122.60 57,623,700	121.37 57,043,900	1.600000 2033/12/20	1.20
27	161	20年国債	日本	国債証券	53,000,000	108.53 57,524,100	107.05 56,738,090	0.600000 2037/06/20	1.19
28	347	10年国債	日本	国債証券	55,000,000	103.78 57,080,500	102.25 56,242,450	0.100000 2027/06/20	1.18
29	158	20年国債	日本	国債証券	50,000,000	104.74 52,372,300	105.47 52,738,000	0.500000 2036/09/20	1.11
30	38	30年国債	日本	国債証券	39,000,000	131.06 51,113,400	133.67 52,134,810	1.800000 2043/03/20	1.10

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

#### ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
国債証券	98.81%
合計	98.81%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

#### ハ．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

#### 投資不動産物件

該当事項はありません。

#### その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

#### 先進国債券(為替ヘッジあり)マザーファンド

#### (1) 投資状況(2019年11月29日現在)

##### 投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
国債証券	8,738,866,806	98.43
内 ユーロ	3,229,909,152	36.38
内 シンガポール	32,689,622	0.37

内 ノルウェー	20,857,531	0.23
内 スウェーデン	32,783,057	0.37
内 デンマーク	42,742,622	0.48
内 イギリス	561,243,301	6.32
内 ポーランド	54,757,038	0.62
内 カナダ	155,492,334	1.75
内 アメリカ	4,301,906,502	48.45
内 メキシコ	77,540,530	0.87
内 南アフリカ	48,564,962	0.55
内 オーストラリア	180,380,155	2.03
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	139,317,818	1.57
純資産総額	8,878,184,624	100.00

## その他の資産の投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
為替予約取引(売建)	8,976,375,410	101.11
内 日本	8,976,375,410	101.11

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(注3) 為替予約取引の時価については、原則として対顧客先物売買相場の仲値で評価しています。

## (2) 投資資産 (2019年11月29日現在)

## 投資有価証券の主要銘柄

## イ．主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	種類	株数、口数 また は 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	利率(%) 償還期限 (年/月/日)	投資 比率 (%)
1	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債 証券	4,000,000	113.91 499,229,860	112.15 491,494,924	8.000000 2021/11/15	5.54
2	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債 証券	4,300,000	100.20 472,064,349	100.21 472,097,326	1.875000 2020/12/15	5.32
3	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債 証券	3,667,000	99.06 398,018,108	100.33 403,102,404	1.750000 2022/05/15	4.54
4	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債 証券	2,900,000	102.48 325,617,688	103.81 329,835,638	2.750000 2023/05/31	3.72
5	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債 証券	2,500,000	104.11 285,181,064	102.87 281,774,625	2.250000 2024/11/15	3.17

6	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債証券	2,010,000	96.67 212,898,788	99.52 219,165,171	1.625000 2026/05/15	2.47
7	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債証券	1,800,000	103.61 204,327,448	104.24 205,573,563	2.750000 2023/11/15	2.32
8	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債証券	1,718,000	99.12 186,577,119	101.20 190,488,415	2.000000 2023/02/15	2.15
9	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債証券	1,270,000	102.64 142,814,527	116.91 162,675,542	3.000000 2048/02/15	1.83
10	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債証券	1,200,000	105.16 138,261,214	117.28 154,191,676	3.125000 2043/02/15	1.74
11	FRENCH GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債証券	750,000	151.59 137,104,499	153.37 138,714,375	5.500000 2029/04/25	1.56
12	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債証券	1,200,000	99.46 130,765,995	102.40 134,635,216	2.125000 2025/05/15	1.52
13	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債証券	1,135,000	93.24 115,946,986	106.01 131,830,288	2.500000 2046/05/15	1.48
14	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債証券	900,000	129.55 127,748,932	128.93 127,137,039	5.250000 2028/11/15	1.43
15	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債証券	870,000	128.41 122,400,629	132.70 126,488,783	6.125000 2027/11/15	1.42
16	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債証券	1,100,000	99.43 119,837,494	101.94 122,860,036	2.125000 2023/11/30	1.38
17	FRENCH GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債証券	845,000	108.73 110,800,407	108.19 110,247,098	1.750000 2023/05/25	1.24
18	Italy Buoni Poliennali Del Tesoro	ユーロ	国債証券	800,000	106.36 102,611,478	105.47 101,750,947	3.750000 2021/05/01	1.15
19	FRENCH GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債証券	740,000	107.26 95,721,423	108.21 96,565,601	1.000000 2025/11/25	1.09
20	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債証券	750,000	121.24 99,625,373	117.35 96,433,890	3.000000 2049/02/15	1.09
21	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債証券	800,000	107.50 94,221,819	106.47 93,324,084	2.875000 2025/07/31	1.05
22	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債証券	750,000	106.29 87,344,902	105.90 87,022,960	2.500000 2045/02/15	0.98
23	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債証券	750,000	99.81 82,018,259	103.64 85,160,988	2.250000 2027/02/15	0.96
24	Italy Buoni Poliennali Del Tesoro	ユーロ	国債証券	600,000	115.70 83,714,206	114.21 82,639,844	4.500000 2023/05/01	0.93
25	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債証券	550,000	137.68 82,965,432	135.23 81,489,303	4.250000 2039/05/15	0.92

26	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債 証券	530,000	139.49 81,000,863	136.39 79,199,631	5.375000 2031/02/15	0.89
27	FRENCH GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債 証券	600,000	108.02 78,159,874	109.45 79,197,964	1.000000 2027/05/25	0.89
28	ITALIAN GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債 証券	420,000	144.12 72,997,674	141.22 71,525,836	6.500000 2027/11/01	0.81
29	Italy Buoni Poliennali Del Tesoro	ユーロ	国債 証券	455,000	112.18 61,552,524	130.11 71,393,729	4.000000 2037/02/01	0.80
30	ITALIAN GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債 証券	500,000	108.07 65,162,977	116.07 69,985,009	3.000000 2029/08/01	0.79

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

#### ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
国債証券	98.43%
合計	98.43%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

#### ハ．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

#### 投資不動産物件

該当事項はありません。

#### その他投資資産の主要なもの

(単位：円)

種類	地域	資産名	買建/ 売建	数量	簿価	時価	投資 比率
為替予約取引	日本	豪ドル売/円買 2019年12月	売建	2,545,000	189,374,979	188,609,950	2.12%
		カナダ・ドル売/円買 2019年12月	売建	1,996,000	163,894,354	164,490,360	1.85%
		デンマーク・クローネ売/円買 2019年12月	売建	3,138,000	50,687,800	50,647,320	0.57%
		ユーロ売/円買 2019年12月	売建	27,796,000	3,353,178,801	3,351,641,680	37.75%
		英ポンド売/円買 2019年12月	売建	4,057,000	567,076,102	573,700,370	6.46%

南アフリカ・ランド売/ 円買 2019年12月	売建	6,968,000	49,683,234	51,702,560	0.58%
ノルウェー・クローネ 売/円買 2019年12月	売建	1,852,000	21,771,186	22,094,360	0.25%
ポーランド・ズロチ売/ 円買 2019年12月	売建	2,049,000	57,963,751	57,167,100	0.64%
スウェーデン・クローネ 売/円買 2019年12月	売建	2,971,000	33,334,026	34,047,660	0.38%
シンガポール・ドル売/ 円買 2019年12月	売建	477,000	37,833,684	38,245,860	0.43%
米ドル売/円買 2019年12 月	売建	39,825,000	4,297,694,963	4,360,837,500	49.12%
メキシコ・ペソ売/円買 2019年12月	売建	14,829,000	83,085,405	83,190,690	0.94%

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 為替予約取引の時価については、原則として対顧客先物売買相場の仲値で評価しています。

(注3) 為替予約取引の数量については、現地通貨建契約金額です。

## 新興国債券マザーファンド

### (1) 投資状況 (2019年11月29日現在)

#### 投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
国債証券	3,770,397,255	97.72
内 アメリカ	3,770,397,255	97.72
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	88,020,812	2.28
純資産総額	3,858,418,067	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

### (2) 投資資産 (2019年11月29日現在)

#### 投資有価証券の主要銘柄

#### イ. 主要銘柄の明細

銘柄名	地域	種類	株数、口数 また は 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	利率(%) 償還期限 (年/月/日)	投資 比率 (%)
-----	----	----	--------------------------	-------------------	-------------------	--------------------------	-----------------

1	Mexico Government International Bond	アメリカ	国債証 券	830,000	122.31 111,230,538	136.91 124,498,834	6.750000 2034/09/27	3.23
2	Turkey Government International Bond	アメリカ	国債証 券	700,000	127.50 97,785,367	140.80 107,986,170	11.875000 2030/01/15	2.80
3	Russian Foreign Bond - Eurobond	アメリカ	国債証 券	800,000	102.77 90,083,737	122.83 107,663,297	5.250000 2047/06/23	2.79
4	FED REPUBLIC OF BRAZIL	アメリカ	国債証 券	589,000	127.87 82,518,811	136.78 88,268,509	8.250000 2034/01/20	2.29
5	Hungary Government International Bond	アメリカ	国債証 券	700,000	111.23 85,309,113	112.82 86,527,749	5.750000 2023/11/22	2.24
6	Colombia Government International Bond	アメリカ	国債証 券	500,000	130.22 71,337,802	140.74 77,099,015	7.375000 2037/09/18	2.00
7	Colombia Government International Bond	アメリカ	国債証 券	600,000	109.20 71,783,712	114.74 75,427,458	5.000000 2045/06/15	1.95
8	Russian Foreign Bond - Eurobond	アメリカ	国債証 券	600,000	105.99 69,677,530	109.76 72,157,749	4.875000 2023/09/16	1.87
9	Mexico Government International Bond	アメリカ	国債証 券	500,000	115.15 63,079,170	129.09 70,717,693	6.050000 2040/01/11	1.83
10	Mexico Government International Bond	アメリカ	国債証 券	520,000	98.48 56,109,401	109.44 62,350,990	4.750000 2044/03/08	1.62
11	Philippine Government International Bond	アメリカ	国債証 券	400,000	128.84 56,463,718	135.96 59,583,548	6.375000 2032/01/15	1.54
12	Philippine Government International Bond	アメリカ	国債証 券	340,000	154.69 57,626,237	159.80 59,528,001	9.500000 2030/02/02	1.54
13	Panama Government International Bond	アメリカ	国債証 券	350,000	130.45 50,022,357	140.96 54,055,972	6.700000 2036/01/26	1.40
14	Argentine Republic International Bond	アメリカ	国債証 券	1,200,000	71.12 93,509,460	40.03 52,633,500	6.625000 2028/07/06	1.36
15	Indonesia Government International Bond	アメリカ	国債証 券	400,000	112.48 49,293,454	119.57 52,401,671	5.250000 2042/01/17	1.36
16	Russian Foreign Bond - Eurobond	アメリカ	国債証 券	400,000	103.47 45,348,636	111.03 48,659,978	4.750000 2026/05/27	1.26
17	Peruvian Government International Bond	アメリカ	国債証 券	300,000	128.25 42,153,210	146.21 48,059,260	5.625000 2050/11/18	1.25
18	Ukraine Government International Bond	アメリカ	国債証 券	410,000	96.99 43,568,670	106.43 47,811,074	7.750000 2023/09/01	1.24
19	Indonesia Government International Bond	アメリカ	国債証 券	400,000	104.04 45,595,366	108.88 47,715,571	4.350000 2027/01/08	1.24



20	Mexico Government International Bond	アメリカ	国債証 券	400,000	96.42 42,257,292	107.09 46,932,874	4.600000 2046/01/23	1.22
21	Philippine Government International Bond	アメリカ	国債証 券	300,000	137.62 45,234,804	141.67 46,565,081	6.375000 2034/10/23	1.21
22	Mexico Government International Bond	アメリカ	国債証 券	400,000	100.05 43,845,912	104.66 45,869,704	3.600000 2025/01/30	1.19
23	Ukraine Government International Bond	アメリカ	国債証 券	400,000	94.29 41,325,374	102.26 44,816,613	7.375000 2032/09/25	1.16
24	Brazilian Government International Bond	アメリカ	国債証 券	400,000	91.66 40,169,954	101.84 44,632,114	5.000000 2045/01/27	1.16
25	Panama Government International Bond	アメリカ	国債証 券	264,000	149.64 43,284,351	153.16 44,299,753	9.375000 2029/04/01	1.15
26	Turkey Government International Bond	アメリカ	国債証 券	400,000	90.30 39,573,948	99.85 43,762,208	6.000000 2027/03/25	1.13
27	Turkey Government International Bond	アメリカ	国債証 券	400,000	90.97 39,868,884	98.18 43,029,032	6.750000 2040/05/30	1.12
28	Turkey Government International Bond	アメリカ	国債証 券	360,000	98.84 38,984,471	108.02 42,607,182	7.375000 2025/02/05	1.10
29	Turkey Government International Bond	アメリカ	国債証 券	400,000	87.46 38,329,566	95.56 41,879,967	6.625000 2045/02/17	1.09
30	Mexico Government International Bond	アメリカ	国債証 券	350,000	102.97 39,487,560	105.73 40,545,526	4.000000 2023/10/02	1.05

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

#### □ . 投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
国債証券	97.72%
合計	97.72%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

#### 八 . 投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

#### 投資不動産物件

該当事項はありません。

#### その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

## 国内株式マザーファンド

## (1) 投資状況（2019年11月29日現在）

## 投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	2,182,377,437	100.00
純資産総額	2,182,377,437	100.00

## その他の資産の投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
株価指数先物取引(買建)	2,182,342,000	100.00
内 日本	2,182,342,000	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(注3) 株価指数先物取引の時価については、原則として当該日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しています。このような時価が発表されていない場合には、当該日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しています。

## (2) 投資資産（2019年11月29日現在）

## 投資有価証券の主要銘柄

## イ．主要銘柄の明細

該当事項はありません。

## ロ．投資有価証券の種類別投資比率

該当事項はありません。

## ハ．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

## 投資不動産物件

該当事項はありません。

## その他投資資産の主要なもの

(単位：円)

種類	地域	資産名	買建/ 売建	数量	簿価	時価	投資 比率
----	----	-----	-----------	----	----	----	----------

株価指数先物取引	日本	TOPIX先物 2019年12月	買建	127	2,073,414,370	2,155,190,000	98.75%
		ミニTOPIX先物 2019年12月	買建	16	27,157,010	27,152,000	1.24%

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 株価指数先物取引の時価については、原則として当該日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しています。このような時価が発表されていない場合には、当該日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しています。

## 先進国株式マザーファンド

### (1) 投資状況 (2019年11月29日現在)

#### 投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	1,816,952,512	87.49
内 ドイツ	428,756,345	20.65
内 アメリカ	1,388,196,167	66.85
投資証券	142,787,405	6.88
内 アメリカ	142,787,405	6.88
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	116,941,406	5.63
純資産総額	2,076,681,323	100.00

#### その他の資産の投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
株価指数先物取引(買建)	119,040,193	5.73
内 ドイツ	41,902,613	2.02
内 カナダ	25,308,852	1.22
内 アメリカ	51,828,728	2.50
為替予約取引(買建)	91,591,350	4.41
内 日本	91,591,350	4.41

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(注3) 株価指数先物取引の時価については、原則として当該日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しています。このような時価が発表されていない場合には、当該日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しています。

(注4) 為替予約取引の時価については、原則として対顧客先物売買相場の仲値で評価しています。

### (2) 投資資産 (2019年11月29日現在)

## 投資有価証券の主要銘柄

## イ．主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	種類	株数、口数 また は 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	投資 比率 (%)
1	ISHARES CORE S&P 500 ETF	アメリカ	投資信託受益証券	39,939	32,931.32 1,315,245,977	34,757.91 1,388,196,167	66.85
2	ISHARES STOXX EUROPE 600 DE	ドイツ	投資信託受益証券	87,779	4,586.03 402,557,803	4,884.49 428,756,345	20.65
3	ISHARES MSCI PACIFIC EX JAPA	アメリカ	投資証券	17,606	5,026.17 88,491,360	5,102.20 89,829,495	4.33
4	ISHARES MSCI CANADA ETF	アメリカ	投資証券	16,297	3,090.24 50,363,499	3,249.54 52,957,910	2.55

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

## ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
投資信託受益証券	87.49%
投資証券	6.88%
合計	94.37%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

## ハ．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

## 投資不動産物件

該当事項はありません。

## その他投資資産の主要なもの

(単位：円)

種類	地域	資産名	買建/ 売建	数量	簿価	時価	投資 比率
株価指数先物取引	アメリカ	S&P500 E-MINI FUTURE 2019年12月	買建	3	49,212,270	51,828,728	2.50%
	カナダ	S&P/TSE 60 INDEX 2019 年12月	買建	1	16,157,273	16,872,568	0.81%

		S&P/TSX 60INDEX MINI 2019年12月	買建	2	8,394,152	8,436,284	0.41%
	ドイツ	STOXX EUROPE 600 IND 2019年12月	買建	17	41,748,198	41,902,613	2.02%
為替予約取引	日本	米ドル買/円売 2020年1 月	買建	30,500	3,317,414	3,330,905	0.16%
		ユーロ買/円売 2020年1 月	買建	256,100	30,781,145	30,877,977	1.49%
		カナダ・ドル買/円売 2019年12月	買建	152,800	12,506,850	12,592,248	0.61%
		米ドル買/円売 2019年12 月	買建	350,100	37,945,372	38,335,950	1.85%
		カナダ・ドル買/円売 2020年1月	買建	78,500	6,435,273	6,454,270	0.31%

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 株価指数先物取引の時価については、原則として当該日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しています。このような時価が発表されていない場合には、当該日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しています。

(注3) 為替予約取引の時価については、原則として対顧客先物売買相場の仲値で評価しています。

(注4) 為替予約取引の数量については、現地通貨建契約金額です。

### 新興国株式マザーファンド

#### (1) 投資状況 (2019年11月29日現在)

##### 投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
投資証券	795,669,694	93.83
内 アメリカ	795,669,694	93.83
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	52,314,742	6.17
純資産総額	847,984,436	100.00

##### その他の資産の投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
株価指数先物取引(買建)	52,028,401	6.14
内 アメリカ	52,028,401	6.14
為替予約取引(買建)	16,425,000	1.94
内 日本	16,425,000	1.94

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(注3) 株価指数先物取引の時価については、原則として当該日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しています。このような時価が発表されていない場合には、当該日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しています。

(注4) 為替予約取引の時価については、原則として対顧客先物売買相場の仲値で評価しています。

## (2) 投資資産（2019年11月29日現在）

### 投資有価証券の主要銘柄

#### イ．主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	種類	業種	株数、口数 また は 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	投資 比率 (%)
1	ISHARES CORE MSCI EMERGING	アメリカ	投資証券	-	139,850	5,584.71 781,030,068	5,689.45 795,669,694	93.83
2	HANERGY THIN FILM POWER GROU	中国	株式	情報技術	172,000	0.00 0	0.00 0	0.00
3	CHINA HUIZHAN DAIRY HOLDINGS	中国	株式	生活必需品	49,000	0.00 0	0.00 0	0.00

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

#### ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
投資証券	93.83%
合計	93.83%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

#### ハ．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

#### 投資不動産物件

該当事項はありません。

#### その他投資資産の主要なもの

(単位：円)

種類	地域	資産名	買建/ 売建	数量	簿価	時価	投資 比率
株価指数先物 取引	アメリカ	MSCI EMGMKT 2019年12月	買建	9	50,798,644	52,028,401	6.14%

為替予約取引	日本	米ドル買/円売 2019年12月	買建	150,000	16,291,530	16,425,000	1.94%
--------	----	------------------	----	---------	------------	------------	-------

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 株価指数先物取引の時価については、原則として当該日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しています。このような時価が発表されていない場合には、当該日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しています。

(注3) 為替予約取引の時価については、原則として対顧客先物売買相場の仲値で評価しています。

(注4) 為替予約取引の数量については、現地通貨建契約金額です。

## 国内REITマザーファンド

### (1) 投資状況 (2019年11月29日現在)

#### 投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
投資証券	2,004,195,900	94.74
内 日本	2,004,195,900	94.74
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	111,186,098	5.26
純資産総額	2,115,381,998	100.00

#### その他の資産の投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
不動産投信指数先物取引(買建)	110,975,000	5.25
内 日本	110,975,000	5.25

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(注3) 不動産投信指数先物取引の時価については、原則として当該日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しています。このような時価が発表されていない場合には、当該日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しています。

### (2) 投資資産 (2019年11月29日現在)

#### 投資有価証券の主要銘柄

##### イ. 主要銘柄の明細

銘柄名	地域	種類	株数、口数 また は 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	投資 比率 (%)
1 日本ビルファンド	日本	投資証券	172	782,489.72 134,588,233	822,000.00 141,384,000	6.68

2	ジャパンリアルエステイト	日本	投資証券	177	694,969.51 123,009,604	745,000.00 131,865,000	6.23
3	野村不動産マスターF	日本	投資証券	553	187,198.89 103,520,989	199,800.00 110,489,400	5.22
4	オリックス不動産投資	日本	投資証券	353	221,832.27 78,306,794	240,700.00 84,967,100	4.02
5	ユナイテッド・アーバン投資法人	日本	投資証券	398	199,094.27 79,239,523	213,000.00 84,774,000	4.01
6	日本リテールファンド	日本	投資証券	335	228,808.77 76,650,941	249,300.00 83,515,500	3.95
7	日本プロロジスリート	日本	投資証券	255	278,436.51 71,001,312	293,700.00 74,893,500	3.54
8	大和ハウスリート投資法人	日本	投資証券	239	286,806.69 68,546,801	299,400.00 71,556,600	3.38
9	GLP投資法人	日本	投資証券	442	133,004.22 58,787,869	145,600.00 64,355,200	3.04
10	アドバンス・レジデンス	日本	投資証券	168	340,799.12 57,254,253	353,500.00 59,388,000	2.81
11	日本プライムリアルティ	日本	投資証券	112	489,328.37 54,804,778	498,500.00 55,832,000	2.64
12	ジャパン・ホテル・リート投資法人	日本	投資証券	571	86,602.65 49,450,115	89,700.00 51,218,700	2.42
13	インヴィンシブル投資法人	日本	投資証券	778	62,854.52 48,900,821	65,100.00 50,647,800	2.39
14	API投資法人	日本	投資証券	89	525,153.25 46,738,640	565,000.00 50,285,000	2.38
15	積水ハウス・リート投資	日本	投資証券	519	91,449.24 47,462,160	96,800.00 50,239,200	2.37
16	ケネディクス・オフィス投資法人	日本	投資証券	55	812,004.50 44,660,248	829,000.00 45,595,000	2.16
17	日本アコモデーションファンド投資法人	日本	投資証券	59	645,626.13 38,091,942	688,000.00 40,592,000	1.92
18	産業ファンド	日本	投資証券	218	151,374.90 32,999,730	171,200.00 37,321,600	1.76
19	森ヒルズリート	日本	投資証券	204	166,070.84 33,878,453	177,400.00 36,189,600	1.71
20	大和証券オフィス投資法人	日本	投資証券	41	819,412.80 33,595,925	822,000.00 33,702,000	1.59
21	日本ロジスティクスファンド投資法人	日本	投資証券	116	264,606.99 30,694,411	280,200.00 32,503,200	1.54



22	ヒューリックリート投資法	日本	投資証券	151	194,870.07 29,425,382	202,000.00 30,502,000	1.44
23	フロンティア不動産投資	日本	投資証券	63	468,064.46 29,488,061	476,000.00 29,988,000	1.42
24	ジャパンエクセレント投資法人	日本	投資証券	159	171,766.42 27,310,862	185,000.00 29,415,000	1.39
25	イオンリート投資	日本	投資証券	191	144,150.09 27,532,668	152,400.00 29,108,400	1.38
26	日本リート投資法人	日本	投資証券	58	443,624.70 25,730,233	484,500.00 28,101,000	1.33
27	ラサールロジポート投資	日本	投資証券	165	147,145.90 24,279,075	167,200.00 27,588,000	1.30
28	MCUBS MidCity投資法人	日本	投資証券	228	113,912.82 25,972,124	118,300.00 26,972,400	1.28
29	プレミア投資法人	日本	投資証券	160	153,283.26 24,525,323	163,400.00 26,144,000	1.24
30	コンフォリア・レジデンシャル	日本	投資証券	74	329,587.51 24,389,476	350,000.00 25,900,000	1.22

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

#### ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
投資証券	94.74%
合計	94.74%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

#### ハ．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

#### 投資不動産物件

該当事項はありません。

#### その他投資資産の主要なもの

(単位：円)

種類	地域	資産名	買建/ 売建	数量	簿価	時価	投資 比率
不動産投信指数先物取引	日本	東証REIT指数先物 2019年12月	買建	50	106,330,400	110,975,000	5.25%

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 不動産投信指数先物取引の時価については、原則として当該日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しています。このような時価が発表されていない場合には、当該日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しています。

## 先進国REITマザーファンド

### (1) 投資状況 (2019年11月29日現在)

#### 投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	139,316,496	4.05
内 アメリカ	139,316,496	4.05
投資証券	3,130,384,753	91.09
内 香港	70,875,000	2.06
内 シンガポール	107,739,390	3.14
内 イギリス	188,462,339	5.48
内 ベルギー	47,953,819	1.40
内 フランス	92,476,552	2.69
内 スペイン	29,928,509	0.87
内 カナダ	77,078,218	2.24
内 アメリカ	2,289,026,673	66.61
内 オーストラリア	226,844,253	6.60
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	166,705,346	4.85
純資産総額	3,436,406,595	100.00

#### その他の資産の投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
不動産投信指数先物取引(買建)	163,604,529	4.76
内 ドイツ	22,682,979	0.66
内 アメリカ	140,921,550	4.10
為替予約取引(買建)	102,421,200	2.98
内 日本	102,421,200	2.98

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(注3) 為替予約取引の時価については、原則として対顧客先物売買相場の仲値で評価しています。

### (2) 投資資産 (2019年11月29日現在)

#### 投資有価証券の主要銘柄

## イ．主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	種類	株数、口数 また は 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	投資 比率 (%)
1	VANGUARD REAL ESTATE ETF	アメリカ	投資信託受益証券	13,600	10,230.38 139,133,879	10,243.86 139,316,496	4.05
2	PROLOGIS INC	アメリカ	投資証券	11,200	8,750.77 98,009,308	10,123.34 113,381,453	3.30
3	EQUINIX INC	アメリカ	投資証券	1,800	63,289.52 113,921,145	61,922.21 111,459,990	3.24
4	SIMON PROPERTY GROUP INC	アメリカ	投資証券	6,100	18,010.34 109,863,317	16,567.66 101,062,746	2.94
5	UNITE GROUP PLC/THE	イギリス	投資証券	55,380	1,530.63 84,772,718	1,763.88 97,683,757	2.84
6	UNIBAIL-RODAMCO-WESTFIELD	フランス	投資証券	5,410	16,662.76 90,145,946	17,093.63 92,476,552	2.69
7	LAND SECURITIES GROUP PLC	イギリス	投資証券	66,560	1,275.73 84,916,171	1,363.86 90,778,582	2.64
8	H&R REAL ESTATE INV-REIT UTS	カナダ	投資証券	43,200	1,867.08 80,660,301	1,784.21 77,078,218	2.24
9	BOSTON PROPERTIES INC	アメリカ	投資証券	4,800	14,473.42 69,472,818	15,229.93 73,103,691	2.13
10	LINK REIT	香港	投資証券	62,500	1,247.31 77,957,598	1,134.00 70,875,000	2.06
11	EQUITY RESIDENTIAL	アメリカ	投資証券	7,500	8,759.97 65,700,108	9,381.62 70,362,171	2.05
12	PARAMOUNT GROUP INC	アメリカ	投資証券	46,000	1,453.86 66,881,678	1,481.25 68,137,555	1.98
13	DIGITAL REALTY TRUST INC	アメリカ	投資証券	5,100	13,220.16 67,423,301	13,278.67 67,721,227	1.97
14	RETAIL OPPORTUNITY INVESTMEN	アメリカ	投資証券	33,800	2,017.76 68,202,272	1,996.18 67,470,992	1.96
15	PUBLIC STORAGE	アメリカ	投資証券	2,900	25,255.11 73,239,994	23,239.86 67,395,615	1.96
16	SUN COMMUNITIES INC	アメリカ	投資証券	3,700	14,965.23 55,371,482	18,109.17 67,003,938	1.95
17	EQUITY LIFESTYLE PROPERTIES	アメリカ	投資証券	8,000	6,843.22 54,746,628	8,086.62 64,692,989	1.88

18	PIEDMONT OFFICE REALTY TRU- A	アメリカ	投資証 券	26,200	2,276.65 59,648,587	2,454.14 64,298,573	1.87
19	EQUITY COMMONWEALTH	アメリカ	投資証 券	17,600	3,524.98 62,040,425	3,616.57 63,651,731	1.85
20	WELLTOWER INC	アメリカ	投資証 券	6,700	8,865.59 59,399,959	9,402.43 62,996,343	1.83
21	BRANDYWINE REALTY TRUST	アメリカ	投資証 券	36,300	1,638.03 59,461,259	1,714.61 62,240,488	1.81
22	REXFORD INDUSTRIAL REALTY IN	アメリカ	投資証 券	11,800	4,571.06 53,939,171	5,251.21 61,964,287	1.80
23	ESSEX PROPERTY TRUST INC	アメリカ	投資証 券	1,800	32,565.39 58,617,722	34,287.89 61,718,216	1.80
24	SCENTRE GROUP	オース トラリア	投資証 券	208,570	286.03 59,662,561	291.37 60,771,083	1.77
25	LEXINGTON REALTY TRUST	アメリカ	投資証 券	49,500	1,065.90 52,767,053	1,220.49 60,414,671	1.76
26	VICI PROPERTIES INC	アメリカ	投資証 券	22,000	2,541.46 55,913,186	2,726.94 59,992,865	1.75
27	ASCENDAS REAL ESTATE INV TRT	シンガ ポール	投資証 券	248,600	244.43 60,781,424	236.64 58,830,941	1.71
28	DIAMONDROCK HOSPITALITY CO	アメリカ	投資証 券	49,900	1,117.07 55,745,070	1,143.80 57,075,939	1.66
29	EXTRA SPACE STORAGE INC	アメリカ	投資証 券	4,900	11,873.56 58,180,962	11,636.36 57,018,201	1.66
30	SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	オース トラリア	投資証 券	283,770	198.17 56,238,635	200.17 56,804,511	1.65

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

#### ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
投資信託受益証券	4.05%
投資証券	91.09%
合計	95.15%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

#### ハ．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

(単位：円)

種類	地域	資産名	買建/ 売建	数量	簿価	時価	投資 比率
不動産投信指 数先物取引	アメリカ	DJ US REIT IDXFTRS 2019年12月	買建	35	142,280,642	140,921,550	4.10%
	ドイツ	STOXX600 REIT IDXFTR 2019年12月	買建	20	22,514,394	22,682,979	0.66%
為替予約取引	日本	米ドル買/円売 2019年12 月	買建	630,000	68,190,503	68,985,000	2.01%
		ニュージーランド・ドル 買/円売 2019年12月	買建	150,000	10,523,625	10,539,000	0.31%
		ユーロ買/円売 2019年12 月	買建	150,000	18,033,165	18,087,000	0.53%
		シンガポール・ドル買/ 円売 2019年12月	買建	60,000	4,797,726	4,810,200	0.14%

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 為替予約取引の時価については、原則として対顧客先物売買相場の仲値で評価しています。

(注3) 為替予約取引の数量については、現地通貨建契約金額です。

(参考情報) 運用実績

## ●りそな ダイナミック・アロケーション・ファンド

2019年11月29日現在

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

## 基準価額・純資産の推移

基準価額	10,968円
純資産総額	5.8億円

基準価額の騰落率	
期間	ファンド
1カ月間	0.2%
3カ月間	0.2%
6カ月間	1.9%
1年間	3.9%
3年間	3.6%
5年間	3.3%
設定来	9.7%



※上記の「基準価額の騰落率」とは、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において運用管理費用(信託報酬)は控除しています。

## 分配の推移(10,000口当たり、税引前)

直近1年間分配金合計額: 0円 設定来分配金合計額: 0円

決算期	第1期 14年5月	第2期 15年5月	第3期 16年5月	第4期 17年5月	第5期 18年5月	第6期 19年5月				
分配金	0円	0円	0円	0円	0円	0円				

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

## 主要な資産の状況

※比率は、純資産総額に対するものです。

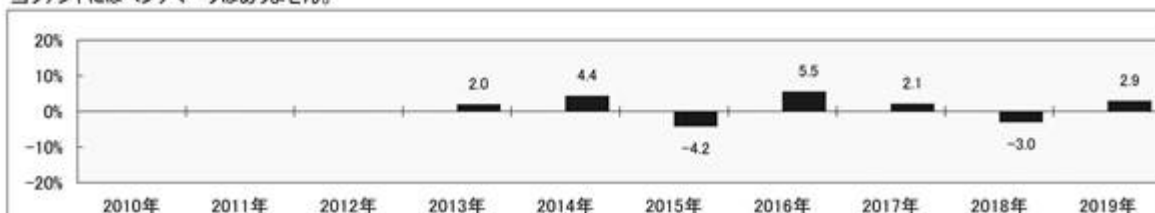
マザーファンド(MF)別構成	比率	資産別構成	銘柄数	比率	通貨別構成	比率	組入上位銘柄(除く債券)	国・地域名	比率
国内債券MF	34.5%	国内債券	109	34.1%	日本円	72.1%	TOPIX先物 O112月	日本	7.9%
先進国債券(為替ヘッジあり)MF	20.8%	外国債券	322	26.7%	米ドル	24.2%	ISHARES CORE MSCI EMERGING	アメリカ	5.8%
先進国株式MF	8.3%	外国投資信託等	6	13.9%	ユーロ	2.2%	ISHARES CORE S&P 500 ETF	アメリカ	5.5%
国内株式MF	8.0%	国内株式・先物	2	8.0%	豪ドル	0.5%	ISHARES STOXX EUROPE 600 DE	ドイツ	1.7%
国内REITMF	7.8%	国内リート・先物	64	7.8%	英ポンド	0.4%	日本ビルファンド	日本	0.5%
先進国REITMF	7.3%	外国リート・先物	52	7.0%	カナダ・ドル	0.3%	ジャパンリアルエステイト	日本	0.5%
新興国債券MF	6.4%	外国株式・先物	7	0.9%	シンガポール・ドル	0.2%	TREIT先物 O112月	日本	0.4%
新興国株式MF	6.2%				香港ドル	0.2%	野村不動産マスターF	日本	0.4%
					ニュージーランド・ドル	0.0%	MSCI EMGMKT 201912	アメリカ	0.4%
		コール・ローン、その他		11.2%	その他	-0.0%	ISHARES MSCI PACIFIC EX JAPA	アメリカ	0.4%
合計	99.2%	合計	562	-	合計	100.0%	合計		23.5%

※外国株式の国・地域名については、原則としてMSCI Inc.が提供するリスク所在国・地域に基づいて表示しています。

※先物の建玉がある場合は、資産別構成の比率合計額を表示していません。

## 年間収益率の推移

当ファンドにはベンチマークはありません。



・ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

・2013年は設定日(10月21日)から年末、2019年は11月29日までの騰落率を表しています。

委託会社のホームページ等で運用状況が開示されている場合があります。

## 第2 【管理及び運営】

### 1 【申込(販売)手続等】

受益権の取得申込者は、販売会社において取引口座を開設のうえ、取得の申込みを行なうものとします。

当ファンドには、収益分配金を税金を差引いた後無手数料で自動的に再投資する「分配金再投資コース」と、収益の分配が行なわれるごとに収益分配金を受益者に支払う「分配金支払いコース」があります。

「分配金再投資コース」を利用する場合、取得申込者は、販売会社と別に定める積立投資約款にしたがい契約（以下「別に定める契約」といいます。）を締結します。

販売会社は、受益権の取得申込者に対し、最低単位を1円単位または1口単位として販売会社が定める単位をもって、取得の申込みに応じることができます。

ただし、販売会社は、ニューヨーク証券取引所、ロンドン証券取引所、ニューヨークの銀行またはロンドンの銀行のいずれかの休業日と同じ日付の日を取得申込受付日とする受益権の取得申込みの受け付けを行ないません。

お買付価額（1万口当たり）は、お買付申込受付日の翌営業日の基準価額です。

お買付時の申込手数料については、販売会社が別に定めるものとします。申込手数料には、消費税等が課されます。なお、「分配金再投資コース」の収益分配金の再投資の際には、申込手数料はかかりません。

委託会社の各営業日の午後3時までに受付けた取得の申込み（当該申込みにかかる販売会社所定の事務手続きが完了したものを）、当日の受付分として取扱います。この時刻を過ぎて行なわれる申込みは、翌営業日の取扱いとなります。

金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情（投資対象国における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更および規制の導入、自然災害、クーデター、重大な政治体制の変更、戦争等）による市場の閉鎖または流動性の極端な減少ならびに資金の受渡しに関する障害等）が発生し、委託会社が追加設定を制限する措置をとった場合には、販売会社は、取得申込みの受け付けを中止することができるほか、すでに受付けた取得申込みを取消することができるものとします。

取得申込者は販売会社に、取得申込みと同時にまたはあらかじめ、自己のために開設された当ファンドの受益権の振替を行なうための振替機関等の口座を示すものとし、当該口座に当該取得申込者にかかる口数の増加の記載または記録が行なわれます。なお、販売会社は、当該取得申込みの代金の支払いと引換えに、当該口座に当該取得申込者にかかる口数の増加の記載または記録を行なうことができます。委託会社は、追加信託により分割された受益権について、振替機関等の振替口座簿への新たな記載または記録をするため社振法に定める事項の振替機関への通知を行なうものとします。振替機関等は、委託会社から振替機関への通知があった場合、社振法の規定にしたがい、その備える振替口座簿への新たな記載または記録を行ないません。受託会社は、追加信託により生じた受益権については追加信託のつど、振替機関の定める方法により、振替機関へ当該受益権にかかる信託を設定した旨の通知を行ないません。

### 2 【換金(解約)手続等】

委託会社の各営業日の午後3時までに受付けた換金の申込み（当該申込みにかかる販売会社所定の事務手続きが完了したものを）、当日の受付分として取扱います。この時刻を過ぎて行なわれる申込みは、翌営業日の取扱いとなります。

なお、信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の解約請求には制限があります。

#### <一部解約>

受益者は、自己に帰属する受益権について、最低単位を1口単位として販売会社が定める単位をもって、委託会社に一部解約の実行を請求することができます。

ただし、販売会社は、ニューヨーク証券取引所、ロンドン証券取引所、ニューヨークの銀行またはロンドンの銀行のいずれかの休業日と同じ日付の日を一部解約請求受付日とする一部解約の実行の請求の受け付けを行いません。

受益者が一部解約の実行の請求をするときは、販売会社に対し、振替受益権をもって行なうものとします。

解約価額は、一部解約の実行の請求受付日の翌営業日の基準価額とします。

解約価額は、原則として、委託会社の各営業日に計算されます。

解約価額（基準価額）は、販売会社または委託会社に問合わせることにより知ることができます。また、委託会社のホームページでご覧になることもできます。

#### ・お電話によるお問合わせ先（委託会社）

電話番号（コールセンター） 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

#### ・委託会社のホームページ

アドレス <https://www.daiwa-am.co.jp/>

委託会社は、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情（投資対象国における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更および規制の導入、自然災害、クーデター、重大な政治体制の変更、戦争等）による市場の閉鎖または流動性の極端な減少ならびに資金の受渡しに関する障害等）が発生した場合には、一部解約請求の受け付けを中止することができます。一部解約請求の受け付けが中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行なった当日の一部解約請求を撤回することができます。ただし、受益者がその一部解約請求を撤回しない場合には、当該受益権の一部解約の価額は、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に一部解約請求を受け付けたものとして、当該計算日の翌営業日の基準価額とします。

一部解約金は、販売会社の営業所等において、原則として一部解約の実行の請求受付日から起算して5営業日目から受益者に支払います。

受託会社は、一部解約金について、受益者への支払開始日までに、その全額を委託会社の指定する預金口座等に払込みます。受託会社は、委託会社の指定する預金口座等に一部解約金を払込んだ後は、受益者に対する支払いにつき、その責に任じません。

一部解約の実行の請求を行なう受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して当該受益者の請求にかかる信託契約の一部解約を委託会社が行なうのと引換えに、当該一部解約にかかる受益権の口数と同口数の抹消の申請を行なうものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行なわれます。

### 3 【資産管理等の概要】



## (1) 【資産の評価】

基準価額とは、信託財産の純資産総額を計算日における受益権口数で除した1万口当たりの価額をいいます。

純資産総額とは、信託財産に属する資産（受入担保金代用有価証券を除きます。）を法令および一般社団法人投資信託協会規則にしたがって時価（注1、注2）により評価して得た信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額をいいます。

### （注1）当ファンドの主要な投資対象資産の評価方法の概要

- ・マザーファンドの受益証券：計算日の基準価額で評価します。

### （注2）マザーファンドの主要な投資対象資産の評価方法の概要

- ・わが国および外国の公社債：原則として、次に掲げるいずれかの価額で評価します。
  1. 日本証券業協会が発表する売買参考統計値（平均値）
  2. 金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（売気配相場を除く。）
  3. 価格情報会社の提供する価額
- ・わが国の金融商品取引所上場株式：原則として当該取引所における計算日の最終相場で評価します。
- ・外国の株式：原則として金融商品取引所における計算時に知り得る直近の日の最終相場または海外店頭市場における計算時に知り得る直近の日の最終相場または最終買気配相場で評価します。
- ・株価指数先物取引：原則として、取引所が発表する計算日の清算値段または最終相場で評価します。
- ・わが国の金融商品取引所上場の不動産投資信託証券：原則として当該取引所における計算日の最終相場で評価します。
- ・海外の金融商品取引所上場の不動産投資信託証券：原則として当該取引所における計算日に知り得る直近の日の最終相場で評価します。

なお、外貨建資産（外国通貨表示の有価証券（以下「外貨建有価証券」といいます。））、預金その他の資産をいいます。以下同じ。）の円換算については、原則として、わが国における計算日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算します。また、予約為替の評価は、原則として、わが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値によるものとします。

基準価額は、原則として、委託会社の各営業日に計算されます。

基準価額は、販売会社または委託会社に問い合わせることにより知ることができます。また、委託会社のホームページでご覧になることもできます。

- ・お電話によるお問い合わせ先（委託会社）  
電話番号（コールセンター） 0120-106212  
（営業日の9:00～17:00）
- ・委託会社のホームページ  
アドレス <https://www.daiwa-am.co.jp/>

## (2) 【保管】

該当事項はありません。

(3) 【信託期間】

2013年10月21日から2028年5月8日までとします。ただし、(5) により信託契約を解約し、信託を終了させることがあります。

委託会社は、信託期間満了前に、信託期間の延長が受益者に有利であると認めるときは、受託会社と合意のうえ、信託期間を延長することができます。

(4) 【計算期間】

毎年5月9日から翌年5月8日までとします。ただし、第1計算期間は、2013年10月21日から2014年5月8日までとします。

上記にかかわらず、上記により各計算期間終了日に該当する日（以下「該当日」といいます。）が休業日の場合には、各計算期間終了日は該当日の翌営業日とし、その翌日から次の計算期間が開始されるものとします。ただし、最終計算期間の終了日には適用しません。

(5) 【その他】

信託の終了

1. 委託会社は、受益権の口数が30億口を下ることとなった場合もしくは信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させることができます。この場合において、委託会社は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届出ます。
2. 委託会社は、前1.の事項について、書面による決議（以下「書面決議」といいます。）を行います。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに信託契約の解約の理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、信託契約にかかる知れている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を発送します。
3. 前2.の書面決議において、受益者（委託会社および当ファンドの信託財産に当ファンドの受益権が属するときの当該受益権にかかる受益者としての受託会社を除きます。以下本3.において同じ。）は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行行使することができます。なお、信託契約にかかる知れている受益者が議決権を行行使しないときは、当該知れている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。
4. 前2.の書面決議は議決権を行行使することができる受益者の議決権の3分の2以上にあたる多数をもって行ないます。
5. 前2.から前4.までの規定は、委託会社が信託契約の解約について提案をした場合において、当該提案につき、信託契約にかかるすべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。また、信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合であって、前2.から前4.までの手続きを行なうことが困難な場合も同じとします。
6. 委託会社は、監督官庁より信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令にしたがい、信託契約を解約し、信託を終了させます。
7. 委託会社が監督官庁より登録の取消しを受けたとき、解散したときまたは業務を廃止したときは、委託会社は、信託契約を解約し、信託を終了させます。ただし、監督官庁が信託契約に関する委託会社の業務を他の投資信託委託会社に引継ぐことを命じたときは、の書面決議で否決された場合を除き、当該投資信託委託会社と受託会社との間において存続します。

8. 受託会社が辞任した場合または裁判所が受託会社を解任した場合において、委託会社が新受託会社を選任できないときは、委託会社は信託契約を解約し、信託を終了させます。

#### 信託約款の変更等

1. 委託会社は、受益者の利益のため必要と認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、信託約款を変更することまたは当ファンドと他のファンドとの併合（投資信託及び投資法人に関する法律第16条第2号に規定する「委託者指図型投資信託の併合」をいいます。以下同じ。）を行なうことができるものとし、あらかじめ、変更または併合しようとする旨およびその内容を監督官庁に届出ます。なお、信託約款は本の1.から7.までに定める以外の方法によって変更することができないものとしします。
2. 委託会社は、前1.の事項（前1.の変更事項にあっては、その内容が重大なものに該当する場合に限り、前1.の併合事項にあっては、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものに該当する場合を除きます。以下「重大な信託約款の変更等」といいます。）について、書面決議を行ないます。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに重大な信託約款の変更等の内容およびその理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、信託約款にかかる知っている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を發します。
3. 前2.の書面決議において、受益者（委託会社および当ファンドの信託財産に当ファンドの受益権が属するときの当該受益権にかかる受益者としての受託会社を除きます。以下本3.において同じ。）は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行使することができます。なお、信託約款にかかる知っている受益者が議決権を行使しないときは、当該知っている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。
4. 前2.の書面決議は議決権を行使することができる受益者の議決権の3分の2以上にあたる多数をもって行ないます。
5. 書面決議の効力は、当ファンドのすべての受益者に対してその効力を生じます。
6. 前2.から前5.までの規定は、委託会社が重大な信託約款の変更等について提案をした場合において、当該提案につき、信託約款にかかるすべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。
7. 前1.から前6.までの規定にかかわらず、当ファンドにおいて併合の書面決議が可決された場合にあっても、当該併合にかかる一または複数の他のファンドにおいて当該併合の書面決議が否決された場合は、当該他のファンドとの併合を行なうことはできません。
8. 委託会社は、監督官庁の命令に基づいて信託約款を変更しようとするときは、前1.から前7.までの規定にしたがいます。

#### 反対受益者の受益権買取請求の不適用

当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第18条第1項に定める反対受益者による受益権買取請求の規定の適用を受けません。

#### 運用報告書

1. 委託会社は、運用経過のほか信託財産の内容、有価証券売買状況、費用明細などのうち重要な事項を記載した交付運用報告書（投資信託及び投資法人に関する法律第14条第4項に定める運用報告書）を計算期間の末日ごとに作成し、信託財産にかかる知っている受益者に対して交付します。また、電子交付を選択された場合には、所定の方法により交付します。
2. 委託会社は、運用報告書（全体版）（投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書）を作成し、委託会社のホームページに掲載します。

## ・委託会社のホームページ

アドレス <https://www.daiwa-am.co.jp/>

3. 前2.の規定にかかわらず、受益者から運用報告書（全体版）の交付の請求があった場合には、これを交付します。

## 公告

1. 委託会社が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行ない、次のアドレスに掲載します。

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

2. 前1.の電子公告による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合の公告は、日本経済新聞に掲載します。

## 関係法人との契約の更改

委託会社と販売会社との間で締結される受益権の募集・販売の取扱い等に関する契約は、期間満了の1か月（または3か月）前までに、委託会社および販売会社いずれからも何ら意思の表示のないときは、自動的に1年間更新されるものとし、自動延長後の取扱いについてもこれと同様とします。

## 4 【受益者の権利等】

信託契約締結当初および追加信託当初の受益者は、委託会社の指定する受益権取得申込者とし、分割された受益権は、その取得申込口数に応じて、取得申込者に帰属します。

受益者の有する主な権利の内容、その行使の方法等は、次のとおりです。

## 収益分配金および償還金にかかる請求権

受益者は、収益分配金（分配金額は、委託会社が決定します。）および償還金（信託終了時における信託財産の純資産総額を受益権口数で除した額をいいます。以下同じ。）を持分にに応じて請求する権利を有します。

収益分配金は、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（当該収益分配金にかかる決算日以前において一部解約が行なわれた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該収益分配金にかかる計算期間の末日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とし、）に、原則として決算日から起算して5営業日までに支払います。

上記にかかわらず、別に定める契約に基づいて収益分配金を再投資する受益者については、原則として毎計算期間終了日の翌営業日に収益分配金が再投資されます。再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

償還金は、信託終了日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（信託終了日以前において一部解約が行なわれた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該信託終了日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とし、）に、原則として信託終了日から起算して5営業日までに支払います。

収益分配金および償還金の支払いは、販売会社の営業所等において行なうものとし、

受益者が、収益分配金については支払開始日から5年間その支払いを請求しないときならびに信託終了による償還金については支払開始日から10年間その支払いを請求しないときは、その権利を失い、受託会社から交付を受けた金銭は、委託会社に帰属します。

#### 換金請求権

受益者は、保有する受益権を換金する権利を有します。権利行使の方法等については、「2 換金（解約）手続等」をご参照下さい。

### 第3 【ファンドの経理状況】

(1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第6期計算期間(2018年5月9日から2019年5月8日まで)の財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。

#### 1 【財務諸表】

## 【財務諸表】

りそな ダイナミック・アロケーション・ファンド

(1)【貸借対照表】

(単位：円)

	第5期 2018年5月8日現在	第6期 2019年5月8日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	13,252,241	9,452,589
親投資信託受益証券	866,442,899	644,409,140
未収入金	3,000,000	430,000
流動資産合計	882,695,140	654,291,729
資産合計	882,695,140	654,291,729
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払解約金	3,648,634	493,301
未払受託者報酬	194,226	148,163
未払委託者報酬	5,633,972	4,298,129
その他未払費用	36,461	27,764
流動負債合計	9,513,293	4,967,357
負債合計	9,513,293	4,967,357
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	1,814,621,166	1,603,232,677
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	58,560,681	46,091,695
（分配準備積立金）	35,382,490	25,483,808
元本等合計	873,181,847	649,324,372
純資産合計	873,181,847	649,324,372
負債純資産合計	882,695,140	654,291,729

## (2)【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第5期		第6期	
	自	2017年5月9日 至 2018年5月8日	自	2018年5月9日 至 2019年5月8日
営業収益				
受取利息		-		1
有価証券売買等損益		8,664,502		11,862,408
その他収益		-		24
営業収益合計		8,664,502		11,862,433
営業費用				
支払利息		6,148		5,825
受託者報酬		414,357		326,531
委託者報酬		12,019,158		9,472,197
その他費用		77,671		61,864
営業費用合計		12,517,334		9,866,417
営業利益又は営業損失（ ）		3,852,832		1,996,016
経常利益又は経常損失（ ）		3,852,832		1,996,016
当期純利益又は当期純損失（ ）		3,852,832		1,996,016
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）		652,554		780,232
期首剰余金又は期首欠損金（ ）		79,576,167		58,560,681
剰余金増加額又は欠損金減少額		2,510,677		1,295,422
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		2,510,677		1,295,422
剰余金減少額又は欠損金増加額		19,020,777		16,540,656
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		19,020,777		16,540,656
分配金		1 -		1 -
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		58,560,681		46,091,695



## (3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	第6期	
	自 2018年5月9日	至 2019年5月8日
有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券  移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。	

(貸借対照表に関する注記)

区 分	第5期	第6期
	2018年5月8日現在	2019年5月8日現在
1. 1 期首元本額	1,028,049,589円	814,621,166円
期中追加設定元本額	32,275,756円	18,817,360円
期中一部解約元本額	245,704,179円	230,205,849円
2. 計算期間末日における受益権の総数	814,621,166口	603,232,677口

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

区 分	第5期	第6期
	自 2017年5月9日 至 2018年5月8日	自 2018年5月9日 至 2019年5月8日

1 分配金の計算過程	<p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(0円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(23,188,299円)及び分配準備積立金(35,382,490円)より分配対象額は58,570,789円(1万口当たり718.99円)であり、分配を行っておりません。</p>	<p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(0円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(21,079,843円)及び分配準備積立金(25,483,808円)より分配対象額は46,563,651円(1万口当たり771.90円)であり、分配を行っておりません。</p>
------------	--	--

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の状況に関する事項

区 分	第6期 自 2018年5月9日 至 2019年5月8日
1. 金融商品に対する取組方針	<p>当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。</p>
2. 金融商品の内容及びリスク	<p>当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細を附属明細表に記載しております。なお、当ファンドは、親投資信託受益証券を通じて有価証券、デリバティブ取引に投資しております。</p> <p>これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク(価格変動、為替変動、金利変動等)、信用リスク、流動性リスクであります。</p>
3. 金融商品に係るリスク管理体制	<p>複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。</p>

4. 金融商品の時価等に関する事項 についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。
--------------------------------	--

## 金融商品の時価等に関する事項

区 分	第6期
	2019年5月8日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表 計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。  (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

## (有価証券に関する注記)

## 売買目的有価証券

種 類	第5期	第6期
	2018年5月8日現在	2019年5月8日現在
	当計算期間の損益に 含まれた評価差額(円)	当計算期間の損益に 含まれた評価差額(円)
親投資信託受益証券	5,162,948	10,727,283
合計	5,162,948	10,727,283

## (デリバティブ取引に関する注記)

## ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

第5期	第6期
2018年5月8日現在	2019年5月8日現在
該当事項はありません。	該当事項はありません。

## (関連当事者との取引に関する注記)

第6期
自 2018年5月9日
至 2019年5月8日

市場価格その他当該取引に係る価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	第5期 2018年5月8日現在	第6期 2019年5月8日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	1.0719円 (10,719円)	1.0764円 (10,764円)

#### (4) 【附属明細表】

##### 第1 有価証券明細表

###### (1) 株式

該当事項はありません。

###### (2) 株式以外の有価証券

種 類	銘 柄	券面総額	評価額 (円)	備考
親投資信託受益 証券	国内株式マザーファンド	26,287,660	40,903,598	
	先進国株式マザーファンド	22,758,241	41,834,198	
	新興国株式マザーファンド	23,523,894	30,750,434	
	国内債券マザーファンド	235,743,320	265,800,593	
	新興国債券マザーファンド	24,854,876	33,288,135	
	先進国債券(為替ヘッジあり)マザー ファンド	135,748,646	153,681,042	
	先進国REITマザーファンド	22,486,816	37,053,775	
	国内REITマザーファンド	26,634,715	41,097,365	
親投資信託受益証券 合計			644,409,140	
合計			644,409,140	

親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

##### 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

##### 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

(参考)

当ファンドは、「国内債券マザーファンド」受益証券、「先進国債券(為替ヘッジあり)マザーファンド」受益証券、「新興国債券マザーファンド」受益証券、「国内株式マザーファンド」受益証券、「先進国株式マザーファンド」受益証券、「新興国株式マザーファンド」受益証券、「国内REITマザーファンド」受益証券及び「先進国REITマザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同マザーファンドの受益証券であります。

なお、当ファンドの計算期間末日(以下、「期末日」)における同マザーファンドの状況は次のとおりであります。

#### 「国内債券マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

#### 貸借対照表

	2018年5月8日現在	2019年5月8日現在
	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	72,516,374	72,475,742
国債証券	12,588,368,760	11,359,176,580
未収利息	12,536,575	17,970,428
前払費用	7,059,999	401,974
流動資産合計	12,680,481,708	11,450,024,724
資産合計	12,680,481,708	11,450,024,724
負債の部		
流動負債		
未払解約金	1,461,000	382,000
その他未払費用	13,886	1,318
流動負債合計	1,474,886	383,318
負債合計	1,474,886	383,318
純資産の部		
元本等		
元本	1 11,447,875,945	10,155,240,535
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金( )	1,231,130,877	1,294,400,871
元本等合計	12,679,006,822	11,449,641,406
純資産合計	12,679,006,822	11,449,641,406
負債純資産合計	12,680,481,708	11,450,024,724

## 注記表

## （重要な会計方針に係る事項に関する注記）

区 分	自 2018年5月9日 至 2019年5月8日
有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券</p> <p>個別法に基づき、時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（但し、売気配相場は使用しない）、価格情報会社の提供する価額又は日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）等で評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>

## （貸借対照表に関する注記）

区 分	2018年5月8日現在	2019年5月8日現在
1. 1 期首	2017年5月9日	2018年5月9日
期首元本額	7,554,013,661円	11,447,875,945円
期中追加設定元本額	50,087,377,766円	17,883,299,106円
期中一部解約元本額	46,193,515,482円	19,175,934,516円
期末元本額の内訳		
ファンド名		
6 資産（為替ヘッジなし）資 金拠出用ファンド（適格機関 投資家専用）	9,900,000円	9,900,000円
ダイナミック・アロケーシ ョン・ファンド（適格機関投資 家専用）	10,381,652,151円	8,975,442,828円
スマート・ミックス・Dガー ド（為替ヘッジあり）	34,821,373円	22,693,557円
スマート・ミックス・Dガー ド（為替ヘッジなし）	10,700,086円	10,452,080円
スマート・アロケーション・ Dガード	8,892,589円	7,377,478円
りそな ダイナミック・アロ ケーション・ファンド	307,466,765円	235,743,320円

堅実バランスファンド - ハ ジメの一步 -	351,899,216円	490,713,339円
DCダイワ8資産アロケー ション・ファンド	398,747円	304,781円
DCダイナミック・アロケー ション・ファンド	44,961,141円	108,247,004円
ダイワ・ダブルバランス・ ファンド(Dガード付/部分 為替ヘッジあり)	18,907,852円	20,895,541円
ダイワ6資産バランス・ファ ンド(Dガード付/為替ヘッ ジあり)	122,476,773円	121,239,677円
ダイワ6資産バランス・ファ ンド(Dガード付/為替ヘッ ジなし)	154,903,620円	151,504,013円
DCスマート・アロケーショ ン・Dガード	895,632円	726,917円
計	11,447,875,945円	10,155,240,535円
2. 期末日における受益権の総数	11,447,875,945口	10,155,240,535口

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の状況に関する事項

区 分	自 2018年5月9日 至 2019年5月8日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細を附属明細表に記載しております。 これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク(価格変動、金利変動等)、信用リスク、流動性リスクであります。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。

4. 金融商品の時価等に関する事項 についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。
--------------------------------	--

## 金融商品の時価等に関する事項

区 分	2019年5月8日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表 計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。  (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

## (有価証券に関する注記)

## 売買目的有価証券

種 類	2018年5月8日現在	2019年5月8日現在
	当期間の損益に 含まれた評価差額(円)	当期間の損益に 含まれた評価差額(円)
国債証券	22,684,670	164,828,400
合計	22,684,670	164,828,400

(注) 「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から期末日までの期間(2017年5月9日から2018年5月8日まで、及び2018年5月9日から2019年5月8日まで)を指しております。

## (デリバティブ取引に関する注記)

## ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

2018年5月8日現在	2019年5月8日現在
該当事項はありません。	該当事項はありません。

## (1口当たり情報)

	2018年5月8日現在	2019年5月8日現在
1口当たり純資産額	1.1075円	1.1275円
(1万口当たり純資産額)	(11,075円)	(11,275円)



## 附属明細表

## 第1 有価証券明細表

## (1) 株式

該当事項はありません。

## (2) 株式以外の有価証券

種 類	銘 柄	券面総額 (円)	評価額 (円)	備考
国債証券	3 9 0 2年国債	200,000,000	200,608,000	
	3 9 8 2年国債	420,000,000	421,982,400	
	1 2 6 5年国債	460,000,000	461,973,400	
	1 2 7 5年国債	220,000,000	221,089,000	
	1 2 8 5年国債	259,000,000	260,455,580	
	1 2 9 5年国債	143,000,000	143,899,470	
	1 3 0 5年国債	300,000,000	302,088,000	
	1 3 1 5年国債	272,000,000	274,072,640	
	1 3 2 5年国債	260,000,000	262,197,000	
	1 3 3 5年国債	30,000,000	30,279,300	
	1 3 4 5年国債	15,000,000	15,150,000	
	1 3 5 5年国債	260,000,000	262,779,400	
	1 3 6 5年国債	200,000,000	202,278,000	
	1 4 0年国債	11,000,000	16,585,250	
	2 4 0年国債	15,000,000	21,939,150	
	3 4 0年国債	21,000,000	30,958,830	
	4 4 0年国債	35,000,000	51,996,000	
	5 4 0年国債	32,000,000	46,002,240	
	6 4 0年国債	24,000,000	33,976,320	
	7 4 0年国債	43,000,000	58,492,470	
	8 4 0年国債	2,000,000	2,539,640	
	9 4 0年国債	72,000,000	67,857,840	
	1 0 4 0年国債	37,000,000	41,058,160	
	1 1 4 0年国債	25,000,000	26,872,000	
	3 0 8 1 0年国債	10,000,000	10,163,600	
	3 2 6 1 0年国債	15,000,000	15,474,750	
	3 2 7 1 0年国債	20,000,000	20,705,800	
	3 2 8 1 0年国債	21,000,000	21,628,740	
	3 3 0 1 0年国債	148,000,000	154,315,160	
	3 3 1 1 0年国債	131,000,000	135,436,970	

3 3 2	1 0 年国債	270,000,000	279,671,400	
3 3 4	1 0 年国債	220,000,000	228,740,600	
3 3 5	1 0 年国債	5,000,000	5,181,450	
3 3 6	1 0 年国債	154,000,000	159,850,460	
3 3 7	1 0 年国債	92,000,000	94,451,800	
3 3 8	1 0 年国債	280,000,000	289,450,000	
3 4 0	1 0 年国債	150,000,000	155,452,500	
3 4 1	1 0 年国債	275,000,000	283,552,500	
3 4 2	1 0 年国債	225,000,000	229,137,750	
3 4 4	1 0 年国債	190,000,000	193,610,000	
3 4 5	1 0 年国債	210,000,000	214,044,600	
3 4 6	1 0 年国債	150,000,000	152,922,000	
3 4 7	1 0 年国債	217,000,000	221,183,760	
3 4 8	1 0 年国債	18,000,000	18,342,360	
3 4 9	1 0 年国債	5,000,000	5,093,550	
3 5 0	1 0 年国債	260,000,000	264,765,800	
3 5 3	1 0 年国債	60,000,000	60,987,000	
1 1	3 0 年国債	1,000,000	1,220,150	
2 1	3 0 年国債	52,000,000	69,561,440	
2 8	3 0 年国債	20,000,000	27,980,000	
2 9	3 0 年国債	29,000,000	40,183,560	
3 0	3 0 年国債	60,000,000	82,340,400	
3 1	3 0 年国債	40,000,000	54,378,800	
3 2	3 0 年国債	57,000,000	78,995,160	
3 3	3 0 年国債	68,000,000	90,485,560	
3 4	3 0 年国債	64,000,000	88,135,040	
3 5	3 0 年国債	71,000,000	95,201,770	
3 6	3 0 年国債	10,000,000	13,464,300	
3 7	3 0 年国債	15,000,000	19,935,900	
3 8	3 0 年国債	69,000,000	90,436,920	
4 0	3 0 年国債	36,000,000	47,347,920	
4 1	3 0 年国債	36,000,000	46,591,920	
4 2	3 0 年国債	45,000,000	58,294,800	
4 3	3 0 年国債	8,000,000	10,373,520	
4 4	3 0 年国債	31,000,000	40,281,090	
4 5	3 0 年国債	35,000,000	43,843,800	
4 6	3 0 年国債	45,000,000	56,403,450	
4 7	3 0 年国債	7,000,000	8,954,400	
4 8	3 0 年国債	20,000,000	24,623,400	

4 9	3 0 年国債	67,000,000	82,521,220	
5 0	3 0 年国債	35,000,000	37,844,800	
5 1	3 0 年国債	67,000,000	63,952,840	
5 2	3 0 年国債	22,000,000	22,106,260	
5 3	3 0 年国債	10,000,000	10,292,600	
5 4	3 0 年国債	65,000,000	70,284,500	
5 5	3 0 年国債	56,000,000	60,513,600	
5 6	3 0 年国債	45,000,000	48,595,050	
5 7	3 0 年国債	15,000,000	16,187,250	
5 8	3 0 年国債	40,000,000	43,135,200	
6 0	3 0 年国債	5,000,000	5,519,200	
4 6	2 0 年国債	1,000,000	1,026,600	
5 1	2 0 年国債	2,000,000	2,092,020	
5 2	2 0 年国債	1,000,000	1,053,880	
5 6	2 0 年国債	10,000,000	10,679,500	
9 8	2 0 年国債	90,000,000	106,841,700	
1 0 0	2 0 年国債	5,000,000	6,025,650	
1 0 1	2 0 年国債	35,000,000	42,805,000	
1 0 3	2 0 年国債	30,000,000	36,572,700	
1 0 4	2 0 年国債	76,000,000	91,253,960	
1 0 5	2 0 年国債	10,000,000	12,051,700	
1 0 6	2 0 年国債	19,000,000	23,077,400	
1 0 7	2 0 年国債	24,000,000	29,028,000	
1 0 8	2 0 年国債	54,000,000	64,268,100	
1 0 9	2 0 年国債	30,000,000	35,816,100	
1 1 0	2 0 年国債	50,000,000	60,685,000	
1 1 1	2 0 年国債	10,000,000	12,281,200	
1 1 2	2 0 年国債	60,000,000	73,077,600	
1 1 4	2 0 年国債	28,000,000	34,333,320	
1 1 5	2 0 年国債	30,000,000	37,105,200	
1 1 7	2 0 年国債	60,000,000	73,807,200	
1 1 8	2 0 年国債	10,000,000	12,229,800	
1 1 9	2 0 年国債	45,000,000	54,032,850	
1 2 1	2 0 年国債	51,000,000	61,979,280	
1 2 3	2 0 年国債	30,000,000	37,253,400	
1 2 4	2 0 年国債	60,000,000	73,810,800	
1 2 5	2 0 年国債	25,000,000	31,431,250	
1 2 7	2 0 年国債	30,000,000	36,653,100	
1 2 8	2 0 年国債	25,000,000	30,624,750	

1 2 9	2 0 年国債	70,000,000	84,904,400	
1 3 0	2 0 年国債	39,000,000	47,417,760	
1 3 1	2 0 年国債	32,000,000	38,513,280	
1 3 3	2 0 年国債	30,000,000	36,558,900	
1 3 4	2 0 年国債	17,000,000	20,762,440	
1 3 5	2 0 年国債	40,000,000	48,342,400	
1 3 6	2 0 年国債	32,000,000	38,265,920	
1 3 8	2 0 年国債	43,000,000	50,957,580	
1 4 0	2 0 年国債	40,000,000	48,538,000	
1 4 1	2 0 年国債	35,000,000	42,551,250	
1 4 2	2 0 年国債	60,000,000	73,751,400	
1 4 3	2 0 年国債	40,000,000	48,170,800	
1 4 4	2 0 年国債	38,000,000	45,243,180	
1 4 6	2 0 年国債	80,000,000	97,783,200	
1 4 7	2 0 年国債	102,000,000	123,417,960	
1 4 9	2 0 年国債	95,000,000	113,870,800	
1 5 0	2 0 年国債	100,000,000	118,509,000	
1 5 1	2 0 年国債	12,000,000	13,869,720	
1 5 2	2 0 年国債	88,000,000	101,764,080	
1 5 3	2 0 年国債	119,000,000	139,544,160	
1 5 6	2 0 年国債	90,000,000	92,408,400	
1 5 7	2 0 年国債	90,000,000	89,261,100	
1 5 8	2 0 年国債	15,000,000	15,611,100	
1 5 9	2 0 年国債	95,000,000	100,356,100	
1 6 0	2 0 年国債	110,000,000	118,059,700	
1 6 1	2 0 年国債	53,000,000	55,875,780	
1 6 2	2 0 年国債	65,000,000	68,454,100	
1 6 3	2 0 年国債	48,000,000	50,494,080	
1 6 4	2 0 年国債	19,000,000	19,625,670	
1 6 5	2 0 年国債	90,000,000	92,834,100	
1 6 7	2 0 年国債	10,000,000	10,284,700	
国債証券 合計			11,359,176,580	
合計			11,359,176,580	

## 第 2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第 3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

## 「先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

## 貸借対照表

	2018年5月8日現在	2019年5月8日現在
	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
預金	227,600,605	121,836,961
コール・ローン	365,411,800	107,694,687
国債証券	12,005,150,439	12,541,872,347
派生商品評価勘定	161,333,636	149,162,332
未収入金	4,171,498	65,366,239
未収利息	74,614,001	120,779,203
前払費用	39,898,077	12,217,641
流動資産合計	12,878,180,056	13,118,929,410
資産合計	12,878,180,056	13,118,929,410
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	-	768,244
未払金	216,411,941	188,066,428
未払解約金	161,400	7,056,541
その他未払費用	6,757	2,344
流動負債合計	216,580,098	195,893,557
負債合計	216,580,098	195,893,557
純資産の部		
元本等		
元本	1 11,430,071,350	11,415,158,983
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	1,231,528,608	1,507,876,870
元本等合計	12,661,599,958	12,923,035,853
純資産合計	12,661,599,958	12,923,035,853
負債純資産合計	12,878,180,056	13,118,929,410

## 注記表

## （重要な会計方針に係る事項に関する注記）

区 分	自 2018年5月9日 至 2019年5月8日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券</p> <p>個別法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（但し、売気配相場は使用しない）、又は価格情報会社の提供する価額等で評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	<p>為替予約取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、原則として計算日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。</p>
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p>

## （貸借対照表に関する注記）

区 分	2018年5月8日現在	2019年5月8日現在
1. 1 期首 期首元本額	2017年5月9日 8,660,564,082円	2018年5月9日 11,430,071,350円

期中追加設定元本額	31,909,066,339円	12,205,448,973円
期中一部解約元本額	29,139,559,071円	12,220,361,340円
期末元本額の内訳		
ファンド名		
5資産(為替ヘッジあり)資 金拠出用ファンド(適格機関 投資家専用)	14,700,000円	14,700,000円
ダイナミック・アロケーショ ン・ファンド(適格機関投資 家専用)	6,144,913,485円	5,168,484,888円
先進国債券(為替ヘッジあ り)ファンド(適格機関投資 家専用)	4,728,606,697円	5,644,930,239円
スマート・ミックス・Dガー ド(為替ヘッジあり)	34,857,567円	22,637,271円
りそな ダイナミック・アロ ケーション・ファンド	181,739,154円	135,748,646円
堅実バランスファンド - ハ ジメの一步 -	175,675,073円	245,051,536円
DCダイワ8資産アロケー ション・ファンド	398,317円	304,613円
DCダイナミック・アロケー ション・ファンド	26,591,981円	62,157,916円
ダイワ6資産バランス・ファ ンド(Dガード付/為替ヘッ ジあり)	122,589,076円	121,143,874円
計	11,430,071,350円	11,415,158,983円
2. 期末日における受益権の総数	11,430,071,350口	11,415,158,983口

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の状況に関する事項

区 分	自 2018年5月9日 至 2019年5月8日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。

2. 金融商品の内容及びリスク	<p>当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細をデリバティブ取引に関する注記及び附属明細表に記載しております。</p> <p>これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク（価格変動、為替変動、金利変動等）、信用リスク、流動性リスクであります。</p> <p>外貨建資産について為替変動リスクを回避すること、および外貨建資産の売買代金等の受取りまたは支払いを目的として、投資信託約款に従って為替予約取引を利用しております。</p>
3. 金融商品に係るリスク管理体制	<p>複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。</p>
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	<p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。</p> <p>デリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。</p>

## 金融商品の時価等に関する事項

区 分	2019年5月8日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	<p>金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p>
2. 金融商品の時価の算定方法	<p>(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。</p> <p>(2)デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。</p> <p>(3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。</p>

## （有価証券に関する注記）

## 売買目的有価証券

種 類	2018年5月8日現在	2019年5月8日現在
	当期間の損益に含まれた評価差額（円）	当期間の損益に含まれた評価差額（円）



国債証券	118,180,894	241,928,177
合計	118,180,894	241,928,177

(注) 「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から期末日までの期間(2017年5月9日から2018年5月8日まで、及び2018年5月9日から2019年5月8日まで)を指しております。

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

#### 通貨関連

種 類	2018年5月8日 現在				2019年5月8日 現在			
	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)
	(円)	うち 1年超			(円)	うち 1年超		
市場取引以外の取引								
為替予約取引								
売 建	12,462,721,346	-	12,301,387,710	161,333,636	12,916,559,782	-	12,767,397,450	149,162,332
アメリカ・ドル	5,342,148,674	-	5,322,115,470	20,033,204	6,378,627,876	-	6,310,971,370	67,656,506
イギリス・ ポンド	889,217,088	-	862,684,800	26,532,288	739,535,166	-	733,173,520	6,361,646
オーストラリ ア・ドル	263,587,215	-	261,354,750	2,232,465	264,294,446	-	260,472,640	3,821,806
カナダ・ドル	267,060,580	-	265,817,120	1,243,460	179,553,158	-	177,343,800	2,209,358
シンガポー ル・ドル	39,883,005	-	39,512,950	370,055	49,815,406	-	49,245,300	570,106
スイス・フラン	16,732,264	-	16,416,720	315,544	-	-	-	-
スウェーデン・ クローナ	51,167,256	-	49,739,220	1,428,036	47,347,788	-	46,379,200	968,588
デンマーク・ クローネ	73,298,166	-	71,870,240	1,427,926	70,057,302	-	69,127,370	929,932
ノルウェー・ クローネ	37,755,365	-	37,233,000	522,365	37,760,829	-	36,892,950	867,879
ポーランド・ ズロチ	83,310,945	-	81,210,150	2,100,795	72,096,639	-	71,208,580	888,059
メキシコ・ ペソ	101,430,518	-	98,282,650	3,147,868	108,174,311	-	106,964,900	1,209,411
ユーロ	5,246,549,939	-	5,145,116,400	101,433,539	4,894,878,023	-	4,832,351,550	62,526,473

南アフリカ・ ランド	50,580,331	-	50,034,240	546,091	74,418,838	-	73,266,270	1,152,568
買 建	-	-	-	-	63,154,644	-	62,386,400	768,244
アメリカ・ドル	-	-	-	-	55,683,200	-	55,090,000	593,200
ノルウェー・ クローネ	-	-	-	-	7,471,444	-	7,296,400	175,044
合計	12,462,721,346	-	12,301,387,710	161,333,636	12,979,714,426	-	12,829,783,850	148,394,088

## (注) 1. 時価の算定方法

- (1) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

- (2) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、期末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2. 換算において円未満の端数は切り捨てております。  
3. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

## (1口当たり情報)

	2018年5月8日現在	2019年5月8日現在
1口当たり純資産額	1.1077円	1.1321円
(1万口当たり純資産額)	(11,077円)	(11,321円)

## 附属明細表

## 第1 有価証券明細表

## (1) 株式

該当事項はありません。

## (2) 株式以外の有価証券

種 類	通 貨	銘 柄	券面総額	評価額	備考
-----	-----	-----	------	-----	----

国債証券	アメリカ・ドル		アメリカ・ドル	アメリカ・ドル	
		1.75% United States Treasury Note/Bond 20220515	2,567,000.000	2,530,676.950	
		2% United States Treasury Note/Bond 20230215	4,918,000.000	4,874,967.500	
		2% United States Treasury Note/Bond 20200731	4,400,000.000	4,381,432.000	
		2.75% United States Treasury Note/Bond 20231115	1,200,000.000	1,225,500.000	
		2.5% United States Treasury Note/Bond 20240515	2,203,000.000	2,227,607.510	
		2% United States Treasury Note/Bond 20210531	1,188,000.000	1,181,406.600	
		8% United States Treasury Note/Bond 20211115	5,400,000.000	6,151,518.000	
		6.125% United States Treasury Note/Bond 20271115	2,200,000.000	2,825,108.000	
		5.25% United States Treasury Note/Bond 20281115	1,300,000.000	1,608,230.000	
		5.375% United States Treasury Note/Bond 20310215	200,000.000	258,608.000	
		4.5% United States Treasury Note/Bond 20360215	50,000.000	62,867.000	
		4.5% United States Treasury Note/Bond 20380515	760,000.000	970,003.200	
		3.75% United States Treasury Note/Bond 20410815	370,000.000	429,603.300	
		3% United States Treasury Note/Bond 20420515	1,330,000.000	1,374,156.000	
		3.125% United States Treasury Note/Bond 20430215	1,200,000.000	1,261,968.000	
		3.625% United States Treasury Note/Bond 20440215	140,000.000	159,664.400	
		2.25% United States Treasury Note/Bond 20210731	2,050,000.000	2,049,508.000	
		2.25% United States Treasury Note/Bond 20241115	4,100,000.000	4,091,636.000	
		2.5% United States Treasury Note/Bond 20450215	50,000.000	46,800.500	

	2.125% United States Treasury Note/Bond 20250515	1,000,000.000	989,060.000	
	2.25% United States Treasury Note/Bond 20251115	800,000.000	795,936.000	
	1.625% United States Treasury Note/Bond 20201130	3,300,000.000	3,264,162.000	
	1.625% United States Treasury Note/Bond 20260515	2,210,000.000	2,106,218.400	
	2.5% United States Treasury Note/Bond 20460515	2,835,000.000	2,643,410.700	
	2.125% United States Treasury Note/Bond 20231130	1,100,000.000	1,093,807.000	
	2.25% United States Treasury Note/Bond 20270215	500,000.000	495,270.000	
	1.875% United States Treasury Note/Bond 20201215	600,000.000	595,848.000	
	2.75% United States Treasury Note/Bond 20280215	200,000.000	205,218.000	
	3% United States Treasury Note/Bond 20480215	1,340,000.000	1,375,376.000	
	2.75% United States Treasury Note/Bond 20230531	1,400,000.000	1,427,118.000	
	2.75% United States Treasury Note/Bond 20210815	2,800,000.000	2,830,072.000	
	2.625% United States Treasury Note/Bond 20290215	500,000.000	507,770.000	
	3% United States Treasury Note/Bond 20490215	200,000.000	205,546.000	
	2.5% United States Treasury Note/Bond 20260228	600,000.000	605,952.000	
アメリカ・ドル	小計		アメリカ・ドル 56,852,025.060 (6,264,524,641)	
イギリス・ポンド		イギリス・ポンド	イギリス・ポンド	
	2% United Kingdom Gilt 20200722	188,000.000	190,804.960	
	1.5% United Kingdom Gilt 20470722	360,000.000	345,312.000	

	1.75% United Kingdom Gilt 20370907	290,000.000	296,815.000	
	1.75% United Kingdom Gilt 20490122	700,000.000	711,340.000	
	6% United Kingdom Gilt 20281207	400,000.000	576,576.000	
	4.5% United Kingdom Gilt 20340907	329,000.000	465,666.600	
	4.25% United Kingdom Gilt 20401207	400,000.000	589,960.000	
	3.75% United Kingdom Gilt 20520722	359,000.000	553,613.900	
	1.75% United Kingdom Gilt 20220907	350,000.000	361,032.000	
	3.25% United Kingdom Gilt 20440122	310,000.000	407,681.000	
	3.5% United Kingdom Gilt 20680722	138,000.000	228,693.600	
	イギリス・ポンド 小計		イギリス・ポンド 4,727,495.060 (680,759,289)	
オーストラリア・ドル		オーストラリア・ドル	オーストラリア・ドル	
	5.75% AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND 20210515	150,000.000	163,047.000	
	5.75% AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND 20220715	180,000.000	204,795.000	
	5.5% AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND 20230421	135,000.000	156,602.700	
	2.75% AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND 20240421	142,000.000	151,180.300	
	3.25% AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND 20250421	370,000.000	406,985.200	
	4.5% AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND 20330421	330,000.000	433,052.400	
	4.25% AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND 20260421	236,000.000	277,233.920	
	3.25% AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND 20390621	170,000.000	198,709.600	
	2.75% AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND 20271121	430,000.000	465,126.700	

	3% AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND 20470321	115,000.000	129,047.250	
	2.75% AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND 20281121	300,000.000	325,518.000	
オーストラリア・ドル 小計			オーストラリア・ドル 2,911,298.070 (224,956,002)	
カナダ・ドル		カナダ・ドル	カナダ・ドル	
	5.75% CANADIAN GOVERNMENT BOND 20330601	100,000.000	148,970.000	
	5% CANADIAN GOVERNMENT BOND 20370601	100,000.000	147,143.000	
	4% CANADIAN GOVERNMENT BOND 20410601	170,000.000	232,473.300	
	3.5% CANADIAN GOVERNMENT BOND 20451201	266,000.000	351,074.780	
	1.5% CANADIAN GOVERNMENT BOND 20230601	263,000.000	262,476.630	
	2.5% CANADIAN GOVERNMENT BOND 20240601	300,000.000	313,785.000	
	2.25% CANADIAN GOVERNMENT BOND 20250601	150,000.000	155,724.000	
	1.5% CANADIAN GOVERNMENT BOND 20260601	100,000.000	99,230.000	
	2% CANADIAN GOVERNMENT BOND 20280601	400,000.000	411,512.000	
カナダ・ドル 小計			カナダ・ドル 2,122,388.710 (173,568,949)	
シンガポール・ ドル		シンガポール・ドル	シンガポール・ドル	
	3.125% SINGAPORE GOVERNMENT 20220901	255,000.000	264,534.450	
	2.75% SINGAPORE GOVERNMENT 20230701	56,000.000	57,689.520	
	3.375% SINGAPORE GOVERNMENT 20330901	60,000.000	66,762.000	
	2.875% SINGAPORE GOVERNMENT 20290701	57,000.000	60,161.220	
	2.75% SINGAPORE GOVERNMENT 20460301	139,000.000	141,720.230	

シンガポール・ドル 小計			シンガポール・ドル 590,867.420 (47,795,266)	
スウェーデン・ クローナ	3.5% SWEDISH GOVERNMENT BOND 20390330	スウェーデン・クローナ 820,000.000	スウェーデン・クローナ 1,238,405.000	
	3.5% SWEDISH GOVERNMENT BOND 20220601	1,175,000.000	1,319,630.750	
	1.5% SWEDISH GOVERNMENT BOND 20231113	435,000.000	472,253.400	
	2.5% SWEDISH GOVERNMENT BOND 20250512	220,000.000	255,809.400	
	1% SWEDISH GOVERNMENT BOND 20261112	200,000.000	215,306.000	
スウェーデン・クローナ 小計			スウェーデン・クローナ 3,501,404.550 (40,196,124)	
デンマーク・ク ローネ	4.5% DANISH GOVERNMENT BOND 20391115	デンマーク・クローネ 1,051,000.000	デンマーク・クローネ 1,900,554.830	
	3% DANISH GOVERNMENT BOND 20211115	571,000.000	623,800.370	
	1.5% DANISH GOVERNMENT BOND 20231115	370,000.000	403,444.300	
	1.75% DANISH GOVERNMENT BOND 20251115	892,000.000	1,013,472.560	
デンマーク・クローネ 小計			デンマーク・クローネ 3,941,272.060 (65,070,402)	
ノルウェー・ク ローネ	3.75% NORWEGIAN GOVERNMENT BOND 20210525	ノルウェー・クローネ 350,000.000	ノルウェー・クローネ 367,132.500	
	2% NORWEGIAN GOVERNMENT BOND 20230524	300,000.000	307,092.000	
	3% NORWEGIAN GOVERNMENT BOND 20240314	200,000.000	214,650.000	
	1.75% NORWEGIAN GOVERNMENT BOND 20250313	750,000.000	761,227.500	

	1.5% NORWEGIAN GOVERNMENT BOND 20260219	300,000.000	299,238.000	
	1.75% NORWEGIAN GOVERNMENT BOND 20290906	900,000.000	904,158.000	
ノルウェー・クローネ 小計			ノルウェー・クローネ 2,853,498.000 (35,925,540)	
ポーランド・ズ ロチ		ポーランド・ズロチ	ポーランド・ズロチ	
	2.5% Poland Government Bond 20260725	300,000.000	295,965.000	
	2% Poland Government Bond 20210425	180,000.000	181,404.000	
	2.25% Poland Government Bond 20220425	380,000.000	384,126.800	
	5.75% Poland Government Bond 20290425	430,000.000	538,119.200	
	4% Poland Government Bond 20231025	530,000.000	570,211.100	
	3.25% Poland Government Bond 20250725	280,000.000	291,202.800	
ポーランド・ズロチ 小計			ポーランド・ズロチ 2,261,028.900 (64,981,971)	
メキシコ・ペソ		メキシコ・ペソ	メキシコ・ペソ	
	10% Mexican Bonos 20241205	1,950,000.000	2,128,230.000	
	7.5% Mexican Bonos 20270603	4,400,000.000	4,233,548.000	
	8.5% Mexican Bonos 20381118	1,500,000.000	1,500,375.000	
	8% Mexican Bonos 20200611	2,480,000.000	2,481,488.000	
	6.5% Mexican Bonos 20210610	3,800,000.000	3,692,422.000	
	7.75% Mexican Bonos 20310529	1,600,000.000	1,534,720.000	
	7.75% Mexican Bonos 20421113	2,000,000.000	1,844,160.000	
メキシコ・ペソ 小計			メキシコ・ペソ 17,414,943.000 (100,832,520)	
ユーロ		ユーロ	ユーロ	
	2.1% Austria Government Bond 21170920	40,000.000	52,935.600	
	1.6% Belgium Government Bond 20470622	250,000.000	261,462.500	



5.5% GERMAN GOVERNMENT BOND 20310104	470,000.000	770,757.700	
4.75% GERMAN GOVERNMENT BOND 20340704	170,000.000	285,047.500	
4.25% GERMAN GOVERNMENT BOND 20390704	190,000.000	331,192.800	
4.75% GERMAN GOVERNMENT BOND 20400704	116,000.000	217,619.480	
3% GERMAN GOVERNMENT BOND 20200704	750,000.000	781,387.500	
2.25% GERMAN GOVERNMENT BOND 20210904	852,000.000	909,314.040	
2.5% GERMAN GOVERNMENT BOND 20440704	305,000.000	444,747.950	
1.5% GERMAN GOVERNMENT BOND 20230515	145,000.000	157,079.950	
2.5% GERMAN GOVERNMENT BOND 20460815	200,000.000	296,666.000	
1.5% GERMAN GOVERNMENT BOND 20240515	390,000.000	429,081.900	
1% GERMAN GOVERNMENT BOND 20250815	409,000.000	444,722.060	
0.5% GERMAN GOVERNMENT BOND 20260215	400,000.000	422,772.000	
0.5% GERMAN GOVERNMENT BOND 20270815	800,000.000	846,536.000	
5.5% FRENCH GOVERNMENT BOND 20290425	850,000.000	1,288,540.500	
4.75% FRENCH GOVERNMENT BOND 20350425	480,000.000	770,390.400	
4% FRENCH GOVERNMENT BOND 20381025	347,000.000	537,072.720	
4% FRENCH GOVERNMENT BOND 20600425	299,000.000	528,862.230	
3.25% FRENCH GOVERNMENT BOND 20211025	1,085,000.000	1,187,109.350	
2.25% FRENCH GOVERNMENT BOND 20221025	200,000.000	218,836.000	
3.25% FRENCH GOVERNMENT BOND 20450525	350,000.000	509,355.000	

1.75% FRENCH GOVERNMENT BOND 20230525	845,000.000	918,819.200	
2.25% FRENCH GOVERNMENT BOND 20240525	430,000.000	485,409.800	
2.5% FRENCH GOVERNMENT BOND 20300525	33,000.000	40,446.120	
FRENCH GOVERNMENT BOND 20200525	1,216,000.000	1,223,283.840	
1% FRENCH GOVERNMENT BOND 20251125	1,200,000.000	1,287,204.000	
0.5% FRENCH GOVERNMENT BOND 20260525	190,000.000	197,144.000	
1.75% FRENCH GOVERNMENT BOND 20390625	220,000.000	249,651.600	
1% FRENCH GOVERNMENT BOND 20270525	200,000.000	214,590.000	
2% FRENCH GOVERNMENT BOND 20480525	100,000.000	116,394.000	
0.75% FRENCH GOVERNMENT BOND 20280525	350,000.000	366,992.500	
1.25% FRENCH GOVERNMENT BOND 20340525	150,000.000	160,794.000	
5.5% NETHERLANDS GOVERNMENT BOND 20280115	137,000.000	203,294.300	
4% NETHERLANDS GOVERNMENT BOND 20370115	30,000.000	48,084.600	
3.75% NETHERLANDS GOVERNMENT BOND 20420115	150,000.000	251,557.500	
3.25% NETHERLANDS GOVERNMENT BOND 20210715	400,000.000	434,004.000	
2.5% NETHERLANDS GOVERNMENT BOND 20330115	100,000.000	129,115.000	
1.75% NETHERLANDS GOVERNMENT BOND 20230715	464,000.000	507,128.800	
2.75% NETHERLANDS GOVERNMENT BOND 20470115	100,000.000	152,949.000	
0.5% NETHERLANDS GOVERNMENT BOND 20260715	150,000.000	157,308.000	
0.75% NETHERLANDS GOVERNMENT BOND 20270715	200,000.000	213,184.000	

9% ITALIAN GOVERNMENT BOND 20231101	500,000.000	663,400.000	
7.25% ITALIAN GOVERNMENT BOND 20261101	350,000.000	473,560.500	
6.5% ITALIAN GOVERNMENT BOND 20271101	720,000.000	952,884.000	
3.25% ITALIAN GOVERNMENT BOND 20460901	56,000.000	55,093.360	
2.95% ITALIAN GOVERNMENT BOND 20380901	300,000.000	289,746.000	
3% ITALIAN GOVERNMENT BOND 20290801	200,000.000	208,058.000	
5.25% Italy Buoni Poliennali Del Tesoro 20291101	650,000.000	808,320.500	
5% Italy Buoni Poliennali Del Tesoro 20340801	548,000.000	681,328.400	
4% Italy Buoni Poliennali Del Tesoro 20370201	455,000.000	510,428.100	
5% Italy Buoni Poliennali Del Tesoro 20250301	865,000.000	1,015,899.250	
4.5% Italy Buoni Poliennali Del Tesoro 20260301	412,000.000	477,096.000	
5.5% Italy Buoni Poliennali Del Tesoro 20221101	900,000.000	1,032,534.000	
4.75% Italy Buoni Poliennali Del Tesoro 20440901	300,000.000	365,364.000	
3.75% Italy Buoni Poliennali Del Tesoro 20210501	1,300,000.000	1,382,732.000	
3.5% Italy Buoni Poliennali Del Tesoro 20300301	70,000.000	75,670.700	
5.5% Belgium Government Bond 20280328	259,000.000	378,266.910	
5% Belgium Government Bond 20350328	228,000.000	366,551.040	
3.75% Belgium Government Bond 20200928	162,000.000	171,721.620	
4.5% Belgium Government Bond 20260328	450,000.000	589,882.500	
4% Belgium Government Bond 20320328	220,000.000	311,225.200	

3.75% Belgium Government Bond 20450622	133,000.000	204,495.480	
5.4% IRISH TREASURY 20250313	112,000.000	147,589.120	
3.9% IRISH TREASURY 20230320	76,000.000	88,488.320	
2.4% IRISH TREASURY 20300515	180,000.000	214,574.400	
2% IRISH TREASURY 20450218	107,000.000	122,250.710	
6.25% Austria Government Bond 20270715	140,000.000	211,351.000	
3.5% Austria Government Bond 20210915	500,000.000	548,140.000	
4.15% Austria Government Bond 20370315	110,000.000	173,291.800	
4.85% Austria Government Bond 20260315	121,000.000	162,488.480	
3.8% Austria Government Bond 20620126	60,000.000	112,593.000	
3.15% Austria Government Bond 20440620	20,000.000	29,899.000	
1.65% Austria Government Bond 20241021	370,000.000	408,961.000	
4% Finland Government Bond 20250704	161,000.000	203,153.020	
3.5% Finland Government Bond 20210415	220,000.000	237,395.400	
2.75% Finland Government Bond 20280704	100,000.000	123,829.000	
2.625% Finland Government Bond 20420704	70,000.000	97,888.700	
1.6% SPANISH GOVERNMENT BOND 20250430	510,000.000	550,805.100	
1.95% SPANISH GOVERNMENT BOND 20260430	575,000.000	633,379.750	
1.5% SPANISH GOVERNMENT BOND 20270430	160,000.000	170,488.000	
0.05% SPANISH GOVERNMENT BOND 20210131	600,000.000	603,786.000	
2.7% SPANISH GOVERNMENT BOND 20481031	200,000.000	224,594.000	
1.4% SPANISH GOVERNMENT BOND 20280730	320,000.000	335,673.600	

	1.45% SPANISH GOVERNMENT BOND 20290430	200,000.000	209,308.000	
	5.75% SPANISH GOVERNMENT BOND 20320730	210,000.000	325,082.100	
	4.2% SPANISH GOVERNMENT BOND 20370131	500,000.000	700,785.000	
	5.85% SPANISH GOVERNMENT BOND 20220131	606,000.000	707,492.880	
	5.4% SPANISH GOVERNMENT BOND 20230131	255,000.000	308,006.850	
	4.4% SPANISH GOVERNMENT BOND 20231031	439,000.000	525,996.630	
	5.15% SPANISH GOVERNMENT BOND 20441031	300,000.000	489,666.000	
	ユーロ 小計		ユーロ 38,730,057.860 (4,775,028,834)	
南アフリカ・ランド		南アフリカ・ランド	南アフリカ・ランド	
	10.5% REPUBLIC OF SOUTH AFRICA 20261221	1,620,000.000	1,787,184.000	
	6.5% REPUBLIC OF SOUTH AFRICA 20410228	3,400,000.000	2,396,490.000	
	7.75% REPUBLIC OF SOUTH AFRICA 20230228	400,000.000	400,440.000	
	8.75% REPUBLIC OF SOUTH AFRICA 20480228	950,000.000	855,000.000	
	8.25% REPUBLIC OF SOUTH AFRICA 20320331	3,000,000.000	2,741,610.000	
	8.875% REPUBLIC OF SOUTH AFRICA 20350228	800,000.000	750,272.000	
	南アフリカ・ランド 小計		南アフリカ・ランド 8,930,996.000 (68,232,809)	
国債証券 合計			12,541,872,347 [12,541,872,347]	
合計			12,541,872,347 [12,541,872,347]	

(注) 1. 各種通貨毎の小計の欄における ( ) 内の金額は、邦貨換算額であります。

2. 合計欄における [ ] 内の金額は、外貨建有価証券の邦貨換算額の合計額であり、

内数で表示しております。

### 3. 外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入債券 時価比率	合計金額に 対する比率
アメリカ・ドル	国債証券 34銘柄	100%	50.0%
イギリス・ポンド	国債証券 11銘柄	100%	5.4%
オーストラリア・ドル	国債証券 11銘柄	100%	1.8%
カナダ・ドル	国債証券 9銘柄	100%	1.4%
シンガポール・ドル	国債証券 5銘柄	100%	0.4%
スウェーデン・クローナ	国債証券 5銘柄	100%	0.3%
デンマーク・クローネ	国債証券 4銘柄	100%	0.5%
ノルウェー・クローネ	国債証券 6銘柄	100%	0.3%
ポーランド・ズロチ	国債証券 6銘柄	100%	0.5%
メキシコ・ペソ	国債証券 7銘柄	100%	0.8%
ユーロ	国債証券 91銘柄	100%	38.1%
南アフリカ・ランド	国債証券 6銘柄	100%	0.5%

### 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

### 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

「注記表（デリバティブ取引に関する注記）」に記載しております。

### 「新興国債券マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

### 貸借対照表

	2018年5月8日現在	2019年5月8日現在
	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
預金	50,797,846	33,098,807
コール・ローン	23,067,353	21,703,171
国債証券	3,384,433,320	3,769,761,479
派生商品評価勘定	-	20,327
未収利息	39,934,498	43,462,177
前払費用	2,273,500	9,747,844
流動資産合計	3,500,506,517	3,877,793,805

資産合計		3,500,506,517	3,877,793,805
負債の部			
流動負債			
派生商品評価勘定		2,746	-
未払金		32,878,796	-
未払解約金		140,000	7,041,175
その他未払費用		114	768
流動負債合計		33,021,656	7,041,943
負債合計		33,021,656	7,041,943
純資産の部			
元本等			
元本	1	2,751,783,575	2,890,206,001
剰余金			
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		715,701,286	980,545,861
元本等合計		3,467,484,861	3,870,751,862
純資産合計		3,467,484,861	3,870,751,862
負債純資産合計		3,500,506,517	3,877,793,805

## 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	自 2018年5月9日 至 2019年5月8日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券</p> <p>個別法に基づき、時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（但し、売気配相場は使用しない）、又は価格情報会社の提供する価額等で評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	為替予約取引

<p>3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項</p>	<p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として計算日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。</p> <p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p>
-----------------------------------	---

## (貸借対照表に関する注記)

区 分	2018年5月8日現在	2019年5月8日現在
1. 1 期首	2017年5月9日	2018年5月9日
期首元本額	3,665,470,591円	2,751,783,575円
期中追加設定元本額	1,157,344,709円	878,840,290円
期中一部解約元本額	2,071,031,725円	740,417,864円
期末元本額の内訳		
ファンド名		
6 資産(為替ヘッジなし)資		
金拠出用ファンド(適格機関		
投資家専用)		
ダイワ米ドル建て新興国債券	29,296,871円	29,296,871円
ファンドM(FOFs用)(適格		
機関投資家専用)		
新興国債券(為替ヘッジあ	445,461,160円	306,524,347円
り)ファンド(適格機関投資		
家専用)		
スマート・ミックス・Dガー	2,052,866,097円	2,334,394,095円
ド(為替ヘッジなし)		
りそな ダイナミック・アロ	9,220,589円	8,669,297円
ケーション・ファンド	38,093,077円	24,854,876円



堅実バランスファンド - ハ ジメの一步 -	37,483,093円	48,985,890円
DCダイワ8資産アロケー ション・ファンド	14,121円	38,995円
DCダイナミック・アロケー ション・ファンド	5,567,646円	11,444,910円
ダイワ6資産バランス・ファ ンド（Dガード付ノ為替ヘッ ジなし）	133,780,921円	125,996,720円
計	2,751,783,575円	2,890,206,001円
2. 期末日における受益権の総数	2,751,783,575口	2,890,206,001口

## （金融商品に関する注記）

## 金融商品の状況に関する事項

区 分	自 2018年5月9日 至 2019年5月8日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細をデリバティブ取引に関する注記及び附属明細表に記載しております。 これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク（価格変動、為替変動、金利変動等）、信用リスク、流動性リスクであります。 外貨建資産の売買代金等の受取りまたは支払いを目的として、投資信託約款に従って為替予約取引を利用しております。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項 についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。 デリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

## 金融商品の時価等に関する事項

区 分	2019年5月8日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。  (2)デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。  (3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

## （有価証券に関する注記）

## 売買目的有価証券

種 類	2018年5月8日現在	2019年5月8日現在
	当期間の損益に 含まれた評価差額（円）	当期間の損益に 含まれた評価差額（円）
国債証券	207,999,052	23,460,061
合計	207,999,052	23,460,061

（注） 「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から期末日までの期間（2017年5月9日から2018年5月8日まで、及び2018年5月9日から2019年5月8日まで）を指しております。

## （デリバティブ取引に関する注記）

## ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

## 通貨関連

種 類	2018年5月8日 現在				2019年5月8日 現在			
	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)
	(円)	うち 1年超			(円)	うち 1年超		
市場取引以外の 取引  為替予約取引  買 建	13,700,000	-	13,697,254	2,746	13,000,000	-	13,020,327	20,327

アメリカ・ドル	13,700,000	-	13,697,254	2,746	13,000,000	-	13,020,327	20,327
合計	13,700,000	-	13,697,254	2,746	13,000,000	-	13,020,327	20,327

## (注) 1. 時価の算定方法

- (1) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

- (2) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、期末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2. 換算において円未満の端数は切り捨てております。  
3. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

## (1口当たり情報)

	2018年5月8日現在	2019年5月8日現在
1口当たり純資産額	1.2601円	1.3393円
(1万口当たり純資産額)	(12,601円)	(13,393円)

## 附属明細表

## 第1 有価証券明細表

## (1) 株式

該当事項はありません。

## (2) 株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
国債証券	アメリカ・ドル	6.625% Turkey Government International Bond 20450217	アメリカ・ドル 200,000.000	アメリカ・ドル 170,850.000	
		4.25% Turkey Government International Bond 20260414	200,000.000	167,090.000	
		4.875% Turkey Government International Bond 20261009	200,000.000	170,912.000	

6% Turkey Government International Bond 20270325	400,000.000	361,208.000	
5% Brazilian Government International Bond 20450127	400,000.000	366,648.000	
6% Brazilian Government International Bond 20260407	200,000.000	221,102.000	
5.625% Brazilian Government International Bond 20470221	200,000.000	197,524.000	
4.625% Brazilian Government International Bond 20280113	200,000.000	201,052.000	
5% Colombia Government International Bond 20450615	400,000.000	416,000.000	
4.5% Colombia Government International Bond 20260128	200,000.000	210,074.000	
3.875% Colombia Government International Bond 20270425	200,000.000	202,134.000	
4.125% Peruvian Government International Bond 20270825	200,000.000	216,400.000	
6.05% Mexico Government International Bond 20400111	400,000.000	459,400.000	
6.75% Mexico Government International Bond 20340927	830,000.000	1,015,247.700	
3.625% Mexico Government International Bond 20220315	220,000.000	223,850.000	
4.75% Mexico Government International Bond 20440308	560,000.000	550,900.000	
4% Mexico Government International Bond 20231002	350,000.000	360,419.500	
5.55% Mexico Government International Bond 20450121	120,000.000	131,910.000	
4.6% Mexico Government International Bond 20460123	400,000.000	385,700.000	
3.6% Mexico Government International Bond 20250130	400,000.000	400,200.000	
4.125% Mexico Government International Bond 20260121	200,000.000	203,924.000	
4.35% Mexico Government International Bond 20470115	200,000.000	186,550.000	
4.15% Mexico Government International Bond 20270328	200,000.000	202,800.000	

4.6% Mexico Government International Bond 20480210	200,000.000	193,624.000	
9.375% Panama Government International Bond 20290401	164,000.000	239,374.400	
6.7% Panama Government International Bond 20360126	470,000.000	613,115.000	
7.125% Panama Government International Bond 20260129	100,000.000	121,875.000	
4.5% Panama Government International Bond 20470515	200,000.000	211,150.000	
8.75% FED REPUBLIC OF BRAZIL 20250204	33,000.000	41,208.750	
8.25% FED REPUBLIC OF BRAZIL 20340120	589,000.000	753,183.750	
7.125% FED REPUBLIC OF BRAZIL 20370120	80,000.000	94,300.000	
4.875% FED REPUBLIC OF BRAZIL 20210122	320,000.000	330,403.200	
5.625% FED REPUBLIC OF BRAZIL 20410107	300,000.000	301,428.000	
2.625% FED REPUBLIC OF BRAZIL 20230105	200,000.000	193,800.000	
4.25% FED REPUBLIC OF BRAZIL 20250107	400,000.000	406,300.000	
8.28% Argentine Republic International Bond 20331231	170,000.000	174,885.800	
FR 3.75% Argentine Republic International Bond 20381231	470,000.000	258,617.500	
8.28% Argentine Republic International Bond 20331231	70,000.000	74,587.800	
6.875% Argentine Republic International Bond 20210422	450,000.000	383,850.000	
7.5% Argentine Republic International Bond 20260422	750,000.000	576,840.000	
7.625% Argentine Republic International Bond 20460422	250,000.000	179,687.500	
6.625% Argentine Republic International Bond 20280706	1,200,000.000	853,500.000	
7.125% Argentine Republic International Bond 20360706	300,000.000	210,846.000	

5.625% Argentine Republic International Bond 20220126	400,000.000	317,800.000	
6.875% Argentine Republic International Bond 20270126	300,000.000	221,436.000	
5.875% Argentine Republic International Bond 20280111	250,000.000	176,225.000	
6.875% Argentine Republic International Bond 20480111	250,000.000	170,937.500	
8.125% Colombia Government International Bond 20240521	300,000.000	363,075.000	
7.375% Colombia Government International Bond 20370918	500,000.000	651,130.000	
6.125% Colombia Government International Bond 20410118	200,000.000	234,802.000	
4.375% Colombia Government International Bond 20210712	200,000.000	205,850.000	
5.625% Colombia Government International Bond 20440226	200,000.000	223,874.000	
6.55% Peruvian Government International Bond 20370314	100,000.000	134,500.000	
5.625% Peruvian Government International Bond 20501118	300,000.000	384,750.000	
7.35% Peruvian Government International Bond 20250721	200,000.000	250,000.000	
7.75% Ukraine Government International Bond 20210901	100,000.000	99,724.000	
7.75% Ukraine Government International Bond 20230901	110,000.000	106,969.500	
7.75% Ukraine Government International Bond 20240901	200,000.000	192,046.000	
7.75% Ukraine Government International Bond 20270901	400,000.000	371,628.000	
7.375% Ukraine Government International Bond 20320925	200,000.000	177,694.000	
6.75% Romanian Government International Bond 20220207	250,000.000	273,615.000	
4.375% Romanian Government International Bond 20230822	200,000.000	208,458.000	
4.875% Romanian Government International Bond 20240122	80,000.000	85,400.000	

6.125% Romanian Government International Bond 20440122	120,000.000	141,373.200	
5.125% Romanian Government International Bond 20480615	80,000.000	82,281.600	
6.375% Hungary Government International Bond 20210329	140,000.000	149,235.800	
7.625% Hungary Government International Bond 20410329	100,000.000	151,871.000	
5.375% Hungary Government International Bond 20230221	180,000.000	194,994.000	
5.75% Hungary Government International Bond 20231122	700,000.000	778,652.000	
6.625% Croatia Government International Bond 20200714	300,000.000	312,600.000	
5.5% Croatia Government International Bond 20230404	200,000.000	217,100.000	
6% Croatia Government International Bond 20240126	200,000.000	224,462.000	
FR 7.5% Russian Foreign Bond - Eurobond 20300331	301,500.000	335,684.070	
4.5% Russian Foreign Bond - Eurobond 20220404	200,000.000	206,802.000	
5.625% Russian Foreign Bond - Eurobond 20420404	200,000.000	221,260.000	
4.875% Russian Foreign Bond - Eurobond 20230916	400,000.000	422,076.000	
5.875% Russian Foreign Bond - Eurobond 20430916	200,000.000	227,630.000	
4.75% Russian Foreign Bond - Eurobond 20260527	600,000.000	620,874.000	
5.25% Russian Foreign Bond - Eurobond 20470623	800,000.000	822,232.000	
9.5% Philippine Government International Bond 20300202	180,000.000	278,578.800	
7.75% Philippine Government International Bond 20310114	100,000.000	141,407.000	
6.375% Philippine Government International Bond 20320115	500,000.000	644,210.000	
6.375% Philippine Government International Bond 20341023	200,000.000	266,502.000	

5.5% Philippine Government International Bond 20260330	200,000.000	230,774.000	
5% Philippine Government International Bond 20370113	200,000.000	237,224.000	
4.2% Philippine Government International Bond 20240121	200,000.000	212,118.000	
3.95% Philippine Government International Bond 20400120	200,000.000	211,162.000	
3.7% Philippine Government International Bond 20410301	200,000.000	203,880.000	
7.75% Indonesia Government International Bond 20380117	300,000.000	415,560.000	
4.875% Indonesia Government International Bond 20210505	200,000.000	207,084.000	
3.75% Indonesia Government International Bond 20220425	200,000.000	203,344.000	
5.25% Indonesia Government International Bond 20420117	200,000.000	217,322.000	
3.375% Indonesia Government International Bond 20230415	200,000.000	200,792.000	
4.625% Indonesia Government International Bond 20430415	200,000.000	202,634.000	
5.875% Indonesia Government International Bond 20240115	200,000.000	221,356.000	
6.75% Indonesia Government International Bond 20440115	200,000.000	258,918.000	
4.125% Indonesia Government International Bond 20250115	200,000.000	206,460.000	
5.125% Indonesia Government International Bond 20450115	200,000.000	214,780.000	
4.75% Indonesia Government International Bond 20260108	200,000.000	213,330.000	
4.35% Indonesia Government International Bond 20270108	600,000.000	624,252.000	
5.25% Indonesia Government International Bond 20470108	200,000.000	218,778.000	
3.5% Indonesia Government International Bond 20280111	200,000.000	196,870.000	
4.35% Indonesia Government International Bond 20480111	200,000.000	197,276.000	



7% Turkey Government International Bond 20200605	210,000.000	212,112.600	
7.375% Turkey Government International Bond 20250205	360,000.000	355,827.600	
11.875% Turkey Government International Bond 20300115	870,000.000	1,109,284.800	
5.625% Turkey Government International Bond 20210330	200,000.000	197,106.000	
6.75% Turkey Government International Bond 20400530	200,000.000	176,000.000	
5.125% Turkey Government International Bond 20220325	200,000.000	190,750.000	
6.25% Turkey Government International Bond 20220926	200,000.000	195,212.000	
6% Turkey Government International Bond 20410114	400,000.000	326,976.000	
3.25% Turkey Government International Bond 20230323	200,000.000	175,786.000	
4.875% Turkey Government International Bond 20430416	400,000.000	292,788.000	
5.75% Turkey Government International Bond 20240322	200,000.000	187,192.000	
5.875% South Africa Government International 20220530	100,000.000	105,452.000	
5.875% South Africa Government International 20250916	300,000.000	317,178.000	
4.3% South Africa Government International 20281012	200,000.000	187,256.000	
5% South Africa Government International 20461012	400,000.000	354,560.000	
5.875% South Africa Government International 20300622	400,000.000	409,860.000	
アメリカ・ドル 小計		アメリカ・ドル 34,211,466.370 (3,769,761,479)	
国債証券 合計		3,769,761,479 [3,769,761,479]	

合計		3,769,761,479	
		[3,769,761,479]	

- (注) 1. 各種通貨毎の小計の欄における( )内の金額は、邦貨換算額であります。
2. 合計欄における[ ]内の金額は、外貨建有価証券の邦貨換算額の合計額であり、内数で表示しております。
3. 外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入債券 時価比率	合計金額に 対する比率
アメリカ・ドル	国債証券 119銘柄	100%	100%

## 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

「注記表(デリバティブ取引に関する注記)」に記載しております。

### 「国内株式マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

### 貸借対照表

	2018年5月8日現在	2019年5月8日現在
	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	3,699,688,932	3,183,091,177
派生商品評価勘定	138,162,983	5,392
前払金	-	6,777,750
差入委託証拠金	96,300,000	91,980,000
流動資産合計	3,934,151,915	3,281,854,319
資産合計	3,934,151,915	3,281,854,319
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	-	71,291,810
前受金	117,951,250	-
未払解約金	569,500	1,044,200
その他未払費用	37,846	19,134
流動負債合計	118,558,596	72,355,144
負債合計	118,558,596	72,355,144

純資産の部		
元本等		
元本	1	2,207,821,771
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		1,607,771,548
元本等合計		3,815,593,319
純資産合計		3,815,593,319
負債純資産合計		3,934,151,915

## 注記表

## （重要な会計方針に係る事項に関する注記）

区 分	自 2018年5月9日 至 2019年5月8日
デリバティブ取引の評価基準 及び評価方法	先物取引  個別法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の 主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場によっております。

## （貸借対照表に関する注記）

区 分	2018年5月8日現在	2019年5月8日現在
1. 1 期首	2017年5月9日	2018年5月9日
期首元本額	1,522,200,485円	2,207,821,771円
期中追加設定元本額	8,783,138,383円	3,582,939,196円
期中一部解約元本額	8,097,517,097円	3,728,147,082円
期末元本額の内訳		
ファンド名		
6 資産（為替ヘッジなし）資 金拠出用ファンド（適格機関 投資家専用）	9,593,298円	9,593,298円
ダイナミック・アロケーショ ン・ファンド（適格機関投資 家専用）	1,631,716,662円	1,413,480,973円
国内株式ファンド（適格機関 投資家専用）	293,749,325円	355,305,064円
スマート・ミックス・Dガー ド(為替ヘッジあり)	22,981,618円	15,877,486円

スマート・ミックス・Dガード(為替ヘッジなし)	6,901,997円	7,357,317円
スマート・アロケーション・Dガード	1,084,842円	749,905円
りそな ダイナミック・アロケーション・ファンド	33,595,547円	26,287,660円
堅実バランスファンド - ハジメの一步 -	18,811,680円	27,564,707円
DCダイワ8資産アロケーション・ファンド	10,652円	32,932円
DCダイナミック・アロケーション・ファンド	4,922,848円	12,088,110円
ダイワ・ダブルバランス・ファンド(Dガード付/部分為替ヘッジあり)	2,307,926円	2,106,505円
ダイワ6資産バランス・ファンド(Dガード付/為替ヘッジあり)	81,032,259円	85,177,354円
ダイワ6資産バランス・ファンド(Dガード付/為替ヘッジなし)	101,004,644円	106,919,918円
DCスマート・アロケーション・Dガード	108,473円	72,656円
計	2,207,821,771円	2,062,613,885円
2. 期末日における受益権の総数	2,207,821,771口	2,062,613,885口

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の状況に関する事項

区分	自 2018年5月9日 至 2019年5月8日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。

2. 金融商品の内容及びリスク	<p>当ファンドが保有する金融商品の種類は、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細をデリバティブ取引に関する注記に記載しております。</p> <p>これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク（価格変動等）、信用リスク、流動性リスクであります。</p> <p>信託財産の効率的な運用に資することを目的として、投資信託約款に従ってわが国の金融商品取引所（外国の取引所）における株価指数先物取引を利用しております。</p>
3. 金融商品に係るリスク管理体制	<p>複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。</p>
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	<p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。</p> <p>デリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。</p>

## 金融商品の時価等に関する事項

区 分	2019年5月8日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	<p>(1)デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。</p> <p>(2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。</p>

## （有価証券に関する注記）

2018年5月8日現在	2019年5月8日現在
該当事項はありません。	該当事項はありません。

## （デリバティブ取引に関する注記）

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

## 株式関連

	2018年5月8日 現在	2019年5月8日 現在

種類	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)
	(円)	うち 1年超			(円)	うち 1年超		
市場取引								
株価指数								
先物取引								
買建	3,677,338,750	-	3,815,620,000	138,281,250	3,291,240,750	-	3,220,070,000	71,170,750
合計	3,677,338,750	-	3,815,620,000	138,281,250	3,291,240,750	-	3,220,070,000	71,170,750

## (注) 1. 時価の算定方法

株価指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として期末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、期末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2. 株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

## (1口当たり情報)

	2018年5月8日現在	2019年5月8日現在
1口当たり純資産額	1.7282円	1.5560円
(1万口当たり純資産額)	(17,282円)	(15,560円)

## 附属明細表

## 第1 有価証券明細表

## (1) 株式

該当事項はありません。

## (2) 株式以外の有価証券

該当事項はありません。

## 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

「注記表(デリバティブ取引に関する注記)」に記載しております。

## 「先進国株式マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

## 貸借対照表

	2018年5月8日現在	2019年5月8日現在
	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
預金	29,521,780	1,454,482
コール・ローン	706,506,460	590,228,303
投資信託受益証券	2,157,967,829	2,039,271,160
投資証券	314,839,054	260,784,596
派生商品評価勘定	22,654,871	5,688,743
差入委託証拠金	457,721,382	240,861,457
流動資産合計	3,689,211,376	3,138,288,741
資産合計	3,689,211,376	3,138,288,741
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	13,874,618	20,453,968
未払解約金	510,200	2,300,300
その他未払費用	6,688	2,054
流動負債合計	14,391,506	22,756,322
負債合計	14,391,506	22,756,322
純資産の部		
元本等		
元本	1 2,117,963,514	1,694,901,891
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	1,556,856,356	1,420,630,528
元本等合計	3,674,819,870	3,115,532,419
純資産合計	3,674,819,870	3,115,532,419
負債純資産合計	3,689,211,376	3,138,288,741

## 注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

区 分	自 2018年5月9日 至 2019年5月8日
-----	----------------------------

<p>1. 有価証券の評価基準及び評価方法</p>	<p>(1)投資信託受益証券</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、外国金融商品市場又は店頭市場における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p> <p>(2)投資証券</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、外国金融商品市場又は店頭市場における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
<p>2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法</p>	<p>(1)先物取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場によっております。</p> <p>(2)為替予約取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として計算日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。</p>
<p>3. 収益及び費用の計上基準</p>	<p>受取配当金</p> <p>原則として、投資信託受益証券及び投資証券の配当落ち日において、その金額が確定している場合には当該金額を計上し、未だ確定していない場合には入金日基準で計上しております。</p>



4. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p>
----------------------------	---

## （貸借対照表に関する注記）

区 分	2018年5月8日現在	2019年5月8日現在
1. 1 期首	2017年5月9日	2018年5月9日
期首元本額	1,333,937,289円	2,117,963,514円
期中追加設定元本額	8,786,600,656円	3,156,480,567円
期中一部解約元本額	8,002,574,431円	3,579,542,190円
期末元本額の内訳		
ファンド名		
6 資産（為替ヘッジなし）資金 拠出用ファンド（適格機関投資家専用）	9,460,375円	9,460,375円
ダイナミック・アロケーション・ ファンド（適格機関投資家専用）	1,652,039,754円	1,229,861,843円
先進国株式ファンド（適格機関 投資家専用）	292,722,356円	301,168,097円
スマート・ミックス・Dガード （為替ヘッジなし）	6,889,508円	6,199,851円
りそな ダイナミック・アロ ケーション・ファンド	33,733,517円	22,758,241円
堅実バランスファンド - ハ ジメの一步 -	18,600,706円	23,483,197円
DCダイワ8資産アロケー ション・ファンド	10,419円	28,045円
DCダイナミック・アロケー ション・ファンド	4,950,971円	10,441,763円

ダイワ6資産バランス・ファンド(Dガード付/為替ヘッジなし)	99,555,908円	91,500,479円
計	2,117,963,514円	1,694,901,891円
2. 期末日における受益権の総数	2,117,963,514口	1,694,901,891口

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の状況に関する事項

区 分	自 2018年5月9日 至 2019年5月8日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細をデリバティブ取引に関する注記及び附属明細表に記載しております。 これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク(価格変動、為替変動等)、信用リスク、流動性リスクであります。 信託財産の効率的な運用に資することを目的として、投資信託約款に従ってわが国の金融商品取引所(外国の取引所)における株価指数先物取引を利用しております。また、信託財産の効率的な運用に資すること、および外貨建資産の売買代金等の受取りまたは支払いを目的として、投資信託約款に従って為替予約取引を利用しております。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項 についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。 デリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

## 金融商品の時価等に関する事項

区 分	2019年5月8日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。  (2)デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。  (3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

## （有価証券に関する注記）

## 売買目的有価証券

種 類	2018年5月8日現在	2019年5月8日現在
	当期間の損益に 含まれた評価差額（円）	当期間の損益に 含まれた評価差額（円）
投資信託受益証券	952,622	102,894,634
投資証券	3,396,054	3,365,539
合計	4,348,676	106,260,173

（注） 「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から期末日までの期間（2017年5月9日から2018年5月8日まで、及び2018年5月9日から2019年5月8日まで）を指しております。

## （デリバティブ取引に関する注記）

## ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

## 1. 株式関連

種 類	2018年5月8日 現在				2019年5月8日 現在			
	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)
	(円)	うち 1年超			(円)	うち 1年超		
市場取引								
株価指数								
先物取引								
買 建	1,189,849,437	-	1,205,949,455	16,100,018	824,035,596	-	818,134,650	5,900,946

合計	1,189,849,437	-	1,205,949,455	16,100,018	824,035,596	-	818,134,650	5,900,946

## (注) 1. 時価の算定方法

株価指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として期末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、期末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2. 株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。また契約額等及び時価の邦貨換算は期末日の対顧客電信売買相場の仲値で行っております。
4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

## 2. 通貨関連

種 類	2018年5月8日 現在				2019年5月8日 現在			
	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)
	(円)	うち 1年超			(円)	うち 1年超		
市場取引以外の 取引								
為替予約取引								
買 建	705,565,396	-	698,245,631	7,319,765	588,924,057	-	580,059,778	8,864,279
アメリカ・ドル	328,818,110	-	328,701,930	116,180	406,758,531	-	401,311,768	5,446,763
ユーロ	376,747,286	-	369,543,701	7,203,585	182,165,526	-	178,748,010	3,417,516
合計	705,565,396	-	698,245,631	7,319,765	588,924,057	-	580,059,778	8,864,279

## (注) 1. 時価の算定方法

- (1) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。

- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

(2) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、期末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2. 換算において円未満の端数は切り捨てております。
3. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報)

	2018年5月8日現在	2019年5月8日現在
1口当たり純資産額	1.7351円	1.8382円
(1万口当たり純資産額)	(17,351円)	(18,382円)

## 附属明細表

### 第1 有価証券明細表

#### (1) 株式

該当事項はありません。

#### (2) 株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
投資信託 受益証券	アメリカ・ドル	ISHARES CORE S&P 500 ETF	49,393.000	14,319,524.630	
		アメリカ・ドル 小計		14,319,524.630	
	ユーロ	ISHARES STOXX EUROPE 600 DE	98,407.000	3,742,418.210	
		ユーロ 小計		3,742,418.210	
投資信託受益証券 合計				2,039,271,160	
				[2,039,271,160]	
投資証券	アメリカ・ドル	ISHARES MSCI PACIFIC EX JAPA	28,597	1,310,314.540	
		ISHARES MSCI CANADA ETF	37,687	1,056,366.610	
	アメリカ・ドル 小計			2,366,681.150	
投資証券 合計				260,784,596	

		[260,784,596]	
合計		2,300,055,756	[2,300,055,756]

投資信託受益証券及び投資証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

- (注) 1. 各種通貨毎の小計の欄における( )内の金額は、邦貨換算額であります。  
 2. 合計欄における[ ]内の金額は、外貨建有価証券の邦貨換算額の合計額であり、内数で表示しております。  
 3. 外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入 投資信託 受益証券 時価比率	組入 投資証券 時価比率	合計金額に 対する比率	
アメリカ・ドル	投資信託 受益証券	1銘柄	85.8%	14.2%	79.9%
	投資証券	2銘柄			
ユーロ	投資信託 受益証券	1銘柄	100%	-%	20.1%

## 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

「注記表(デリバティブ取引に関する注記)」に記載しております。

「新興国株式マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

## 貸借対照表

	2018年5月8日現在	2019年5月8日現在
	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
預金	25,673,816	13,202,755
コール・ローン	23,647,629	11,741,156
投資証券	336,790,670	755,803,072
派生商品評価勘定	-	3,059
未収配当金	61,867	-
差入委託証拠金	413,913,763	34,694,967

流動資産合計		800,087,745	815,445,009
資産合計		800,087,745	815,445,009
負債の部			
流動負債			
派生商品評価勘定		34,552,787	561,969
未払金		-	1,203,111
未払解約金		47,800	21,200
その他未払費用		210	69
流動負債合計		34,600,797	1,786,349
負債合計		34,600,797	1,786,349
純資産の部			
元本等			
元本	1	553,274,113	622,451,505
剰余金			
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		212,212,835	191,207,155
元本等合計		765,486,948	813,658,660
純資産合計		765,486,948	813,658,660
負債純資産合計		800,087,745	815,445,009

## 注記表

## （重要な会計方針に係る事項に関する注記）

区 分	自 2018年5月9日 至 2019年5月8日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>(1)株式</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、外国金融商品市場又は店頭市場における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p> <p>(2)投資証券</p>

	<p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、外国金融商品市場又は店頭市場における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認められた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認められた価額で評価しております。</p>
<p>2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法</p>	<p>(1)先物取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場によっております。</p> <p>(2)為替予約取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として計算日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。</p>
<p>3. 収益及び費用の計上基準</p>	<p>受取配当金</p> <p>原則として、株式及び投資証券の配当落ち日において、その金額が確定している場合には当該金額を計上し、未だ確定していない場合には入金日基準で計上しております。</p>
<p>4. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項</p>	<p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p>



## (貸借対照表に関する注記)

区 分	2018年5月8日現在	2019年5月8日現在
1. 1 期首	2017年5月9日	2018年5月9日
期首元本額	5,471,171,975円	553,274,113円
期中追加設定元本額	484,815,524円	331,484,414円
期中一部解約元本額	5,402,713,386円	262,307,022円
期末元本額の内訳		
ファンド名		
6 資産(為替ヘッジなし)資 金拠出用ファンド(適格機 関投資家専用)	9,900,000円	9,900,000円
新興国株式ファンド(適格機 関投資家専用)	353,355,428円	413,017,167円
スマート・ミックス・Dガー ド(為替ヘッジなし)	8,463,058円	8,480,066円
りそな ダイナミック・アロ ケーション・ファンド	32,565,599円	23,523,894円
堅実バランスファンド - ハ ジメの一步 -	22,648,192円	32,016,440円
DCダイワ8資産アロケー ション・ファンド	12,603円	38,095円
DCダイナミック・アロケー ション・ファンド	4,784,793円	10,956,279円
ダイワ6資産バランス・ファ ンド(Dガード付/為替ヘッ ジなし)	121,544,440円	124,519,564円
計	553,274,113円	622,451,505円
2. 期末日における受益権の総数	553,274,113口	622,451,505口

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の状況に関する事項

区 分	自 2018年5月9日 至 2019年5月8日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。

2. 金融商品の内容及びリスク	<p>当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細をデリバティブ取引に関する注記及び附属明細表に記載しております。</p> <p>これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク（価格変動、為替変動等）、信用リスク、流動性リスクであります。</p> <p>信託財産の効率的な運用に資することを目的として、投資信託約款に従ってわが国の金融商品取引所（外国の取引所）における株価指数先物取引を利用しております。また、外貨建資産の売買代金等の受取りまたは支払いを目的として、投資信託約款に従って為替予約取引を利用しております。</p>
3. 金融商品に係るリスク管理体制	<p>複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。</p>
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	<p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。</p> <p>デリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。</p>

## 金融商品の時価等に関する事項

区 分	2019年5月8日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	<p>金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p>
2. 金融商品の時価の算定方法	<p>(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。</p> <p>(2)デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。</p> <p>(3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。</p>

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種 類	2018年5月8日現在	2019年5月8日現在
	当期間の損益に 含まれた評価差額(円)	当期間の損益に 含まれた評価差額(円)
株式	9,327,852	0
投資証券	10,794,135	26,718,684
合計	1,466,283	26,718,684

(注) 「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から期末日までの期間(2017年5月9日から2018年5月8日まで、及び2018年5月9日から2019年5月8日まで)を指しております。

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

### 1. 株式関連

種 類	2018年5月8日 現在				2019年5月8日 現在			
	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)
	(円)	うち 1年超			(円)	うち 1年超		
市場取引								
株価指数 先物取引								
買 建	460,378,361	-	425,825,574	34,552,787	58,042,582	-	57,480,613	561,969
合計	460,378,361	-	425,825,574	34,552,787	58,042,582	-	57,480,613	561,969

(注) 1. 時価の算定方法

株価指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として期末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、期末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2. 株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。また契約額等及び時価の邦貨換算は期末日の対顧客電信売買相場の仲値で行っております。
4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

### 2. 通貨関連

種 類	2018年5月8日 現在				2019年5月8日 現在			
	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)
	(円)	うち 1年超			(円)	うち 1年超		

		1年超				1年超		
市場取引以外の取引								
為替予約取引								
買建	-	-	-	-	7,692,041	-	7,695,100	3,059
アメリカ・ドル	-	-	-	-	7,692,041	-	7,695,100	3,059
合計	-	-	-	-	7,692,041	-	7,695,100	3,059

## (注) 1. 時価の算定方法

- (1) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

- (2) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、期末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2. 換算において円未満の端数は切り捨てております。

3. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

## (1口当たり情報)

	2018年5月8日現在	2019年5月8日現在
1口当たり純資産額	1.3836円	1.3072円
(1万口当たり純資産額)	(13,836円)	(13,072円)

## 附属明細表

## 第1 有価証券明細表

## (1) 株式

通貨	銘柄	株式数	評価額		備考
			単価	金額	
香港・ドル		株	香港・ドル	香港・ドル	

	HANERGY THIN FILM POWER GROU	172,000	0.000	0.000	
	CHINA HUIZHAN DAIRY HOLDINGS	49,000	0.000	0.000	
香港・ドル	小計			香港・ドル 0.000 (0)	
合計				0 [0]	

## (2) 株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
投資証券	アメリカ・ドル	ISHARES CORE MSCI EMERGING	134,150	アメリカ・ドル 6,859,089.500	
	アメリカ・ドル	小計		アメリカ・ドル 6,859,089.500 (755,803,072)	
投資証券	合計			755,803,072 [755,803,072]	
合計				755,803,072 [755,803,072]	

投資証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

- (注) 1. 各種通貨毎の小計の欄における( )内の金額は、邦貨換算額であります。  
2. 合計欄における[ ]内の金額は、外貨建有価証券の邦貨換算額の合計額であり、内数で表示しております。  
3. 外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入株式 時価比率	組入 投資証券 時価比率	合計金額に 対する比率
アメリカ・ドル	投資証券 1銘柄	-%	100%	100%
香港・ドル	株式 2銘柄	100%	-%	0%

第2 信用取引契約残高明細表  
該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表  
「注記表(デリバティブ取引に関する注記)」に記載しております。

## 「国内REITマザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

## 貸借対照表

	2018年5月8日現在	2019年5月8日現在
	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	71,231,947	75,764,699
投資証券	2 3,673,058,750	3,104,998,510
派生商品評価勘定	4,689,600	2,184,600
未収入金	702,505	-
未収配当金	25,032,590	21,994,298
流動資産合計	3,774,715,392	3,204,942,107
資産合計	3,774,715,392	3,204,942,107
負債の部		
流動負債		
前受金	4,195,000	2,540,000
未払金	9,098,376	2,911,727
未払解約金	557,400	110,500
その他未払費用	5,505	2,640
流動負債合計	13,856,281	5,564,867
負債合計	13,856,281	5,564,867
純資産の部		
元本等		
元本	1 2,743,609,976	2,073,541,554
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	1,017,249,135	1,125,835,686
元本等合計	3,760,859,111	3,199,377,240
純資産合計	3,760,859,111	3,199,377,240
負債純資産合計	3,774,715,392	3,204,942,107

## 注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

区 分	自 2018年5月9日 至 2019年5月8日
-----	----------------------------

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>投資証券</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	<p>先物取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場によっております。</p>
3. 収益及び費用の計上基準	<p>受取配当金</p> <p>原則として、投資証券の配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。</p>

## （貸借対照表に関する注記）

区 分	2018年5月8日現在	2019年5月8日現在
1. 1 期首	2017年5月9日	2018年5月9日
期首元本額	2,064,365,801円	2,743,609,976円
期中追加設定元本額	14,961,498,170円	3,692,957,969円
期中一部解約元本額	14,282,253,995円	4,363,026,391円
期末元本額の内訳		
ファンド名		
国内REIT資金拠出用ファンド（適格機関投資家専用）	19,724,123円	19,663,668円
ダイナミック・アロケーション・ファンド（適格機関投資家専用）	2,068,989,915円	1,407,773,531円
国内REITファンド（適格機関投資家専用）	568,043,375円	563,928,300円
りそな ダイナミック・アロケーション・ファンド	44,680,351円	26,634,715円
堅実バランスファンド - ハジメの一步 -	35,613,211円	43,344,731円

	DCダイワ8資産アロケーション・ファンド	13,550円	34,492円
	DCダイナミック・アロケーション・ファンド	6,545,451円	12,162,117円
計		2,743,609,976円	2,073,541,554円
2.	期末日における受益権の総数	2,743,609,976口	2,073,541,554口
3.	2 差入委託証拠金代用有価証券	先物取引に係る差入委託証拠金代用有価証券として以下のとおり差入を行っておりません。 投資証券 7,510,000円	先物取引に係る差入委託証拠金代用有価証券として以下のとおり差入を行っておりません。 投資証券 8,301,000円

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の状況に関する事項

区 分	自 2018年5月9日 至 2019年5月8日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細をデリバティブ取引に関する注記及び附属明細表に記載しております。 これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク（価格変動等）、信用リスク、流動性リスクであります。 信託財産の効率的な運用に資することを目的として、投資信託約款に従ってわが国の金融商品取引所（外国の取引所）における不動産投信指数先物取引を利用しております。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。 デリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。



## 金融商品の時価等に関する事項

区 分	2019年5月8日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。  (2)デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。  (3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

## （有価証券に関する注記）

## 売買目的有価証券

種 類	2018年5月8日現在	2019年5月8日現在
	当期間の損益に 含まれた評価差額（円）	当期間の損益に 含まれた評価差額（円）
投資証券	98,909,022	67,341,741
合計	98,909,022	67,341,741

（注） 「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から期末日までの期間（2017年5月9日から2018年5月8日まで、及び2018年5月9日から2019年5月8日まで）を指しております。

## （デリバティブ取引に関する注記）

## ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

## 不動産投信関連

種 類	2018年5月8日 現在				2019年5月8日 現在			
	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)
	(円)	うち 1年超			(円)	うち 1年超		
市場取引								
不動産投信 指数先物取引								
買 建	82,180,000	-	86,875,000	4,695,000	91,810,000	-	94,000,000	2,190,000

合計	82,180,000	-	86,875,000	4,695,000	91,810,000	-	94,000,000	2,190,000

## (注) 1. 時価の算定方法

不動産投信指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として期末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、期末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2. 不動産投信指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

## (1口当たり情報)

	2018年5月8日現在	2019年5月8日現在
1口当たり純資産額	1.3708円	1.5430円
(1万口当たり純資産額)	(13,708円)	(15,430円)

## 附属明細表

## 第1 有価証券明細表

## (1) 株式

該当事項はありません。

## (2) 株式以外の有価証券

種 類	銘 柄	券面総額	評価額 (円)	備考
投資証券	エスコンジャパンリート	34	3,474,800	
	サンケイリアルエステート	33	3,653,100	
	日本アコモデーションファンド投資法人	110	62,700,000	
	M C U B S M i d C i t y 投資法人	374	37,848,800	
	森ヒルズリート	380	56,354,000	
	産業ファンド	386	49,446,600	
	アドバンス・レジデンス	323	100,453,000	
	ケネディクス・レジデンシャル・ネクスト投資法人	205	37,084,500	
	A P I 投資法人	174	79,779,000	
	G L P 投資法人	822	100,612,800	
	コンフォリア・レジデンシャル	138	41,027,400	
	日本プロロジスリート	445	106,221,500	
	星野リゾート・リート	50	26,850,000	
	ONEリート投資法人	48	13,118,400	

イオンリート投資	340	45,220,000	
ヒューリックリート投資法	268	48,213,200	
日本リート投資法人	107	44,405,000	
インベスコ・オフィス・Jリート	1,966	33,343,360	
日本ヘルスケア投資法	15	2,569,500	
積水ハウス・リート投資	856	69,764,000	
トーセイ・リート投資法人	64	7,392,000	
ケネディクス商業リート	122	32,647,200	
ヘルスケア&メディカル投資	69	7,859,100	
サムティ・レジデンシャル	66	6,672,600	
野村不動産マスターF	1,032	167,287,200	
いちごホテルリート投資	58	7,429,800	
ラサールロジポート投資	250	29,650,000	
スターアジア不動産投	103	11,196,100	
マリモ地方創生リート	29	3,277,000	
三井不ロジパーク	80	28,480,000	
大江戸温泉リート	54	4,687,200	
さくら総合リート	72	6,264,000	
投資法人みらい	357	17,403,750	
森トラスト・ホテルリート投	78	10,569,000	
三菱地所物流REIT	35	9,044,000	
CREロジスティクスファンド	33	3,765,300	
ザイマックス・リート	31	3,682,800	
タカラレーベン不動産投	50	4,665,000	
伊藤忠アドバンスロジ	51	5,094,900	
日本ビルファンド	321	231,120,000	
ジャパンリアルエステイト	332	204,512,000	
日本リテールファンド	627	131,670,000	
オリックス不動産投資	661	129,027,200	
日本プライムリアルティ	210	93,450,000	
プレミア投資法人	315	43,627,500	
東急リアル・エステート	222	39,671,400	
グローバル・ワン不動産投資法人	229	29,472,300	
ユナイテッド・アーバン投資法人	731	129,240,800	
森トラスト総合リート	237	39,318,300	
インヴィンシブル投資法人	1,144	62,691,200	
フロンティア不動産投資	113	51,923,500	
平和不動産リート	207	26,144,100	
日本ロジスティクスファンド投資法人	217	52,557,400	
福岡リート投資法人	172	29,601,200	

ケネディクス・オフィス投資法人	103	77,971,000	
いちごオフィスリート投資法人	275	27,802,500	
大和証券オフィス投資法人	77	59,213,000	
阪急阪神リート投資法人	149	22,081,800	
スタートプロシード投資法人	52	9,006,400	
大和ハウスリート投資法人	445	112,229,000	
ジャパン・ホテル・リート投資法人	1,068	94,197,600	
日本賃貸住宅投資法人	373	32,189,900	
ジャパンエクセレント投資法人	297	47,074,500	
投資証券 合計		3,104,998,510	
合計		3,104,998,510	

投資証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

(注) 先物取引に係る差入委託証拠金代用有価証券として以下の有価証券が差し入れられております。

野村不動産マスターF	10口	日本ビルファンド	5口
ジャパンリアルエステイト	5口		

## 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

「注記表(デリバティブ取引に関する注記)」に記載しております。

「先進国REITマザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

## 貸借対照表

	2018年5月8日現在	2019年5月8日現在
	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
預金	21,208,721	3,296,244
コール・ローン	68,566,393	80,708,486
投資信託受益証券	-	1,259,459,799
投資証券	3,700,418,204	1,817,666,136
派生商品評価勘定	2,766,013	659,462
未収入金	586,263	221,566
未収配当金	5,219,052	4,445,815

差入委託証拠金		15,467,037	30,529,075
流動資産合計		3,814,231,683	3,196,986,583
資産合計		3,814,231,683	3,196,986,583
負債の部			
流動負債			
派生商品評価勘定		331,709	532,386
未払金		80,293	780,925
未払解約金		1,276,700	32,900
その他未払費用		2,057	537
流動負債合計		1,690,759	1,346,748
負債合計		1,690,759	1,346,748
純資産の部			
元本等			
元本	1	2,619,799,668	1,939,346,316
剰余金			
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		1,192,741,256	1,256,293,519
元本等合計		3,812,540,924	3,195,639,835
純資産合計		3,812,540,924	3,195,639,835
負債純資産合計		3,814,231,683	3,196,986,583

## 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	自 2018年5月9日 至 2019年5月8日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>(1)投資信託受益証券</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、外国金融商品市場又は店頭市場における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認められた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認められた価額で評価しております。</p>

	<p>(2)投資証券</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、外国金融商品市場又は店頭市場における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
<p>2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法</p>	<p>(1)先物取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場によっております。</p> <p>(2)為替予約取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として計算日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。</p>
<p>3. 収益及び費用の計上基準</p>	<p>受取配当金</p> <p>原則として、投資信託受益証券及び投資証券の配当落ち日において、その金額が確定している場合には当該金額を計上し、未だ確定していない場合には入金日基準で計上しております。</p>
<p>4. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項</p>	<p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p>

## (貸借対照表に関する注記)

区 分	2018年5月8日現在	2019年5月8日現在
1. 1 期首	2017年5月9日	2018年5月9日
期首元本額	1,712,907,275円	2,619,799,668円
期中追加設定元本額	10,476,877,919円	3,237,615,714円
期中一部解約元本額	9,569,985,526円	3,918,069,066円
期末元本額の内訳		
ファンド名		
先進国REIT(為替ヘッジなし)資金拠出用ファンド(適格機関投資家専用)	19,706,282円	19,649,023円
ダイナミック・アロケーション・ファンド(適格機関投資家専用)	1,797,947,484円	1,200,382,101円
先進国REITファンド(適格機関投資家専用)	550,108,139円	520,465,545円
りそなダイナミック・アロケーション・ファンド	36,908,868円	22,486,816円
堅実バランスファンド - ハジメの一步 -	34,129,642円	39,147,151円
DCダイワ8資産アロケーション・ファンド	12,730円	31,267円
DCダイナミック・アロケーション・ファンド	5,366,804円	10,323,920円
ダイワ外国3資産アロケーション・ファンド(部分為替ヘッジあり)	175,619,719円	126,860,493円
計	2,619,799,668円	1,939,346,316円
2. 期末日における受益権の総数	2,619,799,668口	1,939,346,316口

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の状況に関する事項

区 分	自 2018年5月9日 至 2019年5月8日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。

2. 金融商品の内容及びリスク	<p>当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細をデリバティブ取引に関する注記及び附属明細表に記載しております。</p> <p>これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク（価格変動、為替変動等）、信用リスク、流動性リスクであります。</p> <p>信託財産の効率的な運用に資することを目的として、投資信託約款に従ってわが国の金融商品取引所（外国の取引所）における不動産投信指数先物取引を利用しております。また、外貨建資産の売買代金等の受取りまたは支払いを目的として、投資信託約款に従って為替予約取引を利用しております。</p>
3. 金融商品に係るリスク管理体制	<p>複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。</p>
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	<p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。</p> <p>デリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。</p>

## 金融商品の時価等に関する事項

区 分	2019年5月8日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	<p>(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。</p> <p>(2)デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。</p> <p>(3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。</p>

(有価証券に関する注記)



## 売買目的有価証券

種 類	2018年5月8日現在	2019年5月8日現在
	当期間の損益に 含まれた評価差額（円）	当期間の損益に 含まれた評価差額（円）
投資信託受益証券	-	25,536,125
投資証券	3,320,939	101,897,703
合計	3,320,939	127,433,828

（注） 「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から期末日までの期間（2017年5月9日から2018年5月8日まで、及び2018年5月9日から2019年5月8日まで）を指しております。

（デリバティブ取引に関する注記）

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

## 1. 不動産投信関連

種 類	2018年5月8日 現在				2019年5月8日 現在			
	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)
	(円)	うち 1年超			(円)	うち 1年超		
市場取引								
不動産投信 指数先物取引								
買 建	93,279,814	-	96,045,827	2,766,013	107,714,259	-	108,170,424	456,165
合計	93,279,814	-	96,045,827	2,766,013	107,714,259	-	108,170,424	456,165

（注） 1. 時価の算定方法

不動産投信指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として期末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、期末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2. 不動産投信指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。また契約額等及び時価の邦貨換算は期末日の対顧客電信売買相場の仲値で行っております。
4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

## 2. 通貨関連

種 類	2018年5月8日 現在			2019年5月8日 現在		
	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益

	(円)	うち 1年超	(円)	(円)	(円)	うち 1年超	(円)	(円)
市場取引以外の取引								
為替予約取引								
買建	51,115,249	-	50,783,540	331,709	68,272,989	-	67,943,900	329,089
アメリカ・ドル	13,855,001	-	13,804,900	50,101	45,260,859	-	45,071,300	189,559
イギリス・ポンド	-	-	-	-	4,351,950	-	4,316,100	35,850
オーストラリア・ドル	12,333,525	-	12,261,000	72,525	-	-	-	-
カナダ・ドル	12,761,580	-	12,666,000	95,580	-	-	-	-
シンガポール・ドル	-	-	-	-	4,052,860	-	4,036,500	16,360
ニュージーランド・ドル	7,674,351	-	7,633,000	41,351	14,607,320	-	14,520,000	87,320
ユーロ	4,490,792	-	4,418,640	72,152	-	-	-	-
合計	51,115,249	-	50,783,540	331,709	68,272,989	-	67,943,900	329,089

## (注) 1. 時価の算定方法

- (1) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

- (2) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、期末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2. 換算において円未満の端数は切り捨てております。
3. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報)

	2018年5月8日現在	2019年5月8日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	1.4553円 (14,553円)	1.6478円 (16,478円)

## 附属明細表

## 第1 有価証券明細表

## (1) 株式

該当事項はありません。

## (2) 株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
投資信託 受益証券	アメリカ・ドル	VANGUARD REAL ESTATE ETF	133,200.000	11,429,892.000	
	アメリカ・ドル	小計		11,429,892.000 (1,259,459,799)	
投資信託受益証券 合計				1,259,459,799 [1,259,459,799]	
投資証券	アメリカ・ドル	URBAN EDGE PROPERTIES	7,500	135,150.000	
		SIMON PROPERTY GROUP INC	3,900	678,717.000	
		BOSTON PROPERTIES INC	2,500	328,950.000	
		VORNADO REALTY TRUST	3,400	226,508.000	
		EQUITY RESIDENTIAL	5,600	418,712.000	
		HOST HOTELS & RESORTS INC	11,800	228,448.000	
		CYRUSONE INC	2,100	125,244.000	
		KIMCO REALTY CORP	9,000	161,640.000	
		PARK HOTELS & RESORTS INC	5,000	155,950.000	
		INVITATION HOMES INC	6,500	159,965.000	
		INNOVATIVE INDUSTRIAL PROPER	600	47,694.000	
		ESSENTIAL PROPERTIES REALTY	8,400	172,032.000	
		REXFORD INDUSTRIAL REALTY IN	5,500	205,920.000	
		VENTAS INC	5,300	323,141.000	
		GEO GROUP INC/THE	3,500	71,925.000	
		BRIXMOR PROPERTY GROUP INC	7,700	136,906.000	
		OFFICE PROPERTIES INCOME TRU	2,425	65,208.250	
IRON MOUNTAIN INC	4,900	151,214.000			
SUN COMMUNITIES INC	2,500	304,600.000			

	PROLOGIS INC	9,400	698,608.000	
	ALEXANDRIA REAL ESTATE EQUIT	2,300	320,873.000	
	ESSEX PROPERTY TRUST INC	1,000	278,910.000	
	WELLTOWER INC	4,900	369,362.000	
	HCP INC	8,500	253,300.000	
	HOSPITALITY PROPERTIES TRUST	7,100	183,819.000	
	EQUITY COMMONWEALTH	11,200	357,280.000	
	LEXINGTON REALTY TRUST	22,900	207,016.000	
	EQUITY LIFESTYLE PROPERTIES	2,600	301,600.000	
	PUBLIC STORAGE	1,900	422,997.000	
	SL GREEN REALTY CORP	2,000	169,120.000	
	AGREE REALTY CORP	4,500	292,590.000	
	OMEGA HEALTHCARE INVESTORS	4,700	164,735.000	
	DIGITAL REALTY TRUST INC	2,400	281,808.000	
	EXTRA SPACE STORAGE INC	2,400	249,984.000	
アメリカ・ドル 小計			アメリカ・ドル 8,649,926.250 (953,135,373)	
イギリス・ポンド	LAND SECURITIES GROUP PLC	42,990	395,937.900	
	UNITE GROUP PLC	39,720	374,956.800	
	BRITISH LAND CO PLC	60,380	361,193.160	
イギリス・ポンド 小計			イギリス・ポンド 1,132,087.860 (163,020,652)	
オーストラリア・ドル	SCENTRE GROUP	208,480	769,291.200	
	MIRVAC GROUP	189,280	537,555.200	
	GOODMAN GROUP	67,960	887,557.600	
	CHARTER HALL GROUP	57,010	572,380.400	
オーストラリア・ドル 小計			オーストラリア・ドル 2,766,784.400 (213,789,431)	
カナダ・ドル	SMARTCENTRES REAL ESTATE INV	12,800	431,360.000	
	H&R REAL ESTATE INV-REIT UTS	23,000	529,000.000	
カナダ・ドル 小計			カナダ・ドル 960,360.000	

			(78,538,241)	
シンガポール・ドル			シンガポール・ドル	
	ASCENDAS REAL ESTATE INV TRT	250,900	745,173.000	
	CAPITALAND MALL TRUST	242,200	593,390.000	
シンガポール・ドル 小計			シンガポール・ドル 1,338,563.000 (108,276,361)	
ユーロ			ユーロ	
	UNIBAIL-RODAMCO-WESTFIELD	4,440	664,002.000	
	COVIVIO	3,950	384,137.500	
	COFINIMMO	3,350	384,580.000	
	MERLIN PROPERTIES SOCIMI SA	21,500	263,805.000	
ユーロ 小計			ユーロ 1,696,524.500 (209,164,506)	
香港・ドル			香港・ドル	
	LINK REIT	69,000	6,534,300.000	
香港・ドル 小計			香港・ドル 6,534,300.000 (91,741,572)	
投資証券 合計			1,817,666,136 [1,817,666,136]	
合計			3,077,125,935 [3,077,125,935]	

投資信託受益証券及び投資証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

- (注) 1. 各種通貨毎の小計の欄における ( ) 内の金額は、邦貨換算額であります。  
2. 合計欄における [ ] 内の金額は、外貨建有価証券の邦貨換算額の合計額であり、内数で表示しております。  
3. 外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入 投資信託 受益証券 時価比率	組入 投資証券 時価比率	合計金額に 対する比率
アメリカ・ドル	投資信託 1銘柄 受益証券 投資証券 34銘柄	56.9%	43.1%	71.9%
イギリス・ポンド	投資証券 3銘柄	-%	100%	5.3%
オーストラリア・ドル	投資証券 4銘柄	-%	100%	6.9%
カナダ・ドル	投資証券 2銘柄	-%	100%	2.6%

シンガポール・ドル	投資証券	2銘柄	-%	100%	3.5%
ユーロ	投資証券	4銘柄	-%	100%	6.8%
香港・ドル	投資証券	1銘柄	-%	100%	3.0%

## 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

「注記表(デリバティブ取引に関する注記)」に記載しております。

(1) 当ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和52年大蔵省令第38号)並びに同規則第38条の3及び第57条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)に基づいて作成しております。

なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当中間計算期間(2019年5月9日から2019年11月8日まで)の中間財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により中間監査を受けております。

#### 【中間財務諸表】

## りそな ダイナミック・アロケーション・ファンド

## (1)【中間貸借対照表】

(単位：円)

		当中間計算期間末 2019年11月8日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン		8,781,909
親投資信託受益証券		586,147,667
未収入金		3,490,000
流動資産合計		598,419,576
<b>資産合計</b>		
598,419,576		
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払解約金		3,358,637
未払受託者報酬		138,484
未払委託者報酬		4,016,783
その他未払費用		26,256
流動負債合計		7,540,160
<b>負債合計</b>		
7,540,160		
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本		1,541,957,289
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（ ）		48,922,127
（分配準備積立金）		22,676,073
元本等合計		590,879,416
<b>純資産合計</b>		
590,879,416		
<b>負債純資産合計</b>		
598,419,576		



## (2)【中間損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	当中間計算期間 自 2019年5月9日 至 2019年11月8日
<b>営業収益</b>	
受取利息	10
有価証券売買等損益	12,648,527
営業収益合計	12,648,537
<b>営業費用</b>	
支払利息	1,890
受託者報酬	138,484
委託者報酬	4,016,783
その他費用	26,269
営業費用合計	4,183,426
営業利益又は営業損失（ ）	8,465,111
経常利益又は経常損失（ ）	8,465,111
中間純利益又は中間純損失（ ）	8,465,111
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（ ）	1,026,849
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	46,091,695
剰余金増加額又は欠損金減少額	504,537
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	504,537
剰余金減少額又は欠損金増加額	5,112,367
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	5,112,367
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	48,922,127

## (3) 【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	当中間計算期間 自 2019年5月9日 至 2019年11月8日
有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券  移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。

(中間貸借対照表に関する注記)

区 分	当中間計算期間末 2019年11月8日現在
1. 1 期首元本額	603,232,677円
期中追加設定元本額	5,569,294円
期中一部解約元本額	66,844,682円
2. 中間計算期間末日における 受益権の総数	541,957,289口

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

区 分	当中間計算期間 自 2019年5月9日 至 2019年11月8日
	該当事項はありません。

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区 分	当中間計算期間末 2019年11月8日現在
1. 金融商品の時価及び中間貸借対 照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。

(2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。
--

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

当中間計算期間末 2019年11月8日現在
該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	当中間計算期間末 2019年11月8日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	1.0903円 (10,903円)

(参考)

当ファンドは、「国内債券マザーファンド」受益証券、「先進国債券(為替ヘッジあり)マザーファンド」受益証券、「新興国債券マザーファンド」受益証券、「国内株式マザーファンド」受益証券、「先進国株式マザーファンド」受益証券、「新興国株式マザーファンド」受益証券、「国内REITマザーファンド」受益証券及び「先進国REITマザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、中間貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同マザーファンドの受益証券であります。

なお、当ファンドの中間計算期間末日(以下、「期末日」)における同マザーファンドの状況は次のとおりであります。

「国内債券マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

貸借対照表

	2019年11月8日現在
	金額(円)
資産の部	
流動資産	
コール・ローン	65,763,064
国債証券	10,873,842,620

未収利息		12,360,612
前払費用		2,332,009
流動資産合計		10,954,298,305
資産合計		10,954,298,305
負債の部		
流動負債		
未払解約金		14,085,000
その他未払費用		2
流動負債合計		14,085,002
負債合計		14,085,002
純資産の部		
元本等		
元本	1	9,666,662,348
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		1,273,550,955
元本等合計		10,940,213,303
純資産合計		10,940,213,303
負債純資産合計		10,954,298,305

## 注記表

## （重要な会計方針に係る事項に関する注記）

区 分	自 2019年5月9日 至 2019年11月8日
有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券</p> <p>個別法に基づき、時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（但し、売気配相場は使用しない）、価格情報会社の提供する価額又は日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）等で評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>

## （貸借対照表に関する注記）

区 分	2019年11月8日現在
1. 1 期首	2019年5月9日
期首元本額	10,155,240,535円
期中追加設定元本額	10,043,987,400円
期中一部解約元本額	10,532,565,587円
期末元本額の内訳	
ファンド名	
6資産(為替ヘッジなし)資	9,900,000円
金拠出用ファンド(適格機関	
投資家専用)	
ダイナミック・アロケーシ	8,537,428,090円
ョン・ファンド(適格機関投資	
家専用)	
スマート・ミックス・Dガー	22,380,291円
ド(為替ヘッジあり)	
スマート・ミックス・Dガー	10,134,445円
ド(為替ヘッジなし)	
スマート・アロケーション・	6,442,278円
Dガード	
りそな ダイナミック・アロ	199,984,969円
ケーション・ファンド	
堅実バランスファンド - ハ	433,829,807円
ジメの一步 -	
DCダイワ8資産アロケー	301,369円
ション・ファンド	
DCダイナミック・アロケー	158,913,059円
ション・ファンド	
ダイワ・ダブルバランス・	18,665,920円
ファンド(Dガード付/部分	
為替ヘッジあり)	
ダイワ6資産バランス・ファ	121,552,932円
ンド(Dガード付/為替ヘッ	
ジあり)	
ダイワ6資産バランス・ファ	146,328,115円
ンド(Dガード付/為替ヘッ	
ジなし)	
DCスマート・アロケーシ	801,073円
ョン・Dガード	
計	9,666,662,348円
2. 期末日における受益権の総数	9,666,662,348口

## （金融商品に関する注記）

## 金融商品の時価等に関する事項

区 分	2019年11月8日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。  (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

## （デリバティブ取引に関する注記）

## ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

2019年11月8日現在
該当事項はありません。

## （1口当たり情報）

	2019年11月8日現在
1口当たり純資産額	1.1317円
（1万口当たり純資産額）	（11,317円）

## 「先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

## 貸借対照表

	2019年11月8日現在
	金 額（円）
資産の部	
流動資産	
預金	162,826,552
コール・ローン	145,692,482
国債証券	12,232,317,141
未収入金	8,117
未収利息	110,353,227
前払費用	15,607,472

流動資産合計		12,666,804,991
資産合計		12,666,804,991
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定		94,560,172
未払解約金		11,470,791
流動負債合計		106,030,963
負債合計		106,030,963
純資産の部		
元本等		
元本	1	10,720,851,610
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		1,839,922,418
元本等合計		12,560,774,028
純資産合計		12,560,774,028
負債純資産合計		12,666,804,991

## 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	自 2019年5月9日 至 2019年11月8日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券</p> <p>個別法に基づき、時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（但し、売気配相場は使用しない）、又は価格情報会社の提供する価額等で評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	為替予約取引

3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として計算日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。</p> <p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p>
----------------------------	---

## (貸借対照表に関する注記)

区 分	2019年11月8日現在
1. 1 期首	2019年5月9日
期首元本額	11,415,158,983円
期中追加設定元本額	6,115,377,101円
期中一部解約元本額	6,809,684,474円
期末元本額の内訳	
ファンド名	
5 資産(為替ヘッジあり)資 金拠出用ファンド(適格機関 投資家専用)	14,700,000円
ダイナミック・アロケーシ ョン・ファンド(適格機関投資 家専用)	4,920,981,867円
先進国債券(為替ヘッジあ り)ファンド(適格機関投資 家専用)	5,228,754,065円
スマート・ミックス・Dガー ド(為替ヘッジあり)	21,790,033円
りそな ダイナミック・アロ ケーション・ファンド	115,872,712円



堅実バランスファンド - ハ ジメの一步 - DCダイワ8資産アロケー ション・ファンド DCダイナミック・アロケー ション・ファンド ダイワ6資産バランス・ファ ンド（Dガード付ノ為替ヘッ ジあり）	209,555,967円  290,115円  91,958,589円  116,948,262円
計	10,720,851,610円
2. 期末日における受益権の総数	10,720,851,610口

## （金融商品に関する注記）

## 金融商品の時価等に関する事項

区 分	2019年11月8日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表 計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額 と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。  (2)デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。  (3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しい ことから、当該帳簿価額を時価としております。

## （デリバティブ取引に関する注記）

## ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

## 通貨関連

種 類	2019年11月8日 現在			
	契約額等 (円)	うち 1年超	時価 (円)	評価損益 (円)
市場取引以外の取引				
為替予約取引				

売 建	12,514,466,558	-	12,609,026,730	94,560,172
アメリカ・ドル	6,126,414,079	-	6,200,528,620	74,114,541
イギリス・ポンド	785,687,641	-	786,996,210	1,308,569
オーストラリア・ドル	269,589,603	-	272,703,210	3,113,607
カナダ・ドル	196,410,468	-	198,225,040	1,814,572
シンガポール・ドル	57,266,079	-	58,077,680	811,601
スウェーデン・クローナ	37,642,429	-	38,112,800	470,371
デンマーク・クローネ	56,309,009	-	56,368,620	59,611
ノルウェー・クローネ	31,011,009	-	31,629,620	618,611
ポーランド・ズロチ	72,758,793	-	72,839,040	80,247
メキシコ・ペソ	112,954,464	-	114,307,200	1,352,736
ユーロ	4,698,383,029	-	4,706,744,950	8,361,921
南アフリカ・ランド	70,039,955	-	72,493,740	2,453,785
合計	12,514,466,558	-	12,609,026,730	94,560,172

(注) 1. 時価の算定方法

- (1) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

- (2) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、期末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2. 換算において円未満の端数は切り捨てております。

## 3. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報)

	2019年11月8日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	1.1716円 (11,716円)

「新興国債券マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

## 貸借対照表

	2019年11月8日現在	
	金額(円)	
資産の部		
流動資産		
預金		10,146,893
コール・ローン		19,057,443
国債証券		3,761,535,690
未収利息		50,829,489
前払費用		1,164,344
流動資産合計		3,842,733,859
資産合計		3,842,733,859
負債の部		
流動負債		
未払解約金		60,000
流動負債合計		60,000
負債合計		60,000
純資産の部		
元本等		
元本	1	2,775,345,368
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金( )		1,067,328,491
元本等合計		3,842,673,859
純資産合計		3,842,673,859
負債純資産合計		3,842,733,859

## 注記表

## （重要な会計方針に係る事項に関する注記）

区 分	自 2019年5月9日 至 2019年11月8日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券</p> <p>個別法に基づき、時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（但し、売気配相場は使用しない）、又は価格情報会社の提供する価額等で評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	<p>為替予約取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として計算日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。</p>
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p>

## （貸借対照表に関する注記）

区 分	2019年11月8日現在
-----	--------------

1.	1 期首	2019年5月9日
	期首元本額	2,890,206,001円
	期中追加設定元本額	357,421,739円
	期中一部解約元本額	472,282,372円
	期末元本額の内訳	
	ファンド名	
	6資産(為替ヘッジなし)資 金拠出用ファンド(適格機関 投資家専用)	29,296,871円
	ダイワ米ドル建て新興国債券 ファンドM(FOFs用)(適格 機関投資家専用)	286,940,028円
	新興国債券(為替ヘッジあ り)ファンド(適格機関投資 家専用)	2,237,994,583円
	スマート・ミックス・Dガー ド(為替ヘッジなし)	8,333,452円
	りそな ダイナミック・アロ ケーション・ファンド	23,817,823円
	堅実バランスファンド - ハ ジメの一步 -	48,608,019円
	DCダイワ8資産アロケー ション・ファンド	41,241円
	DCダイナミック・アロケー ション・ファンド	19,108,691円
	ダイワ6資産バランス・ファ ンド(Dガード付/為替ヘッ ジなし)	121,204,660円
	計	2,775,345,368円
2.	期末日における受益権の総数	2,775,345,368口

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の時価等に関する事項

区 分	2019年11月8日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表 計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額 と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。

## (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

## (デリバティブ取引に関する注記)

## ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

2019年11月8日 現在

該当事項はありません。

## (1口当たり情報)

	2019年11月8日現在
1口当たり純資産額	1.3846円
(1万口当たり純資産額)	(13,846円)

## 「国内株式マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

## 貸借対照表

	2019年11月8日現在
	金額(円)
資産の部	
流動資産	
コール・ローン	3,551,648,623
派生商品評価勘定	219,520,678
未収入金	557,328
差入委託証拠金	102,528,000
流動資産合計	3,874,254,629
資産合計	3,874,254,629
負債の部	
流動負債	
前受金	219,139,450
未払解約金	15,038,700
その他未払費用	16
流動負債合計	234,178,166
負債合計	234,178,166
純資産の部	
元本等	

元本	1	2,125,783,776
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金( )		1,514,292,687
元本等合計		3,640,076,463
純資産合計		3,640,076,463
負債純資産合計		3,874,254,629

## 注記表

## (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	自 2019年5月9日 至 2019年11月8日
デリバティブ取引の評価基準 及び評価方法	先物取引  個別法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の 主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場によっております。

## (貸借対照表に関する注記)

区 分	2019年11月8日現在
1. 1 期首	2019年5月9日
期首元本額	2,062,613,885円
期中追加設定元本額	2,966,623,147円
期中一部解約元本額	2,903,453,256円
期末元本額の内訳	
ファンド名	
6 資産(為替ヘッジなし)資 金拠出用ファンド(適格機関 投資家専用)	9,593,298円
ダイナミック・アロケーショ ン・ファンド(適格機関投資 家専用)	1,510,706,607円
国内株式ファンド(適格機関 投資家専用)	326,944,738円
スマート・ミックス・Dガー ド(為替ヘッジあり)	15,756,752円
スマート・ミックス・Dガー ド(為替ヘッジなし)	6,994,170円

スマート・アロケーション・ Dガード	637,982円
りそな ダイナミック・アロ ケーション・ファンド	24,158,298円
堅実バランスファンド - ハ ジメの一步 -	26,365,977円
DCダイワ8資産アロケー ション・ファンド	34,521円
DCダイナミック・アロケー ション・ファンド	19,596,118円
ダイワ・ダブルバランス・ ファンド(Dガード付/部分 為替ヘッジあり)	1,856,759円
ダイワ6資産バランス・ファ ンド(Dガード付/為替ヘッ ジあり)	82,976,132円
ダイワ6資産バランス・ファ ンド(Dガード付/為替ヘッ ジなし)	100,083,620円
DCスマート・アロケーショ ン・Dガード	78,804円
計	2,125,783,776円
2. 期末日における受益権の総数	2,125,783,776口

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の時価等に関する事項

区 分	2019年11月8日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表 計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額 と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。  (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しい ことから、当該帳簿価額を時価としております。

## (デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

株式関連



種 類	2019年11月8日 現在			
	契約額等 (円)	うち 1年超	時価 (円)	評価損益 (円)
市場取引  株価指数 先物取引  買 建	3,414,355,750	-	3,633,994,000	219,638,250
合計	3,414,355,750	-	3,633,994,000	219,638,250

## (注) 1. 時価の算定方法

株価指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として期末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、期末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2. 株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

## (1口当たり情報)

	2019年11月8日現在
1口当たり純資産額	1.7123円
(1万口当たり純資産額)	(17,123円)

## 「先進国株式マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

## 貸借対照表

	2019年11月8日現在
	金 額 (円)
資産の部	
流動資産	
預金	27,899,629

コール・ローン		369,653,412
投資信託受益証券		2,783,834,980
投資証券		208,114,466
派生商品評価勘定		13,745,925
未収入金		7,227,473
差入委託証拠金		101,826,227
流動資産合計		3,512,302,112
資産合計		3,512,302,112
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定		36,524
未払解約金		4,298,000
その他未払費用		1
流動負債合計		4,334,525
負債合計		4,334,525
純資産の部		
元本等		
元本	1	1,790,452,081
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		1,717,515,506
元本等合計		3,507,967,587
純資産合計		3,507,967,587
負債純資産合計		3,512,302,112

## 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	自 2019年5月9日 至 2019年11月8日
1. 有価証券の評価基準及び評価 方法	(1)投資信託受益証券

	<p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、外国金融商品市場又は店頭市場における最終相場(最終相場のないものについては、それに準ずる価額)、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p> <p>(2)投資証券</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、外国金融商品市場又は店頭市場における最終相場(最終相場のないものについては、それに準ずる価額)、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	<p>(1)先物取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場によっております。</p> <p>(2)為替予約取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として計算日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。</p>
3. 収益及び費用の計上基準	<p>受取配当金</p> <p>原則として、投資信託受益証券及び投資証券の配当落ち日において、その金額が確定している場合には当該金額を計上し、未だ確定していない場合には入金日基準で計上しております。</p>

4. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p>
----------------------------	---

## （貸借対照表に関する注記）

区 分	2019年11月8日現在
1. 1 期首	2019年5月9日
期首元本額	1,694,901,891円
期中追加設定元本額	2,653,043,788円
期中一部解約元本額	2,557,493,598円
期末元本額の内訳	
ファンド名	
6 資産（為替ヘッジなし）資 金拠出用ファンド（適格機関 投資家専用）	9,460,375円
ダイナミック・アロケーショ ン・ファンド（適格機関投資 家専用）	1,338,604,084円
先進国株式ファンド（適格機 関投資家専用）	286,348,364円
スマート・ミックス・Dガー ド（為替ヘッジなし）	6,023,472円
りそな ダイナミック・アロ ケーション・ファンド	21,616,694円
堅実バランスファンド - ハ ジメの一步 -	23,169,064円
DCダイワ8資産アロケー ション・ファンド	30,073円
DCダイナミック・アロケー ション・ファンド	17,557,807円

ダイワ6資産バランス・ファンド(Dガード付/為替ヘッジなし)	87,642,148円
計	1,790,452,081円
2. 期末日における受益権の総数	1,790,452,081口

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の時価等に関する事項

区 分	2019年11月8日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。  (2)デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。  (3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

## (デリバティブ取引に関する注記)

## ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

## 1. 株式関連

種 類	2019年11月8日 現在			評価損益 (円)
	契約額等 (円)	うち 1年超	時価 (円)	
市場取引				
株価指数 先物取引				
買 建	497,770,265	-	509,542,715	11,772,450
合計	497,770,265	-	509,542,715	11,772,450

## (注) 1. 時価の算定方法

株価指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として期末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、期末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2. 株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。また契約額等及び時価の邦貨換算は期末日の対顧客電信売買相場の仲値で行っております。
4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

## 2. 通貨関連

種 類	2019年11月8日 現在			
	契約額等 (円)	うち 1年超	時価 (円)	評価損益 (円)
市場取引以外の取引				
為替予約取引				
買 建	358,816,681	-	360,753,632	1,936,951
アメリカ・ドル	23,957,515	-	24,266,462	308,947
カナダ・ドル	60,856,292	-	61,613,845	757,553
ユーロ	274,002,874	-	274,873,325	870,451
合計	358,816,681	-	360,753,632	1,936,951

## (注) 1. 時価の算定方法

- (1) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

(2) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、期末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2. 換算において円未満の端数は切り捨てております。
3. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報)

	2019年11月8日現在
1口当たり純資産額	1.9593円
(1万口当たり純資産額)	(19,593円)

「新興国株式マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

貸借対照表

	2019年11月8日現在	
	金額(円)	
資産の部		
流動資産		
預金		10,770,032
コール・ローン		11,024,159
投資証券		814,211,429
派生商品評価勘定		1,998,804
未収入金		12,732,951
差入委託証拠金		23,682,564
流動資産合計		874,419,939
資産合計		874,419,939
負債の部		
流動負債		
未払解約金		8,018,000
流動負債合計		8,018,000
負債合計		8,018,000
純資産の部		
元本等		
元本	1	639,640,637
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金( )		226,761,302
元本等合計		866,401,939

純資産合計	866,401,939
負債純資産合計	874,419,939

## 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	自 2019年5月9日 至 2019年11月8日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>(1)株式</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、外国金融商品市場又は店頭市場における最終相場(最終相場のないものについては、それに準ずる価額)、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p> <p>(2)投資証券</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、外国金融商品市場又は店頭市場における最終相場(最終相場のないものについては、それに準ずる価額)、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	<p>(1)先物取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場によっております。</p>



	<p>(2)為替予約取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、原則として計算日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。</p>
3. 収益及び費用の計上基準	<p>受取配当金 原則として、投資証券の配当落ち日において、その金額が確定している場合には当該金額を計上し、未だ確定していない場合には入金日基準で計上しております。</p>
4. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>外貨建取引等の処理基準  外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p>

## (貸借対照表に関する注記)

区 分	2019年11月8日現在
1. 1 期首	2019年5月9日
期首元本額	622,451,505円
期中追加設定元本額	230,172,866円
期中一部解約元本額	212,983,734円
期末元本額の内訳	
ファンド名	
6 資産（為替ヘッジなし）資	9,900,000円
金拠出用ファンド（適格機関 投資家専用）	
新興国株式ファンド（適格機 関投資家専用）	415,798,868円
スマート・ミックス・Dガー ド（為替ヘッジなし）	8,827,846円

りそな ダイナミック・アロケーション・ファンド	23,821,146円
堅実バランスファンド - ハジメの一步 -	33,739,759円
DCダイワ8資産アロケーション・ファンド	43,895円
DCダイナミック・アロケーション・ファンド	19,545,621円
ダイワ6資産バランス・ファンド(Dガード付/為替ヘッジなし)	127,963,502円
計	639,640,637円
2. 期末日における受益権の総数	639,640,637口

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の時価等に関する事項

区 分	2019年11月8日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。  (2)デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。  (3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

## (デリバティブ取引に関する注記)

## ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

## 1. 株式関連

種 類	2019年11月8日 現在		
	契約額等 (円)	時価	評価損益 (円)
		(円)	
市場取引		うち 1年超	

株価指数 先物取引				
買 建	39,260,617	-	41,257,531	1,996,914
合計	39,260,617	-	41,257,531	1,996,914

## (注) 1. 時価の算定方法

株価指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として期末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、期末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2. 株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。また契約額等及び時価の邦貨換算は期末日の対顧客電信売買相場の仲値で行っております。
4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

## 2. 通貨関連

種 類	2019年11月8日 現在			
	契約額等 (円)	うち 1年超	時価 (円)	評価損益 (円)
市場取引以外の取引				
為替予約取引				
売 建	16,404,390	-	16,402,500	1,890
アメリカ・ドル	16,404,390	-	16,402,500	1,890
合計	16,404,390	-	16,402,500	1,890

## (注) 1. 時価の算定方法

- (1) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。

- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

(2) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、期末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2. 換算において円未満の端数は切り捨てております。
3. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報)

	2019年11月8日現在
1口当たり純資産額	1.3545円
(1万口当たり純資産額)	(13,545円)

「国内REITマザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

貸借対照表

	2019年11月8日現在
	金額(円)
資産の部	
流動資産	
コール・ローン	86,124,367
投資証券	2 3,161,214,400
派生商品評価勘定	2,169,600
未収入金	4,522,826
未収配当金	22,925,037
流動資産合計	3,276,956,230
資産合計	3,276,956,230
負債の部	
流動負債	
前受金	5,050,000
未払解約金	1,783,900
流動負債合計	6,833,900
負債合計	6,833,900
純資産の部	
元本等	
元本	1 1,807,195,029

剰余金	
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	1,462,927,301
元本等合計	3,270,122,330
純資産合計	3,270,122,330
負債純資産合計	3,276,956,230

## 注記表

## （重要な会計方針に係る事項に関する注記）

区 分	自 2019年5月9日 至 2019年11月8日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>投資証券</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	<p>先物取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場によっております。</p>
3. 収益及び費用の計上基準	<p>受取配当金</p> <p>原則として、投資証券の配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。</p>

## （貸借対照表に関する注記）

区 分	2019年11月8日現在
1. 1 期首	2019年5月9日
期首元本額	2,073,541,554円
期中追加設定元本額	2,515,518,208円
期中一部解約元本額	2,781,864,733円

期末元本額の内訳		
ファンド名		
国内REIT資金拠出用ファンド（適格機関投資家専用）		19,634,425円
ダイナミック・アロケーション・ファンド（適格機関投資家専用）		1,264,034,524円
国内REITファンド（適格機関投資家専用）		448,950,381円
りそな ダイナミック・アロケーション・ファンド		21,466,704円
堅実バランスファンド - ハジメの一步 -		35,957,155円
DCダイワ8資産アロケーション・ファンド		30,299円
DCダイナミック・アロケーション・ファンド		17,121,541円
計		1,807,195,029円
2. 期末日における受益権の総数		1,807,195,029口
3. 2 差入委託証拠金代用有価証券	先物取引に係る差入委託証拠金代用有価証券として以下のとおり差入を行っております。	
	投資証券	9,543,000円

## （金融商品に関する注記）

## 金融商品の時価等に関する事項

区分	2019年11月8日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。  (2)デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。  (3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

（デリバティブ取引に関する注記）

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

## 不動産投信関連

種 類	2019年11月8日 現在			
	契約額等 (円)	うち 1年超	時価 (円)	評価損益 (円)
市場取引				
不動産投信 指数先物取引				
買 建	106,325,000	-	108,500,000	2,175,000
合計	106,325,000	-	108,500,000	2,175,000

## （注） 1. 時価の算定方法

不動産投信指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として期末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、期末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2. 不動産投信指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

## （1口当たり情報）

	2019年11月8日現在
1口当たり純資産額	1.8095円
（1万口当たり純資産額）	（18,095円）

## 「先進国REITマザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

## 貸借対照表

	2019年11月8日現在
	金 額（円）
資産の部	

流動資産		
預金		5,577,031
コール・ローン		141,483,397
投資信託受益証券		948,898,085
投資証券		3,353,572,785
派生商品評価勘定		1,484,842
未収配当金		2,744,582
差入委託証拠金		39,529,198
流動資産合計		4,493,289,920
資産合計		4,493,289,920
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定		6,667,613
流動負債合計		6,667,613
負債合計		6,667,613
純資産の部		
元本等		
元本	1	2,557,828,071
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金( )		1,928,794,236
元本等合計		4,486,622,307
純資産合計		4,486,622,307
負債純資産合計		4,493,289,920

## 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	自 2019年5月9日 至 2019年11月8日
1. 有価証券の評価基準及び評価 方法	(1)投資信託受益証券



	<p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、外国金融商品市場又は店頭市場における最終相場(最終相場のないものについては、それに準ずる価額)、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p> <p>(2)投資証券</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、外国金融商品市場又は店頭市場における最終相場(最終相場のないものについては、それに準ずる価額)、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	<p>(1)先物取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場によっております。</p> <p>(2)為替予約取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として計算日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。</p>
3. 収益及び費用の計上基準	<p>受取配当金</p> <p>原則として、投資信託受益証券及び投資証券の配当落ち日において、その金額が確定している場合には当該金額を計上し、未だ確定していない場合には入金日基準で計上しております。</p>

4. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p>
----------------------------	---

## (貸借対照表に関する注記)

区 分	2019年11月8日現在
1. 1 期首	2019年5月9日
期首元本額	1,939,346,316円
期中追加設定元本額	3,184,271,353円
期中一部解約元本額	2,565,789,598円
期末元本額の内訳	
ファンド名	
先進国REIT(為替ヘッジなし)資金拠出用ファンド(適格機関投資家専用)	19,616,719円
ダイナミック・アロケーション・ファンド(適格機関投資家専用)	1,233,681,466円
先進国REITファンド(適格機関投資家専用)	469,868,601円
りそなダイナミック・アロケーション・ファンド	20,671,837円
堅実バランスファンド - ハジメの一步 -	37,793,482円
DCダイワ8資産アロケーション・ファンド	31,703円
DCダイナミック・アロケーション・ファンド	16,525,963円
ダイワ外国3資産アロケーション・ファンド(部分為替ヘッジあり)	136,944,057円

ダイワ外国REITインデックス(為替ヘッジあり)(ダイワSMA専用)	622,694,243円
計	2,557,828,071円
2. 期末日における受益権の総数	2,557,828,071口

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の時価等に関する事項

区 分	2019年11月8日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。  (2)デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。  (3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

## (デリバティブ取引に関する注記)

## ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

## 1. 不動産投信関連

種 類	2019年11月8日 現在			評価損益 (円)
	契約額等 (円)	うち 1年超	時価 (円)	
市場取引  不動産投信 指数先物取引  買 建	185,077,493	-	178,416,097	6,661,396
合計	185,077,493	-	178,416,097	6,661,396

## (注) 1. 時価の算定方法

不動産投信指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として期末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、期末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2. 不動産投信指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。また契約額等及び時価の邦貨換算は期末日の対顧客電信売買相場の仲値で行っております。
4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

## 2. 通貨関連

種 類	2019年11月8日 現在			
	契約額等 (円)	うち 1年超	時価 (円)	評価損益 (円)
市場取引以外の取引				
為替予約取引				
買 建	135,434,275	-	136,912,900	1,478,625
アメリカ・ドル	90,568,464	-	91,736,400	1,167,936
シンガポール・ドル	11,893,260	-	12,066,000	172,740
ニュージーランド・ドル	17,307,800	-	17,400,000	92,200
ユーロ	15,664,751	-	15,710,500	45,749
合計	135,434,275	-	136,912,900	1,478,625

## (注) 1. 時価の算定方法

- (1) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。

- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

(2) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、期末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2. 換算において円未満の端数は切り捨てております。
3. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報)

	2019年11月8日現在
1口当たり純資産額	1.7541円
(1万口当たり純資産額)	(17,541円)

## 2 【ファンドの現況】

## 【純資産額計算書】

2019年11月29日

資産総額	581,255,499円
負債総額	950,645円
純資産総額（ - ）	580,304,854円
発行済数量	529,100,817口
1単位当たり純資産額（ / ）	1.0968円

## (参考) 国内債券マザーファンド

## 純資産額計算書

2019年11月29日

資産総額	4,754,070,760円
負債総額	705,830円
純資産総額（ - ）	4,753,364,930円
発行済数量	4,185,574,816口
1単位当たり純資産額（ / ）	1.1357円

## (参考) 先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

## 純資産額計算書

2019年11月29日

資産総額	8,964,669,630円
負債総額	86,485,006円
純資産総額（ - ）	8,878,184,624円
発行済数量	7,525,895,431口
1単位当たり純資産額（ / ）	1.1797円

## (参考) 新興国債券マザーファンド

## 純資産額計算書

2019年11月29日

資産総額	3,864,006,815円
負債総額	5,588,748円
純資産総額( - )	3,858,418,067円
発行済数量	2,753,358,396口
1単位当たり純資産額( / )	1.4013円

## (参考) 国内株式マザーファンド

## 純資産額計算書

2019年11月29日

資産総額	2,281,515,019円
負債総額	99,137,582円
純資産総額( - )	2,182,377,437円
発行済数量	1,280,235,756口
1単位当たり純資産額( / )	1.7047円

## (参考) 先進国株式マザーファンド

## 純資産額計算書

2019年11月29日

資産総額	2,204,173,979円
負債総額	127,492,656円
純資産総額( - )	2,076,681,323円
発行済数量	1,040,770,394口
1単位当たり純資産額( / )	1.9953円

## (参考) 新興国株式マザーファンド

## 純資産額計算書

2019年11月29日

資産総額	848,508,438円
負債総額	524,002円
純資産総額( - )	847,984,436円

発行済数量	637,104,224口
1 単位当たり純資産額 ( / )	1.3310円

## (参考) 国内REITマザーファンド

## 純資産額計算書

2019年11月29日

資産総額	2,120,778,149円
負債総額	5,396,151円
純資産総額 ( - )	2,115,381,998円
発行済数量	1,143,012,150口
1 単位当たり純資産額 ( / )	1.8507円

## (参考) 先進国REITマザーファンド

## 純資産額計算書

2019年11月29日

資産総額	3,556,358,040円
負債総額	119,951,445円
純資産総額 ( - )	3,436,406,595円
発行済数量	1,915,143,823口
1 単位当たり純資産額 ( / )	1.7943円



## 第4 【内国投資信託受益証券事務の概要】

(1) 名義書換えの手続き等  
該当事項はありません。

(2) 受益者に対する特典  
ありません。

(3) 譲渡制限の内容  
譲渡制限はありません。

(4) 受益証券の再発行

受益者は、委託会社がやむを得ない事情等により受益証券を発行する場合を除き、無記名式受益証券から記名式受益証券への変更の請求、記名式受益証券から無記名式受益証券への変更の請求、受益証券の再発行の請求を行なわないものとします。

(5) 受益権の譲渡

受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿にかかる振替機関等に振替の申請をするものとします。

上記の申請のある場合には、上記の振替機関等は、当該譲渡にかかる譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、上記の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行なわれるよう通知するものとします。

上記の振替について、委託会社は、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿にかかる振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託会社が必要と認めるときまたはやむを得ない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

(6) 受益権の譲渡の対抗要件

受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託会社および受託会社に対抗することができません。

(7) 受益権の再分割

委託会社は、受託会社と協議のうえ、社振法に定めるところにしたがい、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。

受益権の再分割を行なうにあたり、各受益者が保有する受益権口数に1口未満の端数が生じることとなる場合には、当該端数を切り捨てるものとし、当該端数処理は口座管理機関ごとに行ないます。また、各受益者が保有することとなる受益権口数の合計数と、受益権の再分割の比率に基づき委託会社が計算する受益権口数の合計数との間に差が生じることとなる場合には、委託会社が計算する受益権口数を当該差分減らし、当該口数にかかる金額については益金として計上することとします。

(8) 償還金

償還金は、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（償還日以前において一部解約が行なわれた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された

受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者として、)に支払います。

(9) 質権口記載または記録の受益権の取扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権にかかる収益分配金の支払い、一部解約の実行の請求の受付け、一部解約金および償還金の支払い等については、約款の規定によるほか、民法その他の法令等にしたがって取扱われます。

## 第三部 【委託会社等の情報】

### 第1 【委託会社等の概況】

#### 1 【委託会社等の概況】

##### a. 資本金の額

2019年11月末日現在

資本金の額 151億7,427万2,500円

発行可能株式総数 799万9,980株

発行済株式総数 260万8,525株

過去5年間ににおける資本金の額の増減：該当事項はありません。

##### b. 委託会社の機構

###### 会社の意思決定機構

業務執行上重要な事項は、取締役会の決議をもって決定します。取締役は、株主総会において選任され、その任期は選任後1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結のときまでです。

取締役会は、4名以内の代表取締役を選定し、代表取締役は、会社を代表し、取締役会の決議にしたがい業務を執行します。

また、取締役、役付執行役員等から構成される経営会議は、経営全般にかかる基本的事項を審議し、決定します。経営会議は、分科会を設置し、専門的な事項についてはその権限を委ねることができます。

###### 投資運用の意思決定機構

投資運用の意思決定機構の概要は、以下のとおりとなっています。

##### イ. ファンド個別会議

ファンド運営上の諸方針を記載した基本計画書を経営会議の分科会であるファンド個別会議において審議・決定します。

##### ロ. 運用会議

CIOが議長となり、原則として月1回運用会議を開催し、基本的な運用方針を決定します。

##### ハ. 運用部長・ファンドマネージャー

ファンドマネージャーは、基本計画書に定められた各ファンドの諸方針と運用会議で決定された基本的な運用方針にしたがって運用計画書を作成します。運用部長は、ファンドマネージャーから提示を受けた運用計画書について、基本計画書および運用会議の決定事項との整合性等を確認し、承認します。

##### ニ. 運用審査会議、リスクマネジメント会議および執行役員会議

###### ・運用審査会議

経営会議の分科会として、ファンドの運用実績の状況についての報告を行ない、必要事項を審議・決定します。

###### ・リスクマネジメント会議

経営会議の分科会として、ファンドの運用リスクの状況・運用リスク管理等の状況についての報告を行ない、必要事項を審議・決定します。

・執行役員会議

経営会議の分科会として、法令等の遵守状況についての報告を行ない、必要事項を審議・決定します。

## 2 【事業の内容及び営業の概況】

委託会社は、「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社として、証券投資信託の設定を行なうとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行なっています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務等の関連する業務を行なっています。

2019年11月末日現在、委託会社が運用を行なっている投資信託（親投資信託を除きます。）は次のとおりです。

基本的性格	本数（本）	純資産額の合計額（百万円）
単位型株式投資信託	62	115,488
追加型株式投資信託	721	16,485,415
株式投資信託 合計	783	16,600,903
単位型公社債投資信託	27	88,797
追加型公社債投資信託	14	1,478,400
公社債投資信託 合計	41	1,567,197
総合計	824	18,168,100

## 3 【委託会社等の経理状況】

1. 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。）並びに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）に基づいて作成しております。

また、当社の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号。以下「中間財務諸表等規則」という。）並びに同規則第38条及び第57条の規定により、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）に基づいて作成しております。

2. 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第60期事業年度（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の財務諸表についての監査を、有限責任 あずさ監査法人により受けております。

また、第61期事業年度に係る中間会計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の中間財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により中間監査を受けております。

3. 財務諸表及び中間財務諸表の記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## (1) 【貸借対照表】

(単位:百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金・預金	28,709	28,489
有価証券	0	554
前払費用	201	214
未収委託者報酬	12,368	11,468
未収収益	82	98
その他	47	56
流動資産計	41,410	40,882
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	1	206
建物	12	10
器具備品	200	195
無形固定資産	2,614	2,821
ソフトウェア	2,456	2,804
ソフトウェア仮勘定	158	17
投資その他の資産	15,066	12,799
投資有価証券	8,600	8,493
関係会社株式	5,129	1,836

出資金	183	183
長期差入保証金	1,072	1,070
繰延税金資産	1,078	1,183
その他	34	31
固定資産計	18,927	15,827
資産合計	60,337	56,709

(単位:百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
預り金	65	75
未払金	9,747	8,548
未払収益分配金	8	15
未払償還金	59	40
未払手数料	5,202	4,610
その他未払金	2 4,476	2 3,882
未払費用	4,148	3,735
未払法人税等	850	726
未払消費税等	583	255
賞与引当金	1,012	725
その他	335	2
流動負債計	16,744	14,070
<b>固定負債</b>		
退職給付引当金	2,350	2,389
役員退職慰労引当金	125	103
その他	5	2
固定負債計	2,481	2,496
負債合計	19,225	16,567
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	15,174	15,174
資本剰余金		
資本準備金	11,495	11,495
資本剰余金合計	11,495	11,495
利益剰余金		

利益準備金	374	374
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	13,850	13,052
利益剰余金合計	14,225	13,426
株主資本合計	40,895	40,096
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	216	46
評価・換算差額等合計	216	46
純資産合計	41,112	40,142
負債・純資産合計	60,337	56,709

## (2) 【損益計算書】

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業収益		
委託者報酬	82,510	76,052
その他営業収益	733	673
営業収益計	83,244	76,725
営業費用		
支払手数料	40,392	35,789
広告宣伝費	673	694
調査費	9,816	9,066
調査費	955	1,057
委託調査費	8,860	8,009
委託計算費	839	1,351
営業雑経費	1,579	1,557
通信費	249	228
印刷費	500	513
協会費	53	55
諸会費	13	13
その他営業雑経費	762	746
営業費用計	53,300	48,459
一般管理費		
給料	5,840	5,755
役員報酬	377	373
給料・手当	3,973	4,145
賞与	477	510
賞与引当金繰入額	1,012	725

福利厚生費	788	796
交際費	55	64
旅費交通費	195	178
租税公課	501	472
不動産賃借料	1,281	1,291
退職給付費用	316	374
役員退職慰労引当金繰入額	46	34
固定資産減価償却費	977	907
諸経費	1,528	1,819
一般管理費計	11,531	11,693
営業利益	18,411	16,572

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31 日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業外収益		
投資有価証券売却益	210	215
有価証券償還益	17	133
その他	130	172
営業外収益計	359	521
営業外費用		
投資有価証券売却損	0	40
有価証券償還損	3	32
その他	25	60
営業外費用計	29	132
経常利益	18,741	16,961
特別損失		
関係会社整理損失	333	29
特別損失計	333	29
税引前当期純利益	18,407	16,931
法人税、住民税及び事業税	5,843	5,076
法人税等調整額	106	15
法人税等合計	5,737	5,060
当期純利益	12,670	11,870

## (3) 【株主資本等変動計算書】

前事業年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

(単位:百万円)



	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益 剰余金	利益剰余金 合計	
				繰越利益 剰余金		
当期首残高	15,174	11,495	374	12,231	12,606	39,276
会計方針の変更による累積的影響額	-	-	-	480	480	480
会計方針の変更を反映した当期首残高	15,174	11,495	374	12,712	13,086	39,756
当期変動額						
剰余金の配当	-	-	-	11,532	11,532	11,532
当期純利益	-	-	-	12,670	12,670	12,670
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	-	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	-	-	1,138	1,138	1,138
当期末残高	15,174	11,495	374	13,850	14,225	40,895

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	264	264	39,540
会計方針の変更による累積的影響額	-	-	480
会計方針の変更を反映した当期首残高	264	264	40,021
当期変動額			
剰余金の配当	-	-	11,532
当期純利益	-	-	12,670
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	47	47	47
当期変動額合計	47	47	1,090
当期末残高	216	216	41,112

当事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益 剰余金	利益剰余金 合計	
				繰越利益 剰余金		
当期首残高	15,174	11,495	374	13,850	14,225	40,895
会計方針の変更による累積的影響額	-	-	-	-	-	-
会計方針の変更を反映した当期首残高	15,174	11,495	374	13,850	14,225	40,895
当期変動額						
剰余金の配当	-	-	-	12,669	12,669	12,669
当期純利益	-	-	-	11,870	11,870	11,870
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	-	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	-	-	798	798	798
当期末残高	15,174	11,495	374	13,052	13,426	40,096

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	216	216	41,112
会計方針の変更による累積的影響額	-	-	-
会計方針の変更を反映した当期首残高	216	216	41,112
当期変動額			
剰余金の配当	-	-	12,669
当期純利益	-	-	11,870
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	170	170	170
当期変動額合計	170	170	969
当期末残高	46	46	40,142

注記事項  
（重要な会計方針）

## 1．有価証券の評価基準及び評価方法

### (1) 子会社株式

移動平均法による原価法により計上しております。

### (2) その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しております。

時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

## 2．固定資産の減価償却の方法

### (1) 有形固定資産

定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下の通りであります。

建物	10～18年
器具備品	4～20年

### (2) 無形固定資産

定額法によっております。なお、自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間（5年間）に基づく定額法によっております。

## 3．引当金の計上基準

### (1) 賞与引当金

役員及び従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額を計上しております。

### (2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当社の退職金規程に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。これは、当社の退職金は、将来の昇給等による給付額の変動がなく、貢献度、能力及び実績等に応じて各事業年度毎に各人別の勤務費用が確定するためであります。また、執行役員・参与についても、当社の退職金規程に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。

### (3) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、当社の役員退職慰労金規程に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。

## 4．消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

## 5．連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

(会計方針の変更)

(税効果会計に係る会計基準の適用指針の適用)

「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 平成30年2月16日)を当事業年度の期首から適用しており、子会社株式等に対する投資に係る将来加算一時差異に基づく繰延税金負債を過年度に遡及して取り崩した結果、貸借対照表の繰延税金負債が480百万円減少し、株主資本等変動計算書の繰越利益剰余金の遡及適用後の前事業年度期首残高が480百万円増加しております。

(未適用の会計基準等)

- ・「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 平成30年3月30日)
- ・「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 平成30年3月30日)

## (1) 概要

収益認識に関する包括的な会計基準であります。収益は、次の5つのステップを適用し認識されます。

ステップ1：顧客との契約を識別する。

ステップ2：契約における履行義務を識別する。

ステップ3：取引価格を算定する。

ステップ4：契約における履行義務に取引価格を配分する。

ステップ5：履行義務を充足した時に又は充足するにつれて収益を認識する。

## (2) 適用予定日

当財務諸表の作成時において検討中であります。

## (3) 当該会計基準等の適用による影響

影響額は、当財務諸表の作成時において評価中であります。

(表示方法の変更)

(『税効果会計に係る会計基準』の一部改正の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当事業年度の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(損益計算書)

前事業年度において、「営業外収益」に独立掲記しておりました「受取配当金」は、金額的重要性が乏しいため、当事業年度より「営業外収益」の「その他」としております。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の財務諸表において、「営業外収益」に表示していた「受取配当金」75百万円、「その他」55百万円は、「その他」130百万円として組替えております。

前事業年度において、「営業外費用」の「その他」に含めておりました「有価証券償還損」は、営業外費用の総額の100分の10を超えたため、当事業年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の財務諸表において、「営業外費用」の「その他」に表示していた29百万円は、「有価証券償還損」3百万円、「その他」25百万円として組替えております。

## （貸借対照表関係）

## 1 有形固定資産の減価償却累計額

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
建物	29百万円	31百万円
器具備品	235百万円	264百万円

## 2 関係会社項目

関係会社に対する資産及び負債には区分掲記されたもののほか次のものがあります。

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
未払金	4,406百万円	3,788百万円

## 3 保証債務

前事業年度（2018年3月31日）

子会社であるDaiwa Asset Management(Singapore)Ltd.の債務1,701百万円に対して保証を行っております。

当事業年度（2019年3月31日）

子会社であるDaiwa Asset Management(Singapore)Ltd.の債務1,719百万円に対して保証を行っております。

## （株主資本等変動計算書関係）

前事業年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

## 1 発行済株式の種類及び総数に関する事項

（単位：千株）

	当事業年度期首 株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株式数
発行済株式				
普通株式	2,608	-	-	2,608
合計	2,608	-	-	2,608

## 2 配当に関する事項

## （1）配当金支払額

決議	株式の種類	剰余金の配当の 総額（百万円）	1株当たり 配当額（円）	基準日	効力発生日
2017年6月26日 定時株主総会	普通株式	11,532	4,421	2017年 3月31日	2017年 6月27日

## (2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2018年6月25日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次のとおり提案しております。

剰余金の配当の総額	12,669百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	4,857円
基準日	2018年3月31日
効力発生日	2018年6月26日

当事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

## 1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

（単位：千株）

	当事業年度期首 株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株式数
発行済株式				
普通株式	2,608	-	-	2,608
合計	2,608	-	-	2,608

## 2. 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

決議	株式の種類	剰余金の配当の 総額（百万円）	1株当たり 配当額（円）	基準日	効力発生日
2018年6月25日 定時株主総会	普通株式	12,669	4,857	2018年 3月31日	2018年 6月26日

## (2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2019年6月21日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次のとおり提案しております。

剰余金の配当の総額	11,868百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	4,550円
基準日	2019年3月31日
効力発生日	2019年6月24日

## (金融商品関係)

## 1. 金融商品の状況に関する事項

## (1) 金融商品に対する取組方針

当社は、投資運用業及び投資助言・代理業などの資産運用に関する事業を行っております。資金運用については安全性の高い金融商品に限定しております。

## (2) 金融商品の内容及びそのリスク

証券投資信託に係る運用報酬の未決済額である未収委託者報酬は、運用するファンドの財産が信託されており、「投資信託及び投資法人に関する法律」、その他関係法令等により一定の制限が設けられているためリスクは極めて軽微であります。有価証券及び投資有価証券は、証券投資信託、株式であります。証券投資信託は事業推進目的で保有しており、価格変動リスク及び為替変動リスクに晒されており、株式は上場株式、非上場株式並びに子会社株式を保有しており、上場株式は価格変動リスク及び発行体の信用リスクに、非上場株式及び子会社株式は発行体の信用リスクに晒されており、

未払手数料は証券投資信託の販売に係る代行手数料の未払額であります。その他未払金は主に連結納税の親会社へ支払う法人税の未払額であります。未払費用は主にファンド運用に係る業務を委託したこと等により発生する費用の未払額であります。これらは、そのほとんどが1年以内の支払期日であります。

### (3) 金融商品に係るリスク管理体制

#### 市場リスクの管理

##### ( ) 為替変動リスクの管理

当社は、財務リスク管理規程に従い、個別の案件ごとに為替変動リスク管理の検討を行っております。

##### ( ) 価格変動リスクの管理

当社は、財務リスク管理規程に従い、個別の案件ごとに価格変動リスク管理の検討を行っており、定期的に時価や発行体の財務状況等を把握しリスクマネジメント会議において報告を行っております。

#### 信用リスクの管理

発行体の信用リスクは財務リスク管理規程に従い、定期的に財務状況等を把握しリスクマネジメント会議において報告を行っております。

## 2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません(注2)参照のこと)。

前事業年度(2018年3月31日)

(単位:百万円)

	貸借対照表	計上額(*1)	時価(*1)	差額
(1) 現金・預金		28,709	28,709	-
(2) 未収委託者報酬		12,368	12,368	-
(3) 有価証券及び投資有価証券 その他有価証券		7,631	7,631	-
資産計		48,709	48,709	-
(1) 未払手数料		(5,202)	(5,202)	-
(2) その他未払金		(4,476)	(4,476)	-
(3) 未払費用(*2)		(3,286)	(3,286)	-
負債計		(12,965)	(12,965)	-

(\*1) 負債に計上されているものについては、( )で示しております。

(\*2) 未払費用のうち金融商品で時価開示の対象となるものを表示しております。

当事業年度(2019年3月31日)

(単位:百万円)

	貸借対照表	計上額(*1)	時価(*1)	差額
(1) 現金・預金		28,489	28,489	-
(2) 未収委託者報酬		11,468	11,468	-
(3) 有価証券及び投資有価証券 その他有価証券		8,380	8,380	-
資産計		48,338	48,338	-
(1) 未払手数料		(4,610)	(4,610)	-
(2) その他未払金		(3,882)	(3,882)	-
(3) 未払費用(*2)		(2,805)	(2,805)	-
負債計		(11,298)	(11,298)	-

(\*1) 負債に計上されているものについては、( )で示しております。

(\*2) 未払費用のうち金融商品で時価開示の対象となるものを表示しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法

資 産

(1) 現金・預金、並びに(2) 未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3) 有価証券及び投資有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価格によっております。また、証券投資信託については、基準価額によっております。また、保有目的ごとの有価証券に関する事項については、注記事項(有価証券関係)をご参照下さい。

負 債

(1) 未払手数料、(2) その他未払金、並びに(3) 未払費用

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位:百万円)

区分	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
(1) その他有価証券 非上場株式	970	666
(2) 子会社株式及び関連会社株式 非上場株式	5,129	1,836
(3) 長期差入保証金	1,072	1,070

これらは、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるものであるため、時価開示の対象としておりません。

(注3) 金銭債権及び満期がある有価証券の決算日後の償還予定額

前事業年度(2018年3月31日)



(単位:百万円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金・預金	28,709	-	-	-
未収委託者報酬	12,368	-	-	-
有価証券及び投資有価証券 その他有価証券のうち満期があるもの	0	5,302	1,801	117
合計	41,078	5,302	1,801	117

当事業年度(2019年3月31日)

(単位:百万円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金・預金	28,489	-	-	-
未収委託者報酬	11,468	-	-	-
有価証券及び投資有価証券 その他有価証券のうち満期があるもの	554	4,284	2,227	1,227
合計	40,512	4,284	2,227	1,227

(有価証券関係)

## 1. 子会社株式及び関連会社株式

前事業年度(2018年3月31日)

子会社株式(貸借対照表計上額 5,129百万円)は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載していません。

当事業年度(2019年3月31日)

子会社株式(貸借対照表計上額 1,836百万円)は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載していません。

## 2. その他有価証券

前事業年度(2018年3月31日)

	貸借対照表計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
(1) 株式	134	55	79
(2) その他 証券投資信託	4,196	3,740	456
小計	4,331	3,795	535
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの その他			

証券投資信託	3,299	3,522	223
小計	3,299	3,522	223
合計	7,631	7,318	312

(注) 非上場株式(貸借対照表計上額 970百万円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

当事業年度(2019年3月31日)

	貸借対照表計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
(1) 株式	87	55	32
(2) その他			
証券投資信託	4,991	4,712	278
小計	5,079	4,767	311
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
その他			
証券投資信託	3,301	3,560	258
小計	3,301	3,560	258
合計	8,380	8,328	52

(注) 非上場株式(貸借対照表計上額 666百万円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

### 3. 売却したその他有価証券

前事業年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

種類	売却額 (百万円)	売却益の合計額 (百万円)	売却損の合計額 (百万円)
(1) 株式	-	-	-
(2) その他			
証券投資信託	1,963	210	0
合計	1,963	210	0

当事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

種類	売却額 (百万円)	売却益の合計額 (百万円)	売却損の合計額 (百万円)
(1) 株式	389	86	-
(2) その他			
証券投資信託	3,517	128	40
合計	3,907	215	40

### 4. 減損処理を行った有価証券

前事業年度において、該当事項はありません。

当事業年度において、該当事項はありません。

(退職給付関係)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、非積立型の確定給付制度(退職一時金制度であります)及び確定拠出制度を採用しております。

2. 確定給付制度

(1)退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
退職給付債務の期首残高	2,318百万円	2,350百万円
勤務費用	159	158
退職給付の支払額	166	171
その他	38	52
退職給付債務の期末残高	2,350	2,389

(2)退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
非積立型制度の退職給付債務	2,350百万円	2,389百万円
貸借対照表に計上された負債と 資産の純額	2,350	2,389
退職給付引当金	2,350	2,389
貸借対照表に計上された負債と 資産の純額	2,350	2,389

(3)退職給付費用及びその内訳項目の金額

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
勤務費用	159百万円	158百万円
その他	24	41
確定給付制度に係る退職給付費用	184	199

## 3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、前事業年度171百万円、当事業年度174百万円であります。

## (税効果会計関係)

## 1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
繰延税金資産		
退職給付引当金		731
	719	
賞与引当金	244	182
システム関連費用	16	170
未払事業税	162	141
出資金評価損	94	94
投資有価証券評価損	68	32
その他	297	240
繰延税金資産小計	1,602	1,592
評価性引当額	200	164
繰延税金資産合計	1,402	1,428
繰延税金負債		
連結法人間取引（譲渡益）	159	159
その他有価証券評価差額金	164	85
繰延税金負債合計	323	244
繰延税金資産の純額	1,078	1,183

(注)「会計方針の変更」に記載のとおり、当事業年度における会計方針の変更は遡及適用され、前事業年度については遡及適用後の財務諸表となっております。この結果、遡及適用を行う前と比べて、前事業年度の繰延税金負債の連結法人間取引（譲渡益）は480百万円減少しております。

## 2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

## 前事業年度（2018年3月31日）

法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

## 当事業年度（2019年3月31日）

法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

（セグメント情報等）

[セグメント情報]

当社は、資産運用に関する事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

[関連情報]

1. サービスごとの情報

単一のサービス区分の営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

（1）営業収益

内国籍証券投資信託又は本邦顧客からの営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

（2）有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

前事業年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

該当事項はありません。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

該当事項はありません。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

該当事項はありません。

（関連当事者情報）

1. 関連当事者との取引

（ア）財務諸表提出会社の子会社

前事業年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有 (被所有) 割合 (%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)

子会社	Daiwa Asset Management (Singapore) Ltd.	Singapore	133	金融商品取引業	(所有) 直接100.0	経営管理	債務保証(注)	1,701	-	-
-----	---	-----------	-----	---------	--------------	------	---------	-------	---	---

## 取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) シンガポール通貨庁(MAS)に対する当社からの保証状により、当該関連当事者の債務不履行、及びMASへの全ての損害等に対して保証しております。なお、債務総額は当該関連当事者の総運用資産額に応じて保証状にて定めるとおりに決定しております。

## 当事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金(百万円)	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
子会社	Daiwa Asset Management (Singapore) Ltd.	Singapore	133	金融商品取引業	(所有) 直接100.0	経営管理	債務保証(注1)	1,719	-	-
子会社	Daiwa Portfolio Advisory (India) Private Ltd.	India	1,207	金融商品取引業	(所有) 直接91.0	経営管理	有償減資(注2)	3,293	-	-

## 取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) シンガポール通貨庁(MAS)に対する当社からの保証状により、当該関連当事者の債務不履行、及びMASへの全ての損害等に対して保証しております。なお、債務総額は当該関連当事者の総運用資産額に応じて保証状にて定めるとおりに決定しております。

(注2) 当該子会社における株主総会決議及びインド会社法法廷の承認に基づき払戻しを受けております。

## (イ) 財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社

## 前事業年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

種類	会社等の名称	所在地	資本金または出資金(百万円)	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)(注1)	科目	期末残高(百万円)(注1)
同一の親会社をもつ会社	大和証券(株)	東京都千代田区	100,000	金融商品取引業	-	証券投資信託受益証券の募集販売	証券投資信託の代行手数料(注2)	23,216	未払手数料	3,913
同一の親会社をもつ会社	(株)大和総研ビジネス・イノベーション	東京都江東区	3,000	情報サービス業	-	ソフトウェアの開発	ソフトウェアの購入(注3)	1,020	未払費用	233
同一の親会社をもつ会社	大和プロパティ(株)	東京都中央区	100	不動産管理業	-	本社ビルの管理	不動産の賃借料(注4)	1,048	長期差入保証金	1,055

## 取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

(注2)証券投資信託の代行手数料については、証券投資信託の信託約款に定める受益者が負担する信託報酬のうち、当社が受け取る委託者報酬から代理事務に係る手数料として代行手数料を支払います。委託者報酬の配分は、両者協議のうえ合理的に決定しております。

(注3)ソフトウェアの購入については、市場の実勢価格を勘案して、その都度交渉の上、購入価格を決定しております。

(注4)差入保証金および賃借料については、近隣相場等を勘案し、交渉の上、決定しております。

当事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

種類	会社等の名称	所在地	資本金または出資金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合 (%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円) (注1)	科目	期末残高 (百万円) (注1)
同一の親会社をもつ会社	大和証券(株)	東京都千代田区	100,000	金融商品取引業	-	証券投資信託受益証券の募集販売	証券投資信託の代行手数料(注2)	19,975	未払手数料	3,400
同一の親会社をもつ会社	(株)大和総研ビジネス・イノベーション	東京都江東区	3,000	情報サービス業	-	ソフトウェアの開発	ソフトウェアの購入(注3)	1,052	未払費用	173
同一の親会社をもつ会社	大和プロパティ(株)	東京都中央区	100	不動産管理業	-	本社ビルの管理	不動産の賃借料(注4)	1,063	長期差入保証金	1,055

#### 取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1)上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれておりません。

(注2)証券投資信託の代行手数料については、証券投資信託の信託約款に定める受益者が負担する信託報酬のうち、当社が受け取る委託者報酬から代理事務に係る手数料として代行手数料を支払います。委託者報酬の配分は、両者協議のうえ合理的に決定しております。

(注3)ソフトウェアの購入については、市場の実勢価格を勘案して、その都度交渉の上、購入価格を決定しております。

(注4)差入保証金および賃借料については、近隣相場等を勘案し、交渉の上、決定しております。

## 2. 親会社に関する注記

株式会社大和証券グループ本社(東京証券取引所、名古屋証券取引所に上場)

(1株当たり情報)

前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)		当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
1株当たり純資産額	15,760.66円	1株当たり純資産額	15,389.06円
1株当たり当期純利益	4,857.40円	1株当たり当期純利益	4,550.81円

(注1)潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注2)「会計方針の変更」に記載のとおり、当事業年度における会計方針の変更は遡及適用され、前事業年度については遡及適用後の財務諸表となっております。この結果、遡及適用を行う前と比べて、前事業年度の1株当たり純資産額は184円26銭増加しております。

(注3) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益(百万円)	12,670	11,870
普通株式の期中平均株式数(株)	2,608,525	2,608,525

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 中間財務諸表

### (1) 中間貸借対照表

(単位:百万円)

	当中間会計期間 (2019年9月30日)	
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金・預金		19,529
有価証券		724
未収委託者報酬		11,175
その他		383
流動資産合計		31,812
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	1	211
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア		2,380
その他		403
無形固定資産合計		2,784
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券		7,928
関係会社株式		2,664
繰延税金資産		1,205
その他		1,280
投資その他の資産合計		13,078
固定資産合計		16,073
資産合計		47,886



（単位：百万円）

当中間会計期間  
（2019年9月30日）

負債の部	
流動負債	
未払金	6,021
未払費用	3,486
未払法人税等	754
賞与引当金	506
その他	2 474
流動負債合計	11,243
固定負債	
退職給付引当金	2,483
役員退職慰労引当金	128
その他	7
固定負債合計	2,619
負債合計	13,862
純資産の部	
株主資本	
資本金	15,174
資本剰余金	
資本準備金	11,495
資本剰余金合計	11,495
利益剰余金	
利益準備金	374
その他利益剰余金	
繰越利益剰余金	6,968
利益剰余金合計	7,343
株主資本合計	34,013
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	10
評価・換算差額等合計	10
純資産合計	34,023
負債・純資産合計	47,886

(2) 中間損益計算書

（単位：百万円）

当中間会計期間  
(自 2019年4月1日  
至 2019年9月30日)

営業収益		
委託者報酬		35,076
その他営業収益		309
営業収益合計		35,385
営業費用		
支払手数料		15,895
その他営業費用		6,272
営業費用合計		22,167
一般管理費	1	5,954
営業利益		7,263
営業外収益	2	968
営業外費用	3	148
経常利益		8,083
特別利益		-
特別損失		-
税引前中間純利益		8,083
法人税、住民税及び事業税		2,313
法人税等調整額		15
中間純利益		5,785

## (3) 中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計	
当期首残高	15,174	11,495	374	13,052	13,426	40,096
当中間期変動額						
剰余金の配当	-	-	-	11,868	11,868	11,868

中間純利益	-	-	-	5,785	5,785	5,785
株主資本以外の 項目の当中間期 変動額（純額）	-	-	-	-	-	-
当中間期変動額合計	-	-	-	6,083	6,083	6,083
当中間期末残高	15,174	11,495	374	6,968	7,343	34,013

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価 証券評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	46	46	40,142
当中間期変動額			
剰余金の配当	-	-	11,868
中間純利益	-	-	5,785
株主資本以外の 項目の当中間期 変動額（純額）	35	35	35
当中間期変動額合計	35	35	6,118
当中間期末残高	10	10	34,023

## 注記事項

## （重要な会計方針）

## 1．有価証券の評価基準及び評価方法

## （1）子会社及び関連会社株式

移動平均法による原価法により計上しております。

## （2）その他有価証券

## 時価のあるもの

中間決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しております。

## 時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

## 2. 固定資産の減価償却の方法

## (1) 有形固定資産

定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	10～18年
器具備品	4～20年

## (2) 無形固定資産

定額法によっております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年間）に基づく定額法によっております。

## 3. 引当金の計上基準

## (1) 賞与引当金

役員及び従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額の当中間会計期間負担額を計上しております。

## (2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当社の退職金規程に基づく当中間会計期間末要支給額を計上しております。これは、当社の退職金は、将来の昇給等による給付額の変動がなく、貢献度、能力及び実績等に応じて事業年度ごとに各人別の勤務費用が確定するためであります。また、執行役員・参与についても、当社の退職金規程に基づく当中間会計期間末要支給額を計上しております。

## (3) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、当社の役員退職慰労金規程に基づく当中間会計期間末要支給額を計上しております。

## 4. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

## (1) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

## (2) 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

## (中間貸借対照表関係)

## 1 減価償却累計額

	当中間会計期間 (2019年9月30日現在)
有形固定資産	310百万円

## 2 消費税等の取扱い

仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ、金額的重要性が乏しいため、流動負債の「その他」に含めて表示しております。

## 3 保証債務

当中間会計期間(2019年9月30日現在)

子会社であるDaiwa Asset Management(Singapore)Ltd.の債務1,639百万円に対して保証を行っております。

(中間損益計算書関係)

1 減価償却実施額

	当中間会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
有形固定資産	14百万円
無形固定資産	472百万円

2 営業外収益の主要項目

	当中間会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
受取配当金	901百万円

3 営業外費用の主要項目

	当中間会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
有価証券償還損	71百万円
為替差損	68百万円

(中間株主資本等変動計算書関係)

当中間会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

(単位:千株)

	当事業年度期首 株式数	当中間会計期間 増加株式数	当中間会計期間 減少株式数	当中間会計期間末 株式数
発行済株式				
普通株式	2,608	-	-	2,608
合計	2,608	-	-	2,608

2. 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の 種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日

2019年6月21日 定時株主総会	普通株式	11,868	4,550	2019年3月31 日	2019年6月24日
----------------------	------	--------	-------	----------------	------------

(金融商品関係)

当中間会計期間(2019年9月30日)

## 金融商品の時価等に関する事項

中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません(注2)参照のこと)。

(単位:百万円)

	中間貸借対照表計上額(*1)	時価(*1)	差額
(1)現金・預金	19,529	19,529	-
(2)未収委託者報酬	11,175	11,175	-
(3)有価証券及び投資有価証券 その他有価証券	7,986	7,986	-
資産合計	38,691	38,691	-
(1)未払金	(5,965)	(5,965)	-
(2)未払費用(*2)	(2,867)	(2,867)	-
負債合計	(8,833)	(8,833)	-

(\*1)負債に計上されているものについては、( )で示しております。

(\*2)未払費用のうち金融商品で時価開示の対象となるものを表示しております。

(注1)金融商品の時価の算定方法

資 産

(1)現金・預金及び(2)未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3)有価証券及び投資有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価格によっております。また、証券投資信託については、基準価額によっております。また、保有目的ごとの有価証券に関する事項については、注記事項(有価証券関係)をご参照下さい。

負 債

(1)未払金及び(2)未払費用

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(注2)時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位:百万円)

区分	当中間会計期間
非上場株式	666
子会社株式	1,836
関連会社株式	827
差入保証金	1,068

これらは、市場価格がなく、かつ将来キャッシュフローを見積ることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるものであるため、時価開示の対象としておりません。

（有価証券関係）

当中間会計期間（2019年9月30日）

1．子会社株式及び関連会社株式

子会社株式（中間貸借対照表計上額 1,836百万円）及び関連会社株式（中間貸借対照表計上額 827百万円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。

2．その他有価証券

	中間貸借対照表 計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
（1）株式	66	55	11
（2）その他			
証券投資信託	3,971	3,628	343
小計	4,038	3,683	354
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
その他			
証券投資信託	3,947	4,292	344
小計	3,947	4,292	344
合計	7,986	7,975	10

（注）非上場株式（中間貸借対照表計上額 666百万円）については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

（セグメント情報等）

[セグメント情報]

当中間会計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

当社は、資産運用に関する事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

[ 関連情報 ]

当中間会計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

1. サービスごとの情報

単一のサービス区分の営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

内国籍投資信託又は本邦顧客からの営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が中間貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

営業収益のうち、中間損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

[ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報 ]

当中間会計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

該当事項はありません。

[ 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報 ]

当中間会計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

該当事項はありません。

[ 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報 ]

当中間会計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

当中間会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	
1株当たり純資産額	13,043.35円
1株当たり中間純利益	2,217.93円

(注1) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(注2) 1株当たり中間純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。



当中間会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	
中間純利益(百万円)	5,785
普通株式に係る中間純利益(百万円)	5,785
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-
普通株式の期中平均株式数(株)	2,608,525

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

#### 4 【利害関係人との取引制限】

委託会社は、「金融商品取引法」の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

自己又はその取締役若しくは執行役との間における取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと（投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。

運用財産相互間において取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと（投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。

通常の実取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等（委託会社の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下において同じ。）又は子法人等（委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。）と有価証券の売買その他の取引又は店頭デリバティブ取引を行なうこと。

委託会社の親法人等又は子法人等の利益を図るため、その行なう投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額若しくは市場の状況に照らして不必要な取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと。

上記に掲げるもののほか、委託会社の親法人等又は子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為。

#### 5 【その他】

a. 定款の変更、事業譲渡または事業譲受、出資の状況その他の重要事項

2020年4月1日付で、定款について次の変更を行なう予定です。

- ・ 商号の変更（大和アセットマネジメント株式会社に変更）

b. 訴訟事件その他委託会社に重要な影響を及ぼすことが予想される事実

訴訟事件その他委託会社に重要な影響を及ぼすことが予想される事実はありません。

## 第2 【その他の関係法人の概況】

## 1 【名称、資本金の額及び事業の内容】

## (1) 受託会社

名称 三井住友信託銀行株式会社

資本金の額 342,037百万円（2019年3月末日現在）

事業の内容

銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

## (2) 販売会社

名 称	資本金の額 単位：百万円 (2019年3月 末日現在)	事業の内容
株式会社関西みらい銀行	( ) 38,900	銀行法に基づき銀行業 を営んでいます。
株式会社埼玉りそな銀行	70,000	
株式会社りそな銀行	279,928	

( ) 資本金の額は、2019年4月1日現在のものです。

(注) 銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

## 2 【関係業務の概要】

受託会社は、信託契約の受託者であり、委託会社の指図に基づく信託財産の管理・処分、信託財産の計算等を行いません。なお、外国における資産の保管は、その業務を行なうに十分な能力を有すると認められる外国の金融機関が行なう場合があります。

販売会社は、受益権の募集の取扱い、信託契約の一部解約に関する事務、収益分配金・償還金・一部解約金の支払いに関する事務等を行いません。

## 3 【資本関係】

該当事項はありません。

## &lt;再信託受託会社の概要&gt;

名称：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社

資本金の額：51,000百万円（2019年3月末日現在）

事業の内容：銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

再信託の目的：原信託契約にかかる信託事務の一部（信託財産の管理）を原信託受託会社から再信託受託会社へ委託するため、原信託財産のすべてを再信託受託会社へ移管することを目的とします。

### 第3 【その他】

#### (1) 目論見書の表紙から本文の前までの記載等について

金融商品取引法（昭和23年法律第25号）第13条の規定に基づく目論見書である旨を記載することがあります。

目論見書の別称として「投資信託説明書（交付目論見書）」または「投資信託説明書（請求目論見書）」という名称を用いることがあります。

委託会社等の情報、受託会社に関する情報を記載することがあります。

詳細な情報の入手方法として、以下の事項を記載することがあります。

- ・委託会社のホームページアドレス、電話番号及び受付時間等
- ・請求目論見書の入手方法及び投資信託約款が請求目論見書に掲載されている旨  
使用開始日を記載することがあります。

届出の効力に関する事項について、次に掲げるいずれかの内容を記載することがあります。

- ・届出をした日及び当該届出の効力の発生の有無を確認する方法
- ・届出をした日、届出が効力を生じている旨及び効力発生日  
次の事項を記載することがあります。
- ・投資信託の財産は受託会社において信託法に基づき分別管理されている旨
- ・請求目論見書は投資者の請求により販売会社から交付される旨及び当該請求を行った場合にはその旨の記録をしておくべきである旨
- ・「ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読みください。」との趣旨を示す記載  
委託会社、当ファンドのロゴ・マーク等を記載することがあります。

ファンドの形態等を記載することがあります。

図案を採用することがあります。

ファンドの管理番号等を記載することがあります。

委託会社のインターネットホームページのアドレスに加え、他のインターネットのアドレス（当該アドレスをコード化した図形等も含まれます。）を掲載することがあります。

UD FONT マークおよび説明文を記載することがあります。

次の事項を記載することがあります。

- ・大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更します。2020年4月1日以降、「大和投資信託」「大和証券投資信託委託株式会社」など当社名を表す記載につきましては、「大和アセットマネジメント株式会社」とお読み替え下さい。

(2) 当ファンドは、評価機関等の評価を取得、使用する場合があります。

(3) 交付目論見書に最新の運用実績を記載することがあります。

(4) 請求目論見書に当ファンドの投資信託約款の全文を記載します。



## 独立監査人の監査報告書

2019年5月24日

大和証券投資信託委託株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	小倉 加奈子	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	間瀬 友未	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	深井 康治	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている大和証券投資信託委託株式会社の2018年4月1日から2019年3月31日までの第60期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

### 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、大和証券投資信託委託株式会社の2019年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

(注) 2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

## 独立監査人の監査報告書

2019年6月7日

大和証券投資信託委託株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 深井 康治 印  
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 小林 英之 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているりそな ダイナミック・アロケーション・ファンドの2018年5月9日から2019年5月8日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

### 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、りそな ダイナミック・アロケーション・ファンドの2019年5月8日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 利害関係

大和証券投資信託委託株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 . 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

(注) 2 . XBRLデータは監査の対象には含まれていません。



**独立監査人の中間監査報告書**

2019年11月22日

大和証券投資信託委託株式会社  
取締役会 御中

## 有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	小倉 加奈子	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	間瀬 友未	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	深井 康治	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている大和証券投資信託委託株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの第61期事業年度の中間会計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

## 中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## 中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、大和証券投資信託委託株式会社の2019年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

(注) 2. XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。

**独立監査人の中間監査報告書**

2019年12月6日

大和証券投資信託委託株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 深井 康治 印  
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 小林 英之 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているりそな ダイナミック・アロケーション・ファンドの2019年5月9日から2019年11月8日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

**中間財務諸表に対する経営者の責任**

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

**監査人の責任**

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

**中間監査意見**

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、りそな ダイナミック・アロケーション・ファンドの2019年11月8日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2019年5月9日から2019年11月8日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

**利害関係**

大和証券投資信託委託株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 . 上記は中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

(注) 2 . XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。